OKI

MICROLINE Pro930PS　ユーザーズマニュアル

応用編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MICROLINE Pro930PS-X
MICROLINE Pro930PS-S
MICROLINE Pro930PS-E

◯このマニュアルには、製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　ご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。
◯本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

マニュアルの構成

本製品のユーザーズマニュアルは、次のような4部構成になっています。目的に応じてお読みください。

プリンタ機能編

プリンタの使い方や持っている機能、消耗品の交換方法、紙づまり等のトラブルの対処方法、オプション類の取り付け方が載っています。

セットアップ編

Windows、Macintosh、UNIX、Linux のコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
プリンタの設置が終わったら、お読みください。

応用編（本書）

色々な用紙に印刷したい時、便利な機能を使って印刷したい時、添付のユーティリティを使って快適な印刷環境にしたい時、カラーを調整したい時などにお読みください。

Fiery 編

ML Pro 930PS の高度な設定や管理方法、および、付属のユーティリティの様々な使用方法を説明しています。高度な使い方をしたいときお読みください。

本書の表記

本書では、MICROLINE Pro 930PS-Xを例として説明しています。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE Pro 930PS-X → MLPro930PS-X
- MICROLINE Pro 930PS-S → MLPro930PS-S
- MICROLINE Pro 930PS-E → MLPro930PS-E
- MLPro930PS-X、MLPro930PS-S, ML Pro930PS-Eの総称 → MLPro930PS
- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7 (64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008R2 64-bit Edition operating system 日本語版 →Windows Server 2008R2
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 →Windows Server 2008(64bit版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 →Windows Server 2003(x64版) ※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の総称→ Windows
- MacOS 9.2/9.2.1/9.2.2 → MacOS
- Mac OS X 10.3.9以降 → Mac OS X

※ 特に記載がない場合は、Windows 7とWindows VistaとWindows Server 2008とWindows XPとWindows Server 2003には64bit 版も含みます。また、Windows Server 2008には64bit 版およびWindows Server 2008R2も含みます。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長時間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。

⚠警告

	電池は、間違ったタイプと交換した場合、爆発するおそれがあります。本プリンタの電池は交換する必要がありません。電池には手を触れないでください。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。 粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	UPS（無停電電源）およびインバータを使用した場合の動作は保証していません。 無停電電源およびインバータは使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。
	壊れた液晶ディスプレイにはさわらないでください。 液晶ディスプレイから漏れた液体(液晶)が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

目次

1 色々な用紙に印刷する

はがき、往復はがきに印刷する

はがき、往復はがきはマルチパーパストレイまたはトレイ 1 から印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
使用できるはがきは、郵便はがき、折っていない郵便往復はがきです。（ただし、インクジェット用は除きます。）

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

手順（1 ～ 4 まであります）

1 はがきをセットします。

マルチパーパストレイを使う場合

用紙のセット方向
印刷面を上にします。

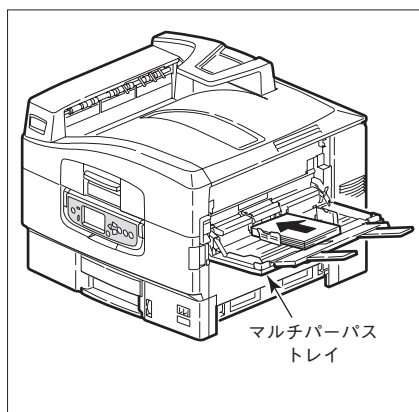
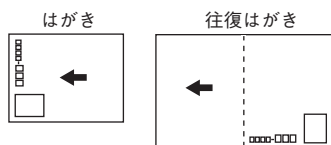
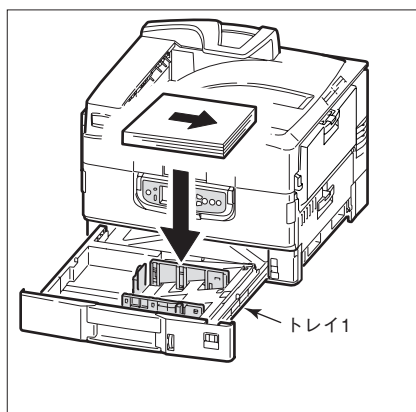
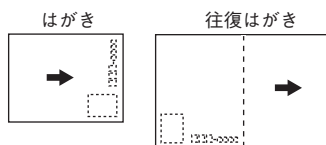
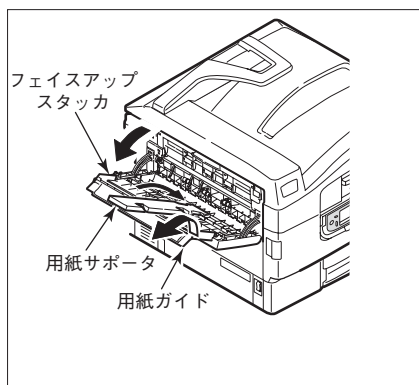
はがき

往復はがき

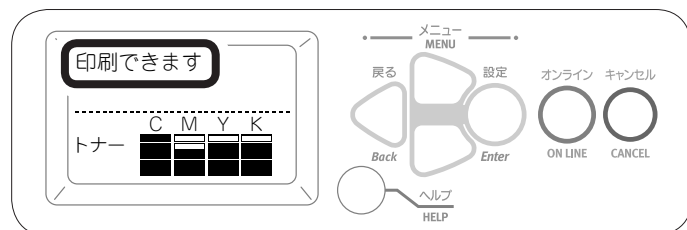
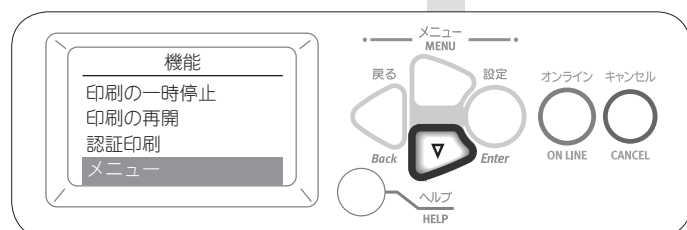
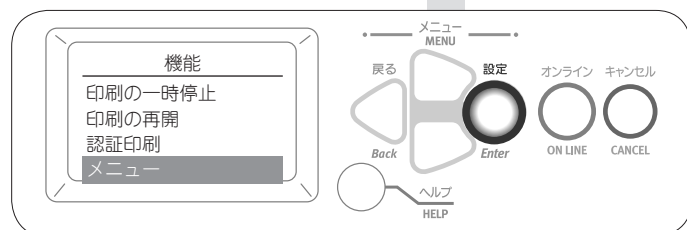
トレイ 1 を使う場合

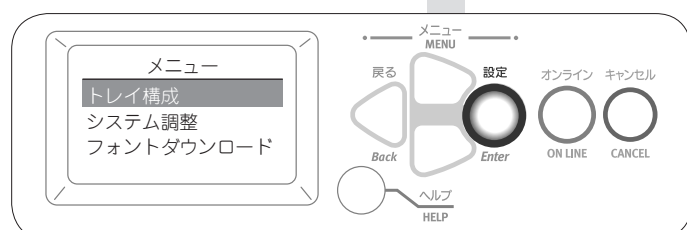
用紙のセット方向
印刷面を下にします。

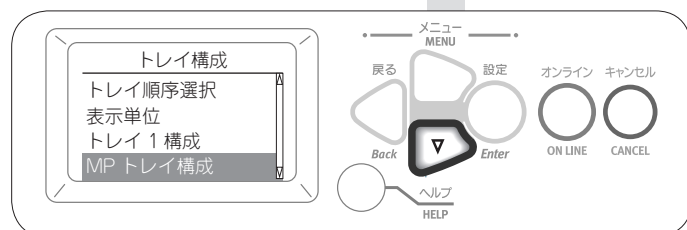
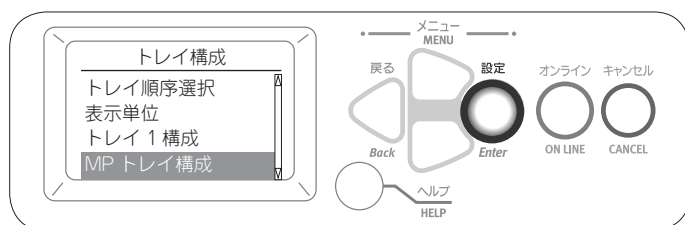
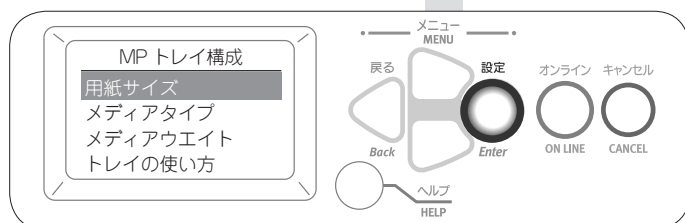
はがき

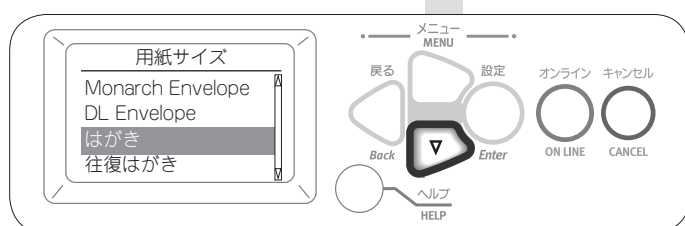
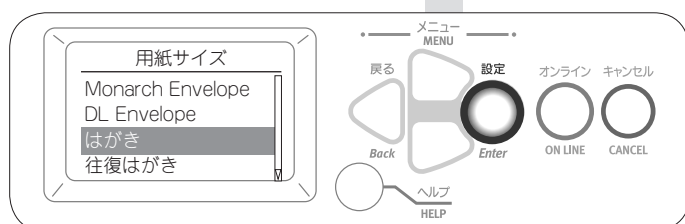
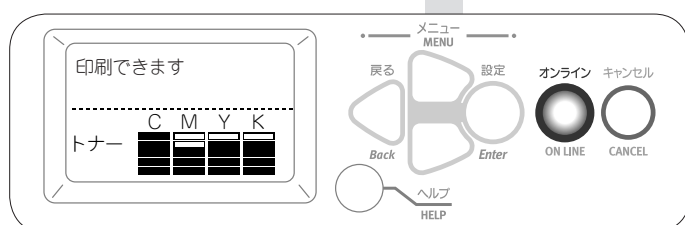
往復はがき

2 「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、用紙サイズの設定を確認します。

マルチパーパストレイを使う場合　トレイ 1 を使う場合は 13 ページをご覧ください。

工場出荷時は［A4 横送り］に設定されているため、以下の設定が必要です。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ◯ 設定ボタンを押します。

❹［トレイ構成］が選択されていることを確認して、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

❼ ［用紙サイズ］が選択されていることを確認して、設定ボタンを押します。

❽ ▽ ボタンを数回押し、［はがき］または［往復はがき］を選択します。

❾ 設定ボタンを押します。

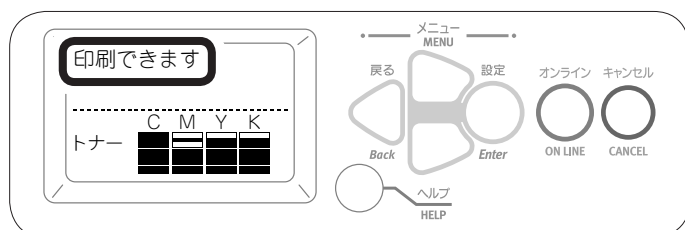
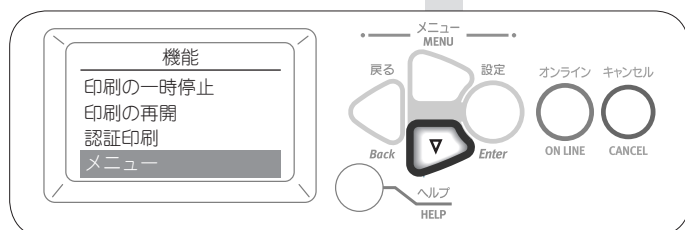
❿ オンラインボタンを押します。

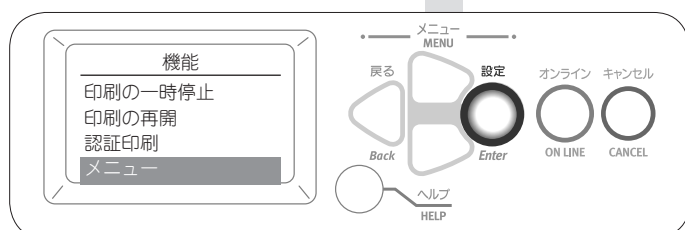
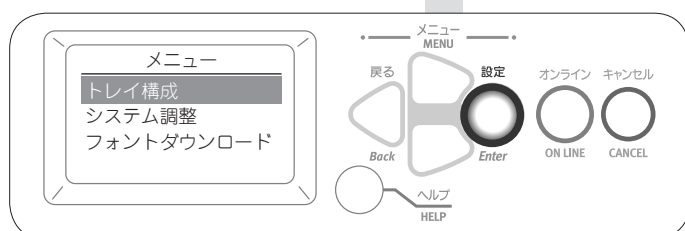
［印刷できます］と表示します。

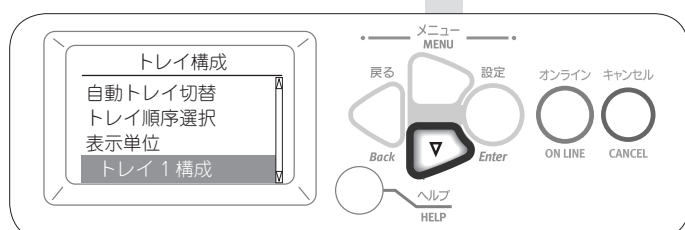
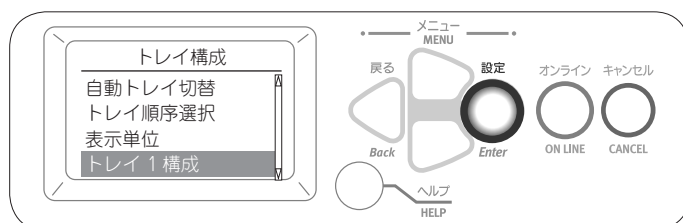
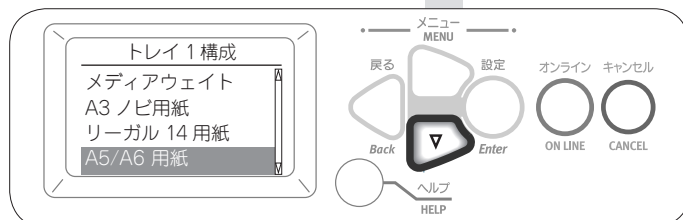
手順 4（15 ページ）へ進みます。

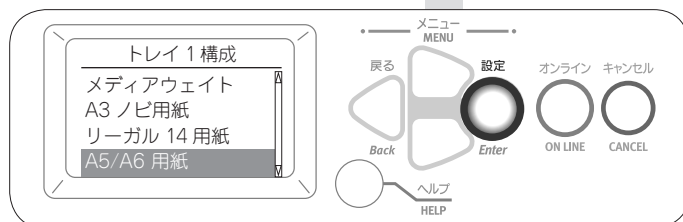
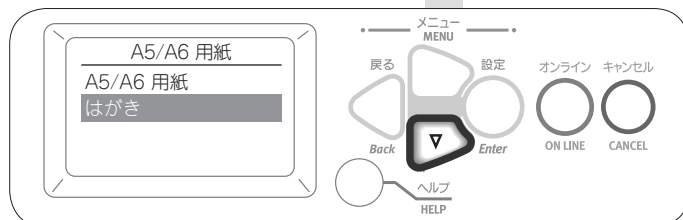
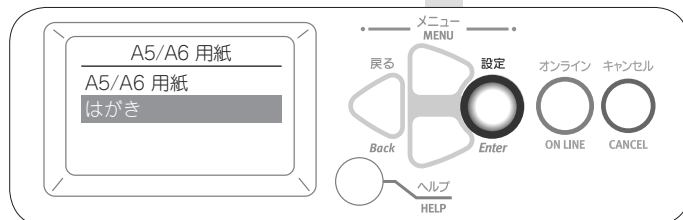
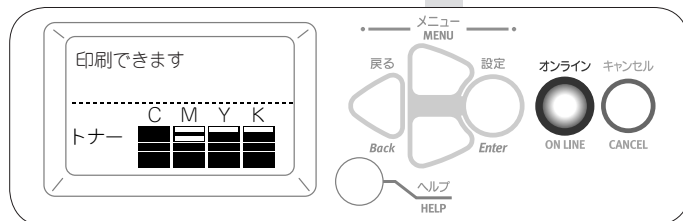
トレイ１を使う場合

マルチパーパストレイを使う場合は 11 ページをご覧ください。

工場出荷時は［はがき］に設定されています。変更していない場合は、手順 4 に進みます。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ◯ 設定ボタンを押します。

❹ ［トレイ構成］が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンを数回押し、［トレイ１構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

❼ ▽ ボタンを数回押し、[A5/A6 用紙] を選択します。

❽ 設定ボタンを押します。

❾ ▽ ボタンを押し、[はがき] を選択します。

❿ 設定ボタンを押します。

⓫ オンラインボタンを押します。

[印刷できます] と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックします。

❻［用紙トレイ］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❼［仕上げ］アイコンをクリックします。

❽［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❾「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

PCL プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

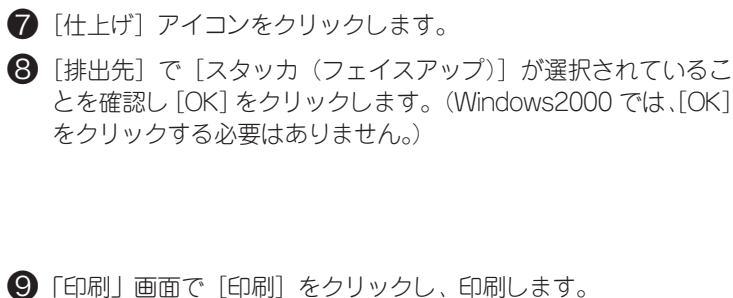
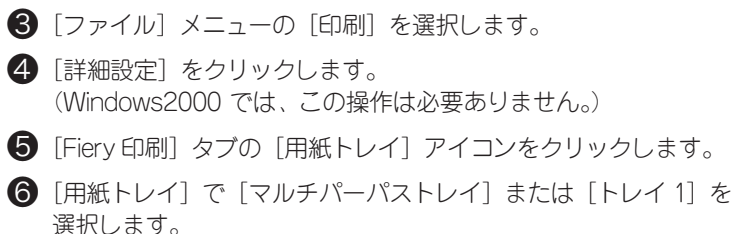
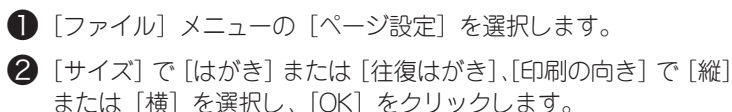
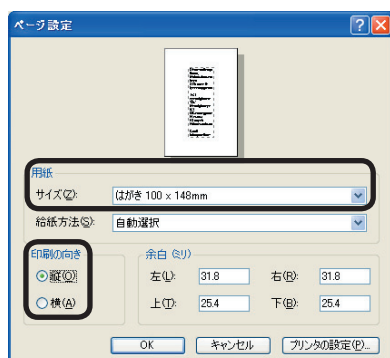
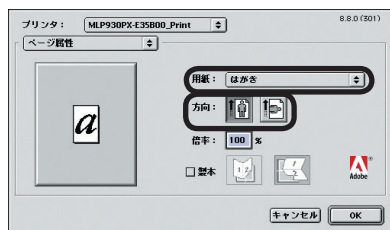
❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

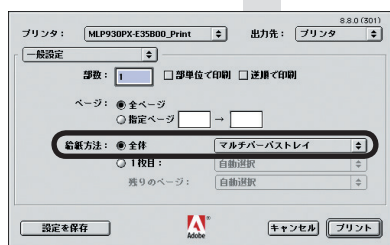
❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

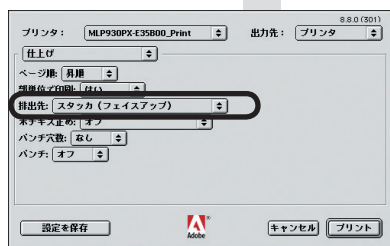
❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

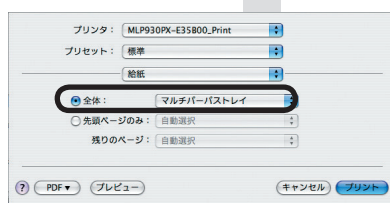
❼「印刷」画面で［印刷］または［OK］をクリックし、印刷します。

MacOS をお使いの方　Mac OS X をお使いの方は 18 ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［はがき］または［往復はがき］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❺［仕上げ］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X をお使いの方

MacOS をお使いの方は 17 ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

メモ　Mac OSX10.5 以降で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❻［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットパネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

封筒に印刷する

封筒は「マルチパーパストレイ」から印刷し、「フェイスアップスタッカ」に排出します。

使用できる封筒

必ず試し印刷をして支障のないことを確認してください。

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
封筒長形 3 号	120 × 235	坪量 85g/m^2 * 角形 2 号は、坪量 100g/m^2 のご使用をお奨めします。	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒で、フラップ部が折れていないもの
封筒長形 4 号	90 × 205		
封筒洋形 4 号	105 × 235		
角形 2 号	240 × 232		
角形 3 号	216 × 277		
角形 8 号	119 × 197		
洋形 0 号	120 × 235		
Com-9	98.4 × 225.4(3.875 × 8.875)	24lb	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒で、フラップ部がきちんと折れているもの
Com-10	104.8 × 241.3(4.125 × 9.5)		
DL	110 × 220(4.33 × 8.66)		
C5	162 × 229(6.38 × 9.02)		
C4	229 × 324(9.02 × 12.76)		
Monarch	98.4 × 190.5(3.875 × 7.5)		

以下の封筒は除きます。

切手の貼ってある封筒、プラスチック封筒、二重封筒、とめ、金ボタン、窓のある封筒、フラップ部に粘着剤や両面テープのついた封筒、シワや反りのある封筒、変形や折れ曲がりのある封筒、表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

「マルチパーパストレイ」から手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで 1 枚ずつ印刷する」(100 ページ) をご覧ください。

- 印刷後は反りやシワ、印刷かすれが生じることがあります。
- 封筒全体にトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- 封筒のはり合せ部分のまわり（約 5mm）は、印刷品位が低下することがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。

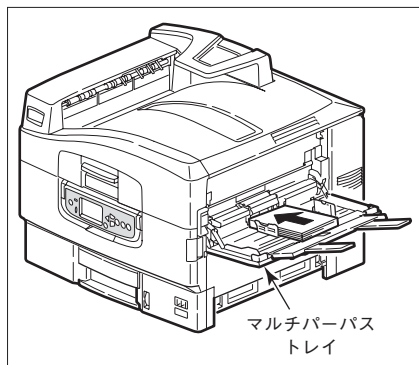
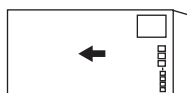
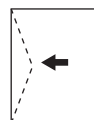
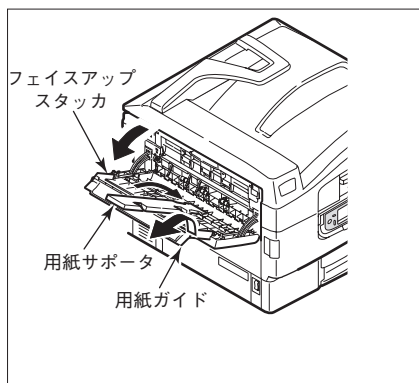
封筒の用紙タイプ設定と用紙厚設定

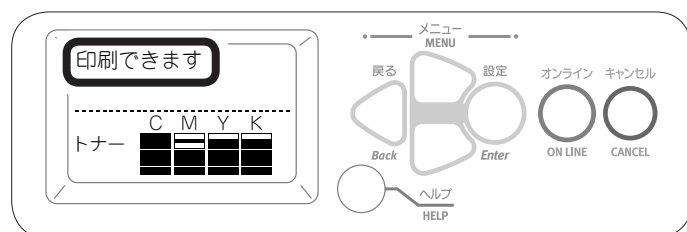
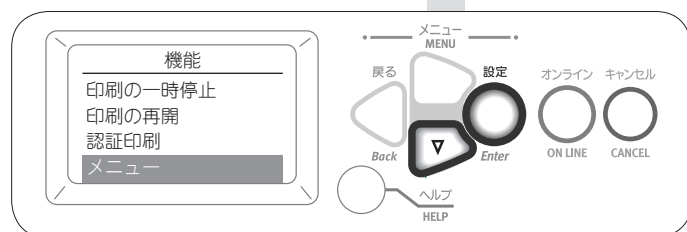
定型封筒サイズの印刷では、用紙タイプ（メディアタイプ）で「封筒」を指定する必要はありません。
用紙厚（メディアウエイト）は「プリンタ設定」または「やや厚い紙」を選択してください。
（デフォルトは「プリンタ設定」に設定されています。）

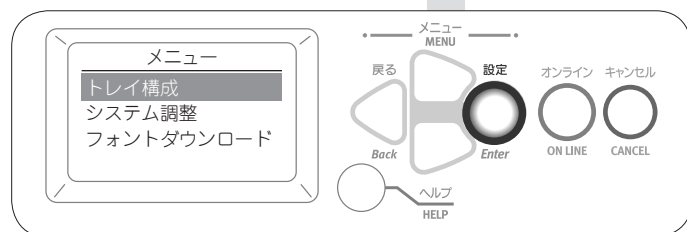
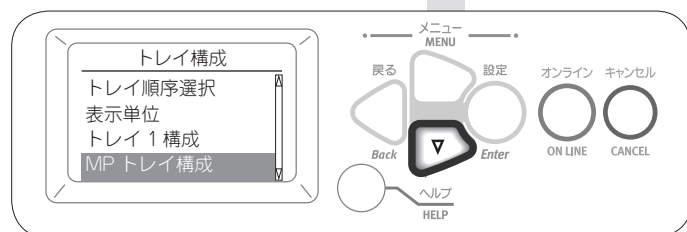
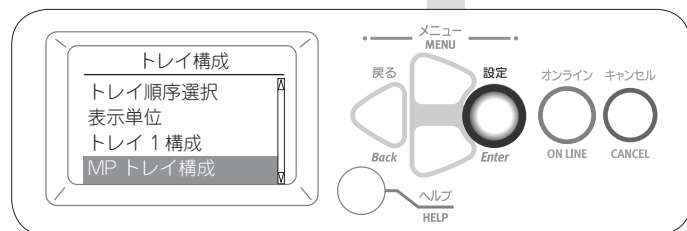
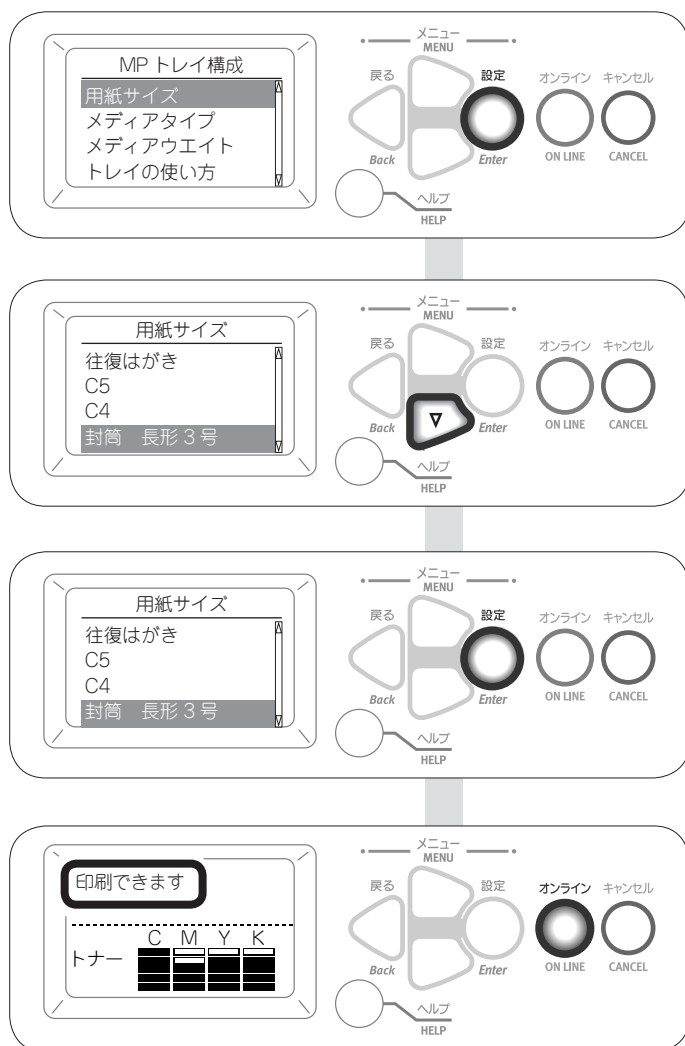
シワが発生する場合には、用紙厚 (メディアウエイト) 設定を、プリンタ操作パネルおよびプリンタドライバで「普通紙」もしくは「薄い紙」に変更してください。
設定方法については 3 項、4 項を参照ください。

また、印刷位置精度も同様に封筒の吸湿や封筒の品質にも左右されます。斜行または書き出し位置不良等が発生する場合には、1 度にセットする枚数を減らしてください。

定型サイズの封筒に印刷します

手順（1～4 まであります）

1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

2 プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、封筒サイズの設定をします。

工場出荷時の設定では［A4 横送り］になっています。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］を選択していることを確認して、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❺ ◯ 設定ボタンを押します。

❻［用紙サイズ］を選択していることを確認して、◯ 設定ボタンを押します。

❼ ▽ ボタンを数回押し、印刷したい封筒のサイズを選択します。

ここでは、長形３号を例にします。

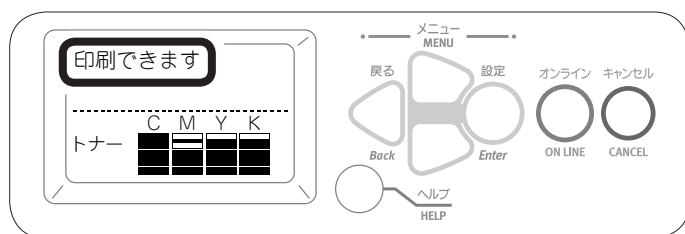
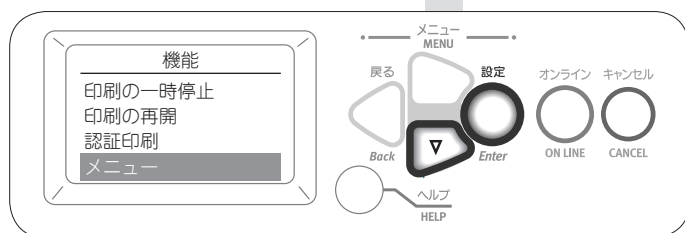
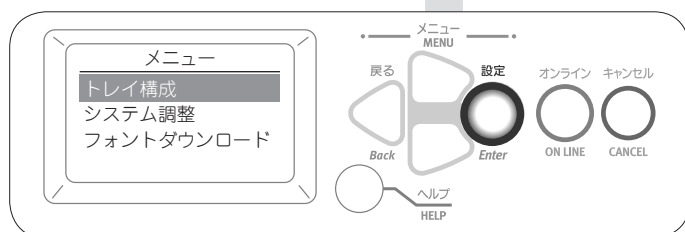
❽ ◯ 設定ボタンを押します。

メモ　MP トレイ構成の表示にもどったらもう一度［用紙サイズ］を選択して ◯ 設定ボタンを押すと、選択されている用紙・封筒を確認できます。

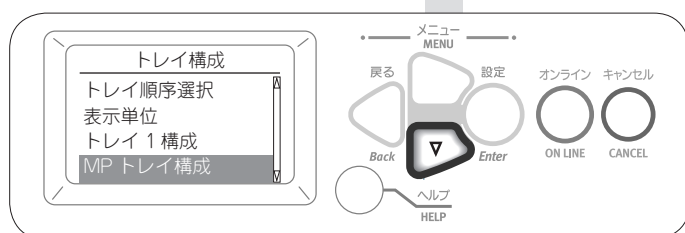
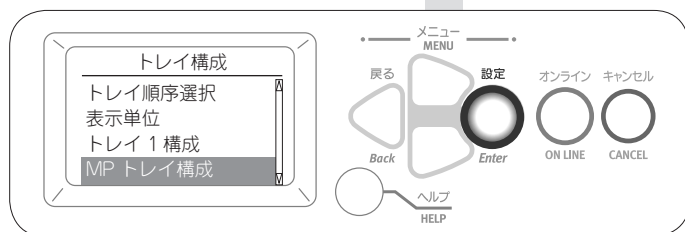
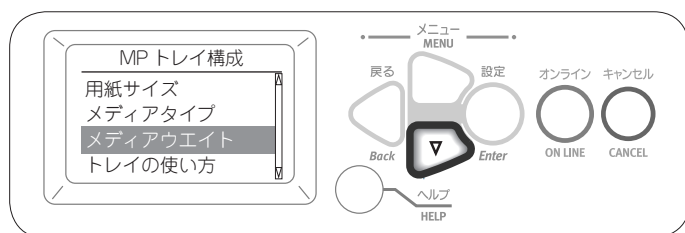
❾ ◯ オンラインボタンを押します。

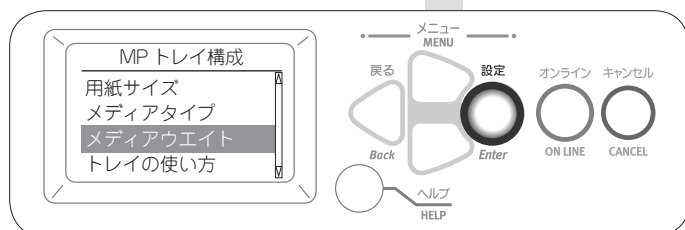
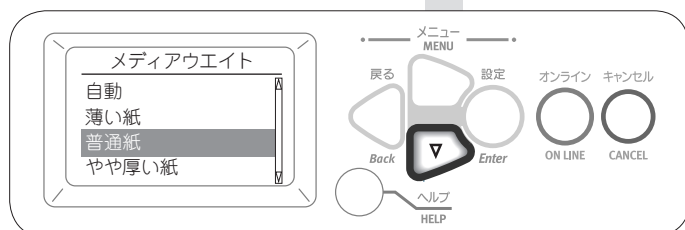
［印刷できます］と表示します。

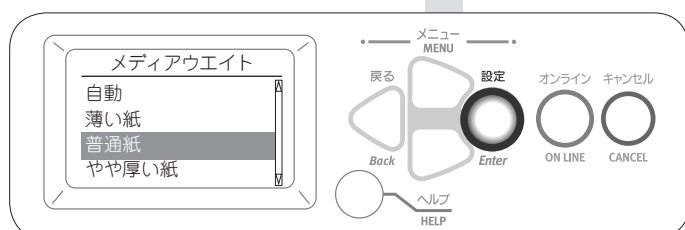
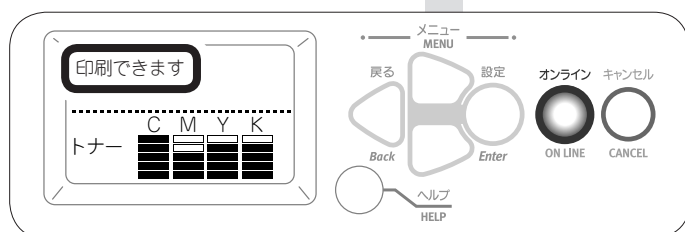
ここまでの設定で、手順４（25 ページ）へ進み封筒に印刷することができますが、封筒にシワが発生する場合は、次ページの手順にしたがってメディアウエイトの設定を行ってください。

封筒にシワが発生する場合、以下の手順でメディアウエイトを設定します。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択し、○ 設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］を選択していることを確認して、○ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❺ ○ 設定ボタンを押します。

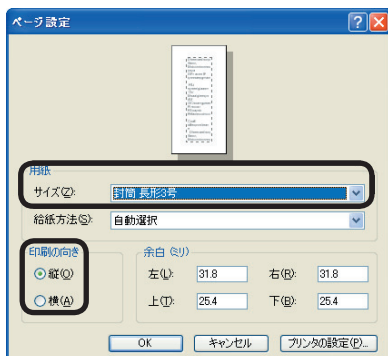
❻ ▽ ボタンを数回押し、［メディアウエイト］を選択します。

❼ ○ 設定ボタンを押します。

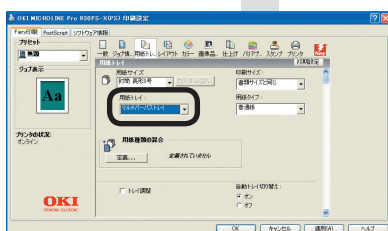
❽ ▽ ボタンを数回押し［普通紙］または［薄い紙］を選択します。

❾ ○ 設定ボタンを押します。

❿ ○ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示します。

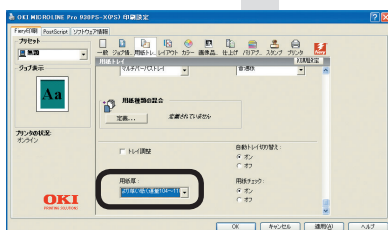
4 ファイルを開き、印刷します。

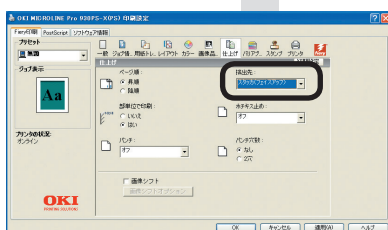
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形３号］～［封筒洋形０号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックします。

❻［用紙トレイ］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❼［用紙厚］（スクロールが必要）で適切な用紙厚を選択します。

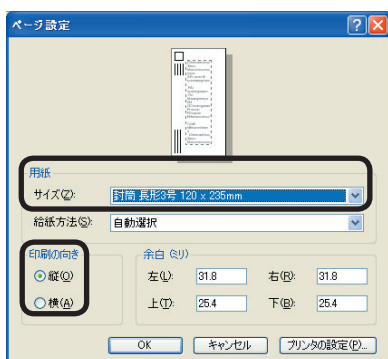
メモ
- プリンタの操作パネルで設定したメディアウエイトと同じ値を選択してください。
- プリンタ操作パネルで、メディアウエイトで［自動］を設定した場合は、用紙厚で［プリンタの初期設定］を選択してください。

❽［仕上げ］オプションバーをクリックします。

❾［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❿「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

PCL プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形３号］～［封筒洋形０号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

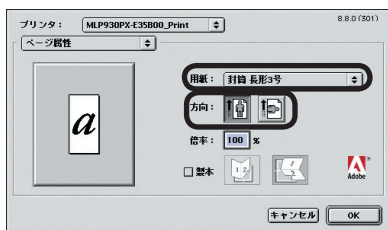
❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

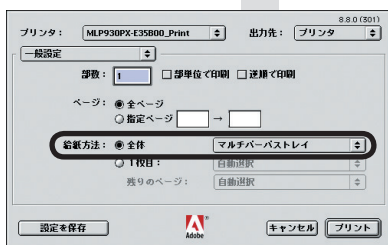
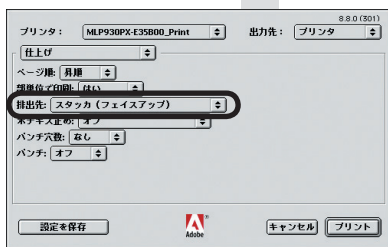
❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を、［用紙厚］で適切な用紙厚を選択します。

メモ
- プリンタの操作パネルで設定したメディアウエイトと同じ値を選択してください。
- プリンタ操作パネルで、メディアウエイトで［自動］を設定した場合は、用紙厚で［プリンタの初期設定］を選択してください。

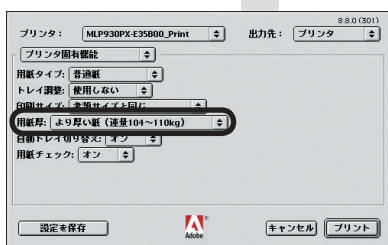
❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［印刷］または［OK］をクリックし、印刷します。

MacOS をお使いの方　Mac OS X をお使いの方は 28 ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［封筒長形３号］～［封筒洋形０号］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

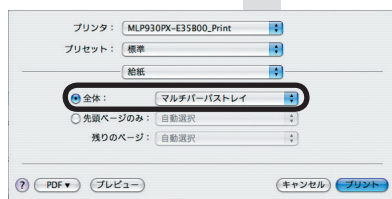
❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［仕上げ］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します

❻［プリンタ固有機能］パネルの［用紙厚］で適切な用紙厚を選択します。

- プリンタの操作パネルで設定したメディアウエイトと同じ値を選択してください。
- プリンタ操作パネルで、メディアウエイトで［自動］を設定した場合は、用紙厚で［プリンタの初期設定］を選択してください。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X をお使いの方

MacOS をお使いの方は 27 ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［封筒長形 4 号］～［封筒洋形 0 号］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ

Mac OSX10.5 以降で［プリンタ］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❻［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットパネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリンタ固有機能］パネルの［用紙厚］で適切な用紙厚を選択します。

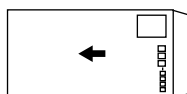
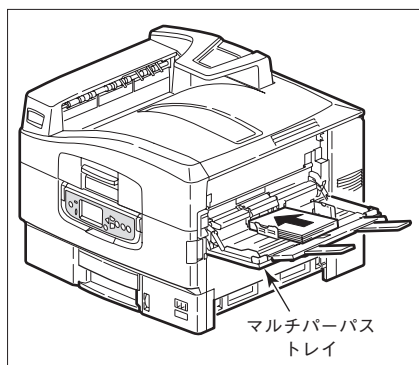
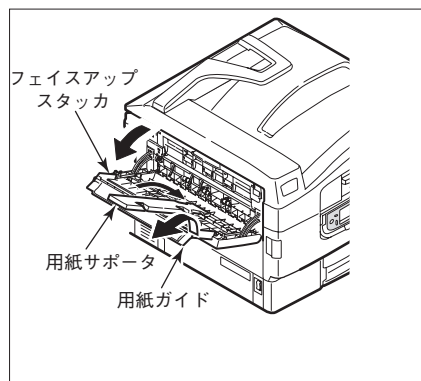
メモ

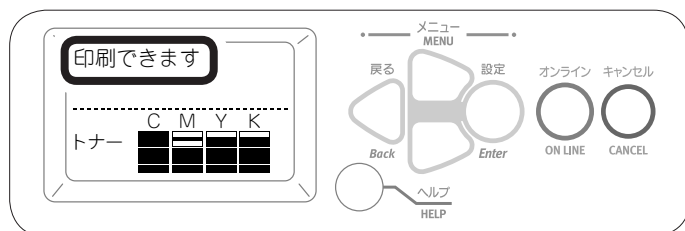
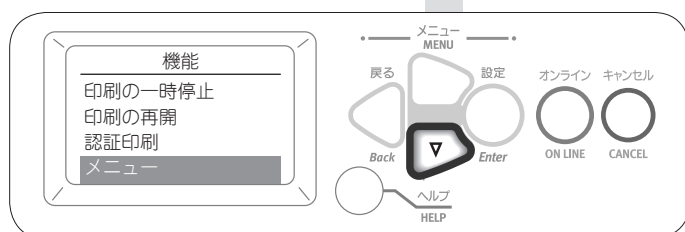
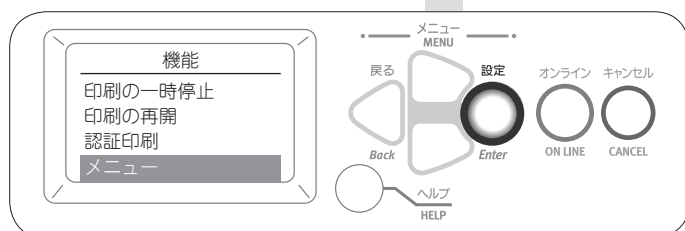
- プリンタの操作パネルで設定したメディアウエイトと同じ値を選択してください。
- プリンタ操作パネルで、メディアウエイトで［自動］を設定した場合は、用紙厚で［プリンタの初期設定］を選択してください。

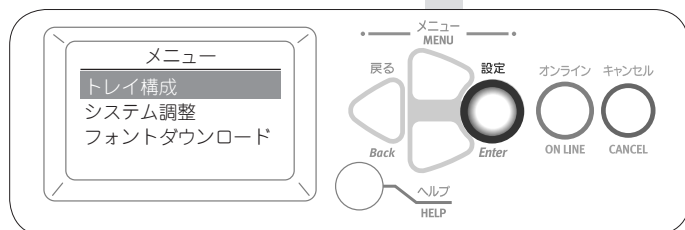
❽［プリント］をクリックし、印刷します。

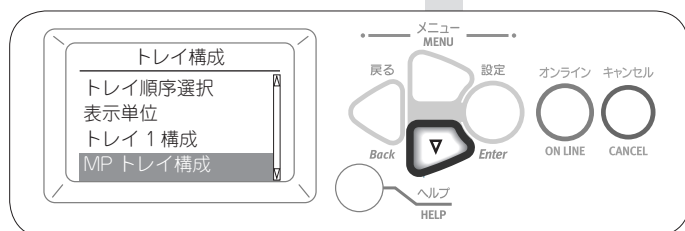
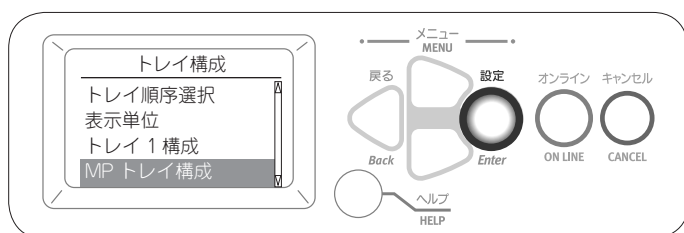
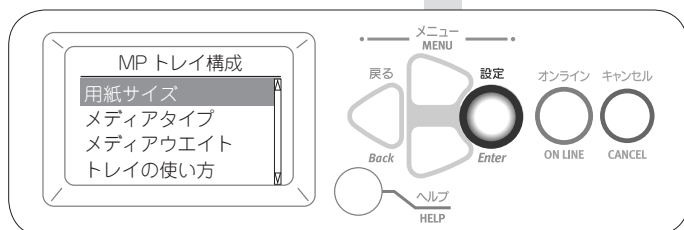
非定型サイズの封筒に印刷します

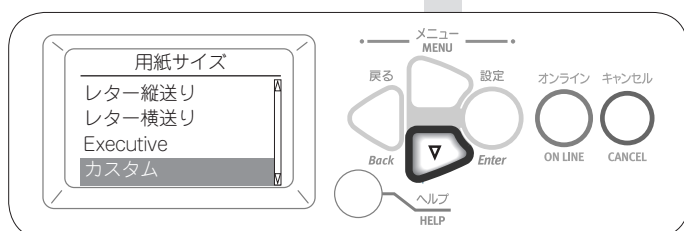
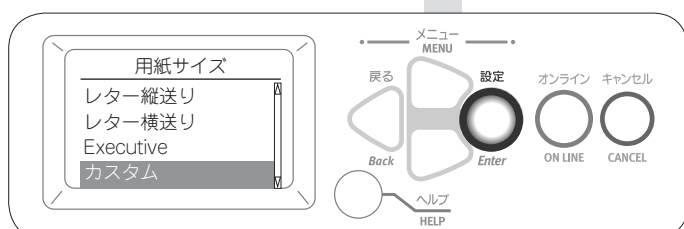
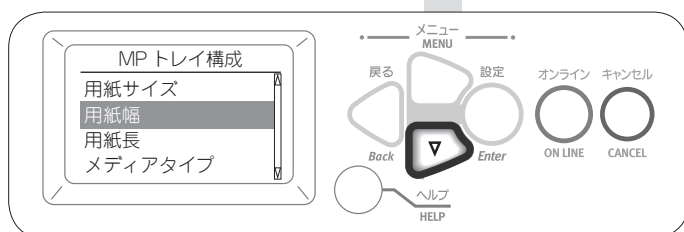
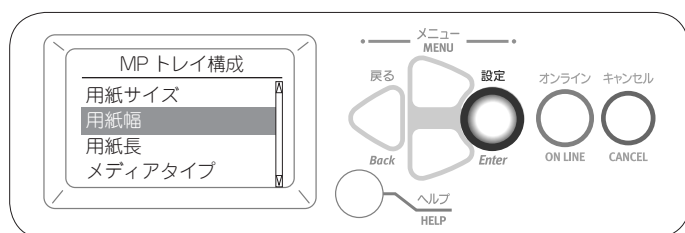
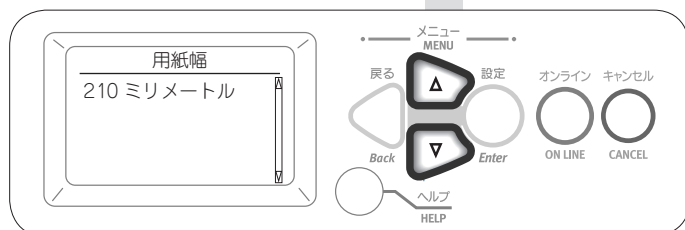
手順（1～4まであります）

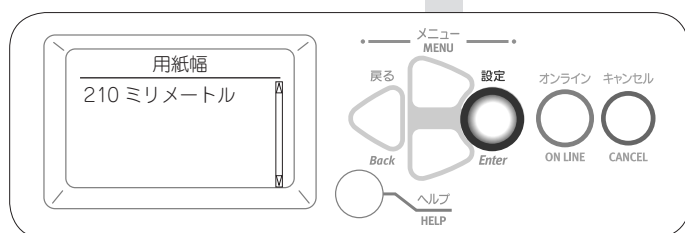
1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

2 プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、カスタム用紙サイズとメディアタイプの設定をします。

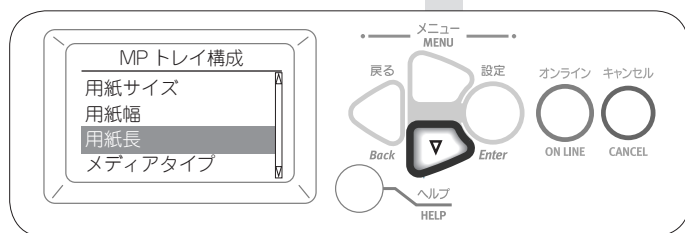
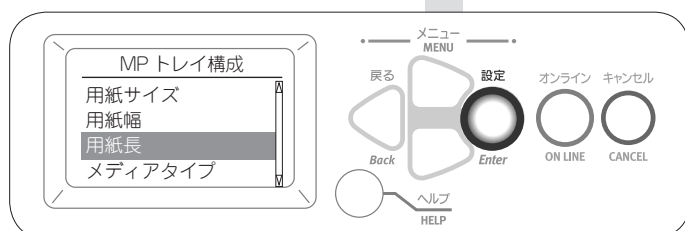
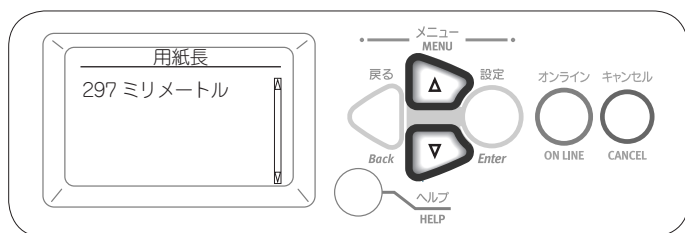
工場出荷時の設定では［A4 横送り］になっています。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

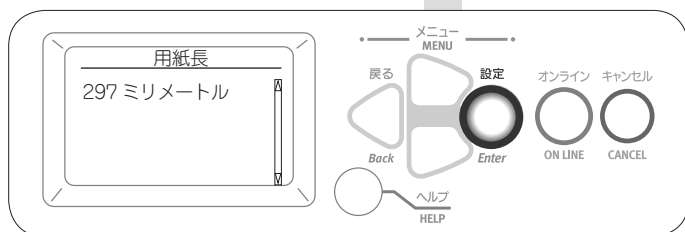
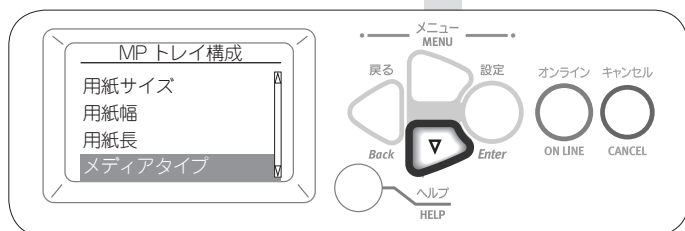
❷ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ 設定ボタンを押します。

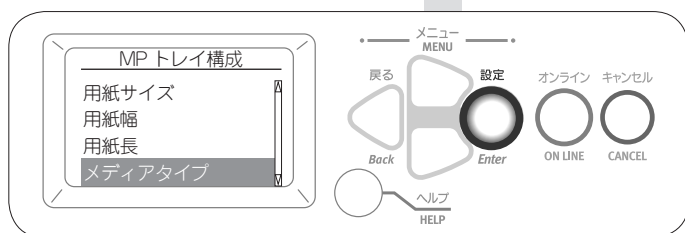
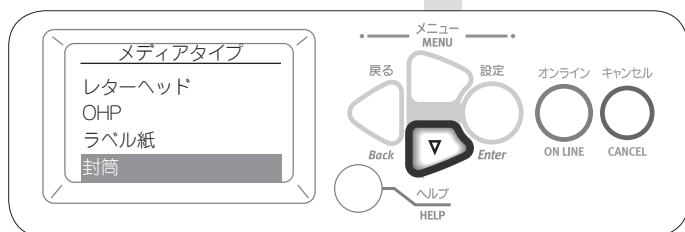
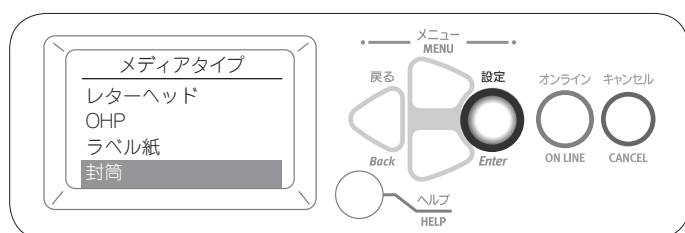
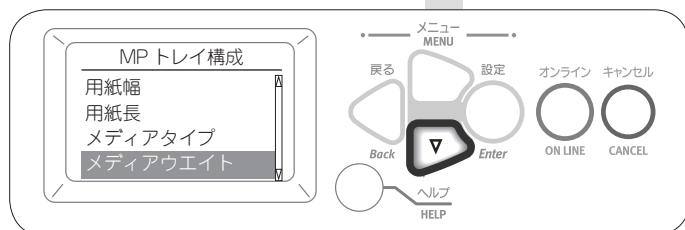
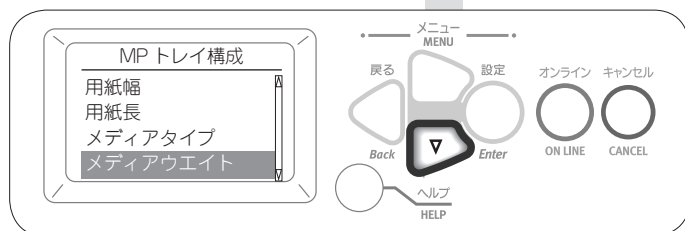
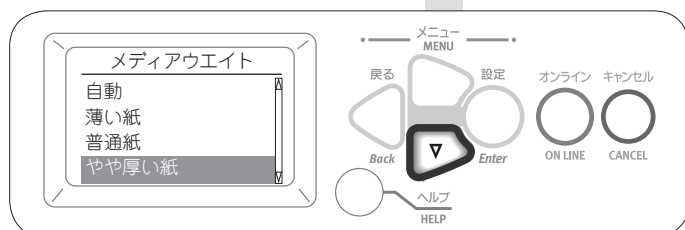
❹［トレイ構成］が選択されていることを確認して、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

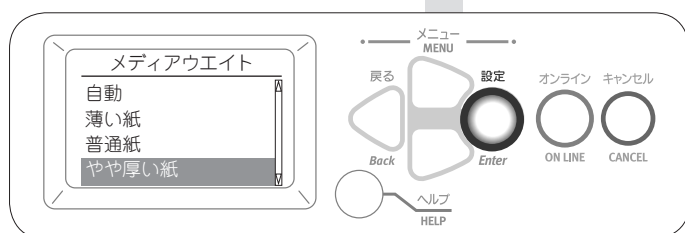
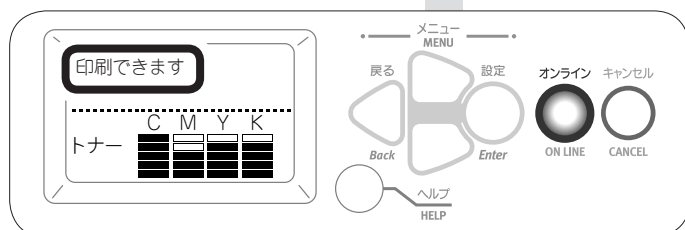
❼［用紙サイズ］が選択されていることを確認して、 設定ボタンを押します。

❽ ボタンを数回押し、［カスタム］を選択します。

❾ 設定ボタンを押します。

❿ ボタンを押し、［用紙幅］を選択します。

⓫ 設定ボタンを押します。

⓬ ボタンまたは ボタンを押し、適切な用紙幅を選択します。

⓭ 設定ボタンを押します。

用紙長も用紙幅と同様に、適切な値を設定します。

⓮ ボタンを数回押し、[用紙長]を選択します。

⓯ 設定ボタンを押します。

⑯ [▽] ボタンもしくは [△] ボタンを押し、適切な用紙長を選択します。

⑰ [○] 設定ボタンを押します。

次に、メディアタイプを設定します。

⑱ [▽] ボタンを数回押し、[メディアタイプ] を選択します。

⑲ [○] 設定ボタンを押します。

⑳ [▽] ボタンを数回押し、[封筒] を選択します。

㉑ 設定ボタンを押します。

㉒ ▽ ボタンを数回押し、［メディアウエイト］を選択します。

㉓ 設定ボタンを押します。

㉔ ▽ ボタンを数回押し適切なメディアウエイトを選択します。

メモ　使用する封筒用紙での印刷結果に応じて設定を調整してください。

㉕ 設定ボタンを押します。

㉖ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示します。

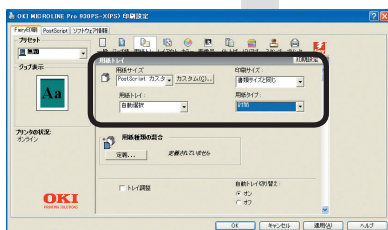
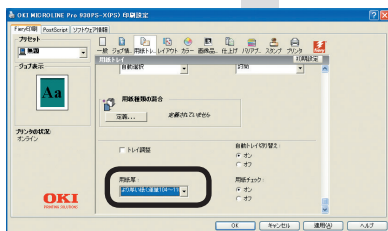
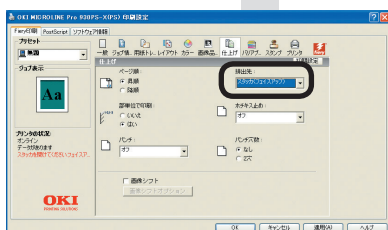
4 以下の手順に従って印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶「長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）」57ページを参照してプリンタドライバにカスタムサイズを登録します。

❷ 印刷するファイルを開き、［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックし、［用紙サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を、［用紙タイプ］で［封筒］を選択します。

❺［用紙厚］で印刷する封筒に対して適切な用紙厚を選択します。

❻［仕上げ］アイコンをクリックし、［排出先］（スクロールが必要）で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［OK］をクリックし、印刷します。

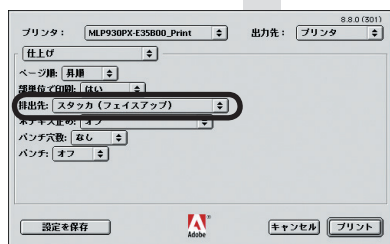
PCL プリンタドライバをお使いの方

❶「長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）」57ページを参照してプリンタドライバにカスタムサイズを登録します。

❷ 印刷するファイルを開き、［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［サイズ］で手順❶で登録したユーザ定義サイズを、［用紙タイプ］で［封筒］を、［用紙厚］で印刷する封筒に対して適切な用紙厚を選択します。

❺［印刷オプション］タブをクリックし、［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❻［OK］をクリックし、印刷します。

MacOS をお使いの方

❶「長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）」57ページを参照してプリンタドライバにカスタムサイズを登録します。

❷ 印刷するファイルを開き、[ファイル] メニューの [ページ設定] を選択し、[用紙サイズ] で手順❶で登録したカスタムサイズを選択します。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [プリンタ固有機能] パネルの [用紙タイプ] で [封筒] を、[用紙厚] で印刷する用紙に対して適切な用紙厚を選択します。

❺ [仕上げ] パネルの [排出先] で [スタッカ（フェイスアップ）] を選択します。

❻ [プリント] をクリックし、印刷します。

Mac OS X をお使いの方

❶「長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）」57ページを参照してプリンタドライバにカスタムサイズを登録します。

❷ 印刷するファイルを開き、［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択し、［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で手順❶で登録したカスタムページサイズを選択します。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタの機能］パネルの［用紙トレイ 1］機能セットの［用紙タイプ］で［封筒］を選択します。

❺［用紙トレイ 2］機能セットの［用紙厚］で印刷する用紙に対して適切な用紙厚を選択します。

❻［仕上げ 1］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

ラベル紙に印刷する

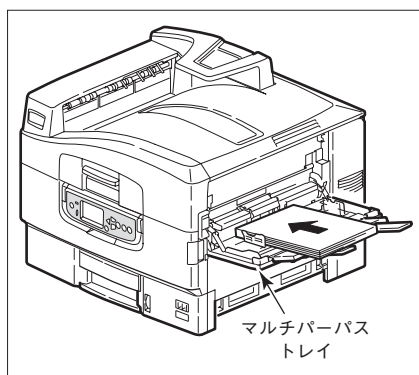
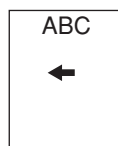
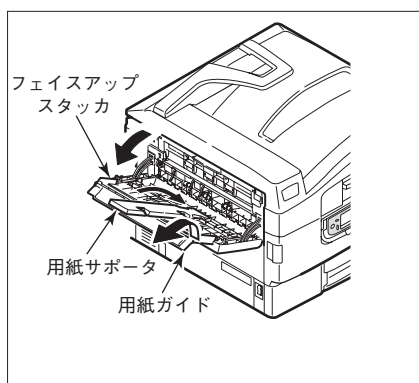
ラベル紙は「マルチパーパストレイ」から印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
必ず試し印刷をして、支障のないことを確認してください。

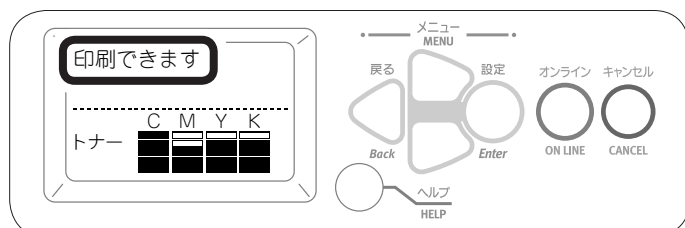
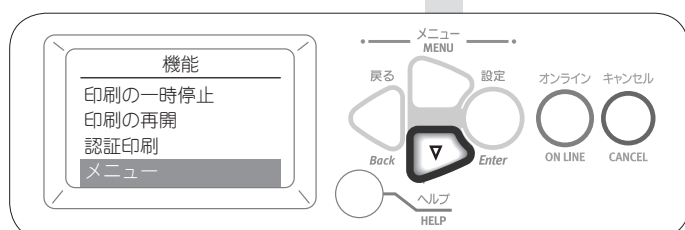
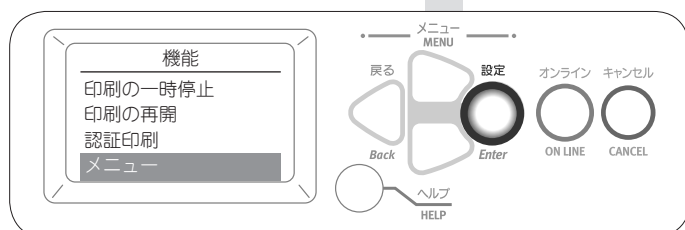
使用できるラベル紙

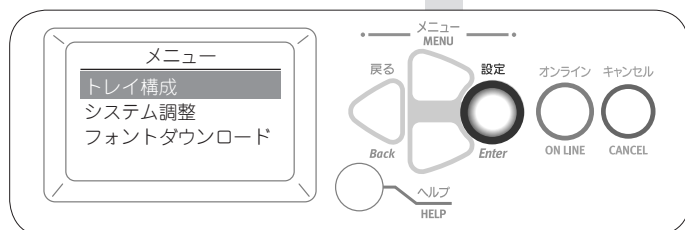
サイズ	単位：mm(インチ)	厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	0.13 ～ 0.2mm	LBP-F7XXX（コクヨ製）
レター	215.9 × 279.4(8.5 × 11)		

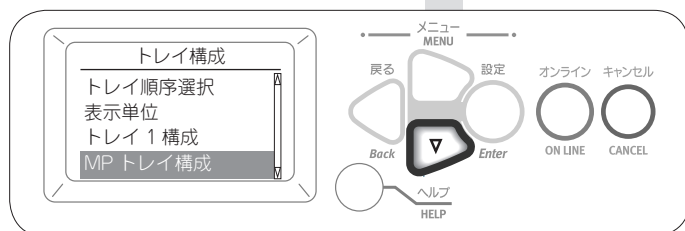
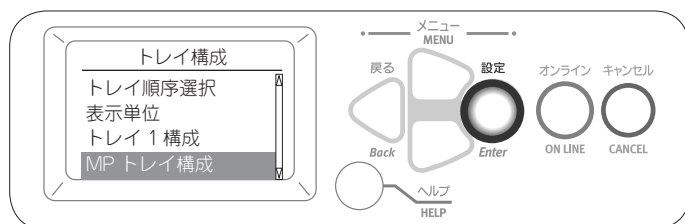
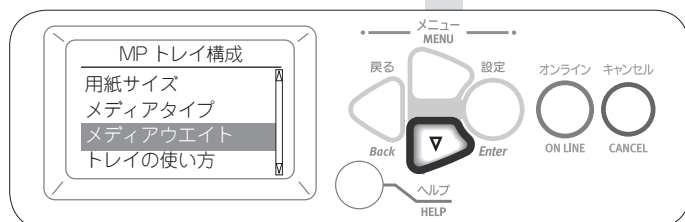
「マルチパーパストレイ」から手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷する」(100ページ)をご覧ください。

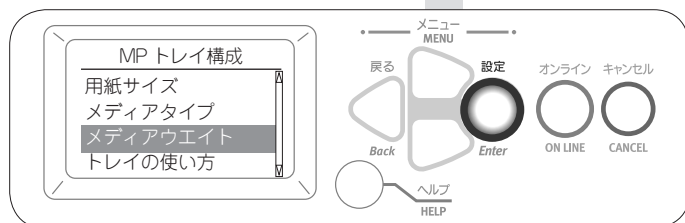
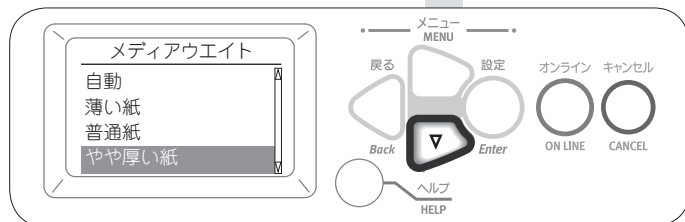
手順（1～4まであります）

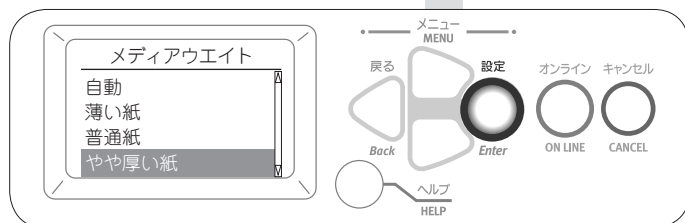
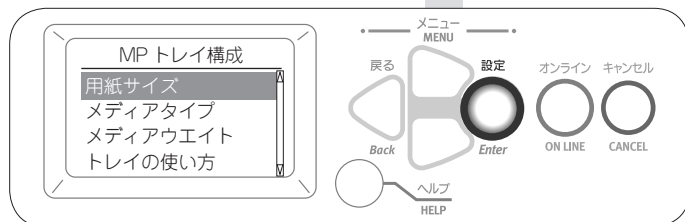
1 マルチパーパストレイに、印刷面を上にして用紙をセットします。

2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、「メディアウエイト」、「用紙サイズ」、「メディアタイプ」を設定します。

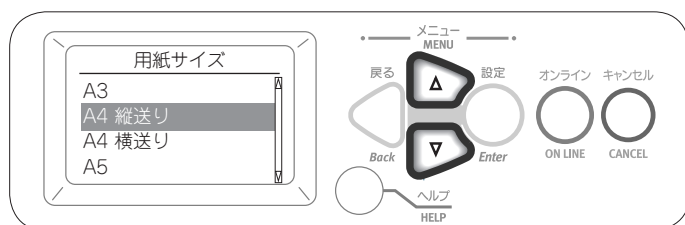
工場出荷時は［用紙厚自動］、［A4 横送り］の［普通紙］に設定されているため、以下の設定が必要です。
プリンタドライバで設定することもできます。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ○ 設定ボタンを押します。

❹ ［トレイ構成］が選択されていることを確認し、○ 設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

❼ ▽ ボタンを数回押し、[メディアウエイト] を選択します。

❽ 設定ボタンを押します。

❾ ▽ ボタンを数回押し、[やや厚い紙] を選択します。

❿ 設定ボタンを押します。

⓫ [用紙サイズ] が選択されていることを確認して、設定ボタンを押します。

⓬ ▽ ボタンまたは △ ボタンを使用して［A4　縦送り］を選択します。

⓭ 設定ボタンを押します。

⓮ ▽ ボタンを押し、［メディアタイプ］を選択します。

⓯ 設定ボタンを押します。

⓰ ▽ ボタンを数回押し、［ラベル紙］を選択します。

⓱ 設定ボタンを押します。

⓲ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4 ］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックします。

❻［用紙トレイ］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❼［仕上げ］アイコンをクリックします。

❽［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❾「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

PCL プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4 ］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

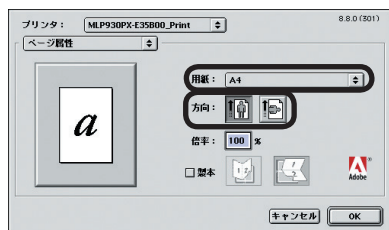
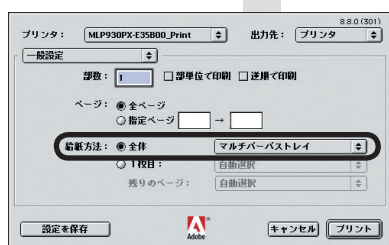
❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

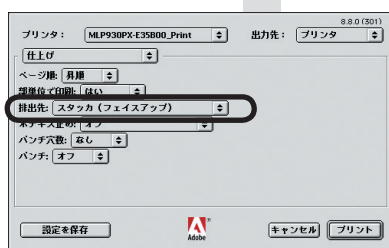
❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOS をお使いの方

Mac OS X をお使いの方は 46 ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［仕上げ］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X をお使いの方

MacOS をお使いの方は 45 ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4 ］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ Mac OSX10.5 以降で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❻［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1 ］機能セットパネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

OHP フィルムに印刷する

OHP フィルムはマルチパーパストレイまたはトレイ1から印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
印刷できる OHP フィルムのサイズは、A4、レターで、厚さは 0.1 〜 0.12mm です。

- OHP フィルムは透明なプラスチックでできているため、印刷品位が低下することがあります。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをした OHP フィルムは滑って吸入できないことがあります。
- OHP フィルムの種類によっては定着器ユニットのローラーに巻きついたりしてプリンタが故障する場合があります。
- OHP 装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

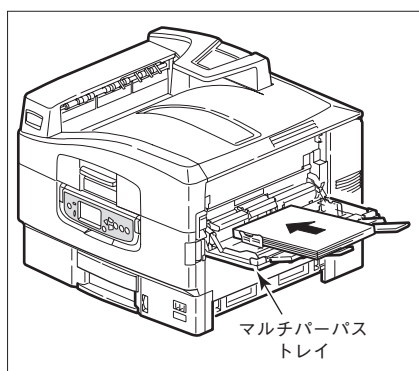
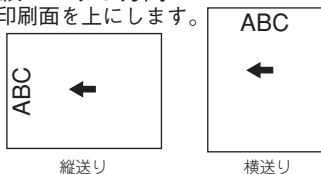
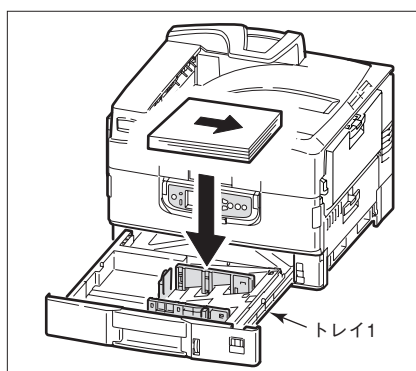
使用できる OHP フィルム

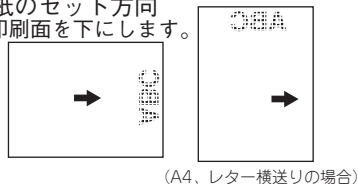
サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	0.1 〜 0.12mm	電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用 OHP シート
レター	215.9 × 279.4(8.5 × 11)		

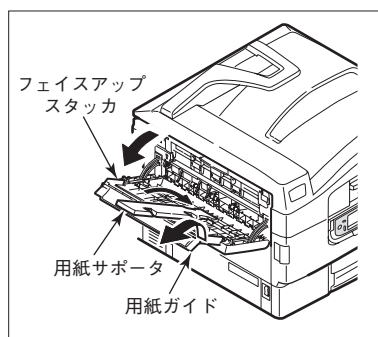
「マルチパーパストレイ」から手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷する」(100 ページ)をご覧ください。

手順（1 〜 4 まであります）

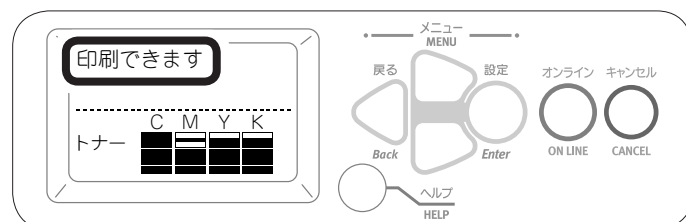
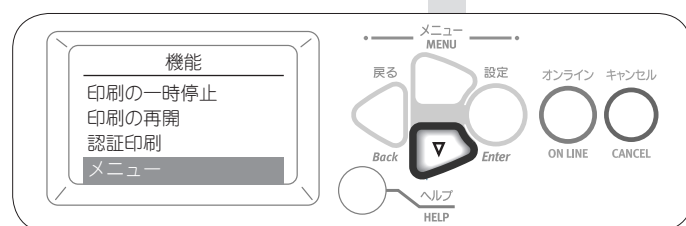
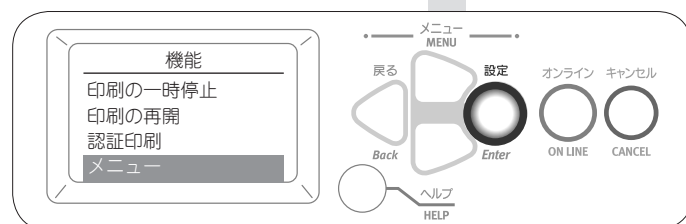
1 用紙をセットします。

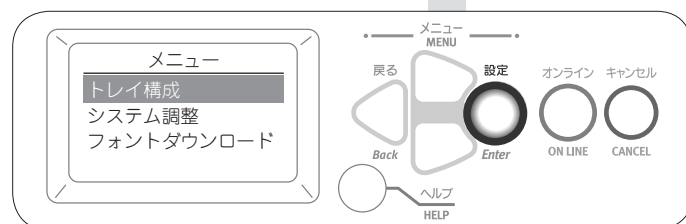
マルチパーパストレイを使う場合

用紙のセット方向
印刷面を上にします。

トレイ 1 を使う場合

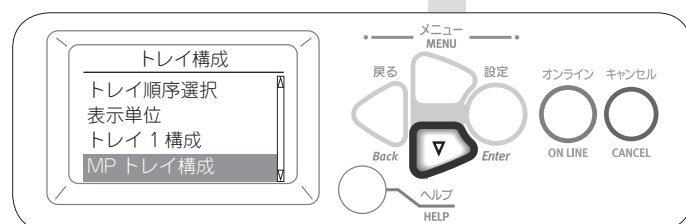
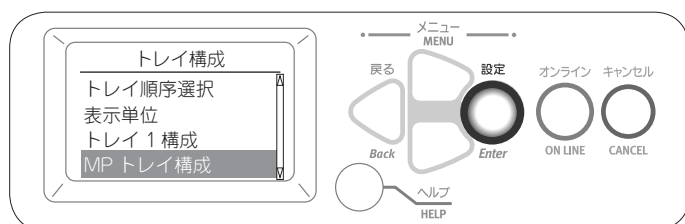
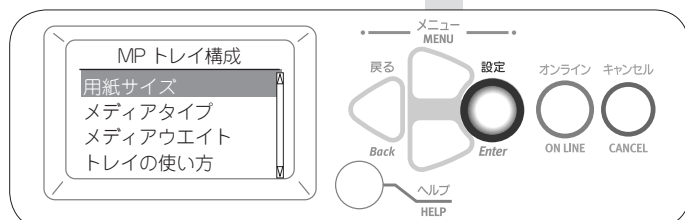
用紙のセット方向
印刷面を下にします。

（A4、レター横送りの場合）

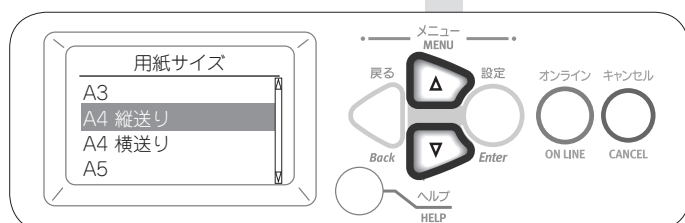
2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、「用紙サイズ」と「メディアタイプ」を設定します。

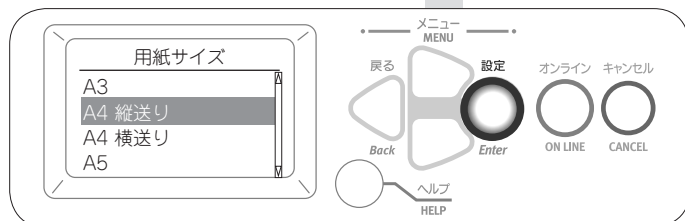
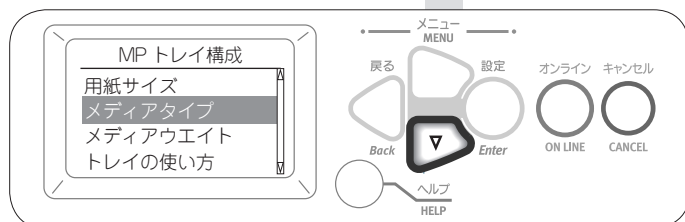
マルチパーパストレイを使う場合　トレイ 1 を使う場合は 51 ページをご覧ください。

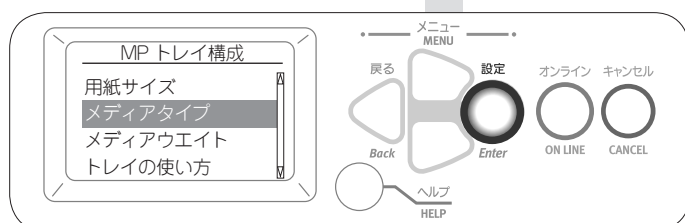
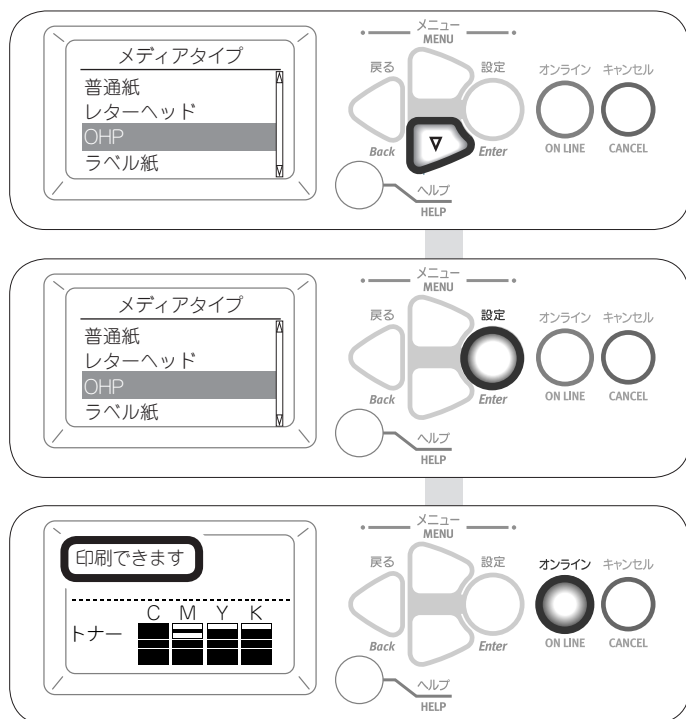
工場出荷時は［A4 横送り］の［普通紙］に設定されているため、以下の設定が必要です。
メディアタイプは、プリンタドライバで設定することもできます。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ◯ 設定ボタンを押します。

❹ ［トレイ構成］が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

❼ ［用紙サイズ］が選択されていることを確認し、 設定ボタンを押します。

❽ ボタンまたは ボタンを数回押し、印刷したい用紙サイズを選択します。

設定できるサイズは、［A4　縦送り］、［A4　横送り］、［レター　縦送り］、［レター　横送り］です。

❾ 設定ボタンを押します。

❿ ボタンを押し、［メディアタイプ］を選択します。

⓫ 設定ボタンを押します。

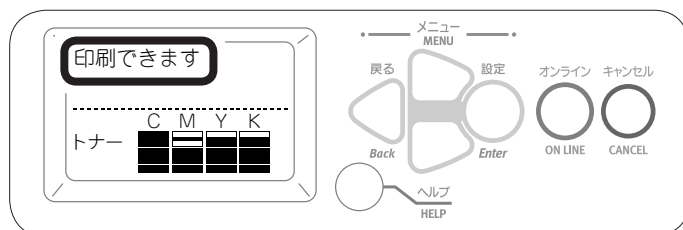
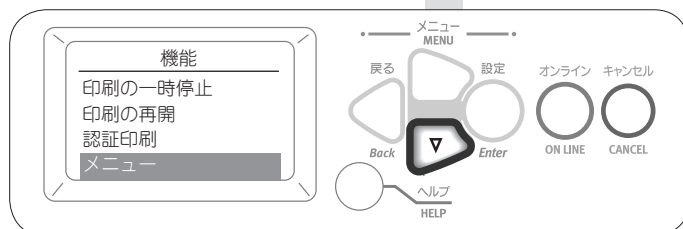
⑫ ▽ ボタンを数回押し、[OHP] を選択します。

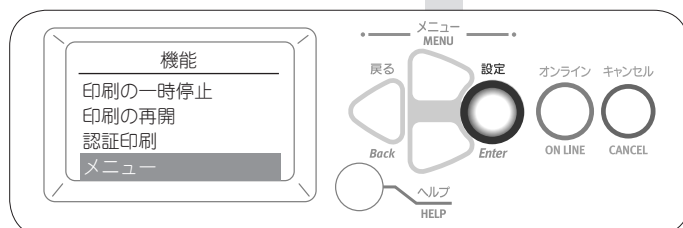
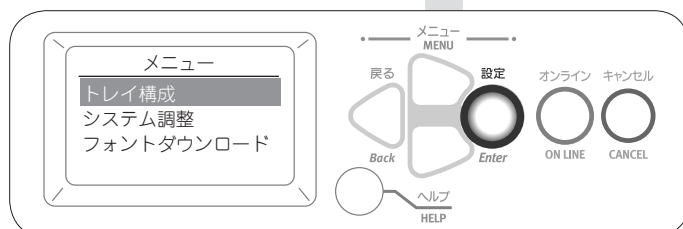
⑬ 設定ボタンを押します。

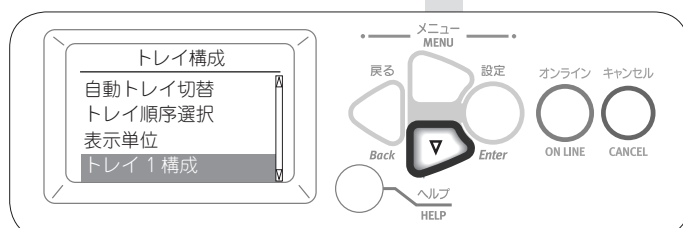
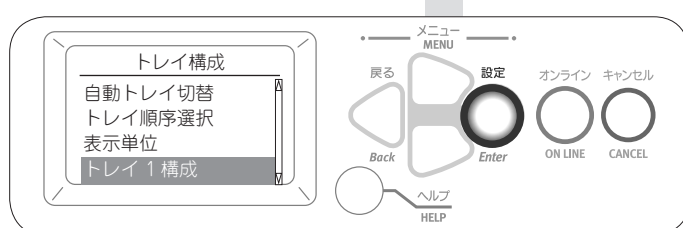
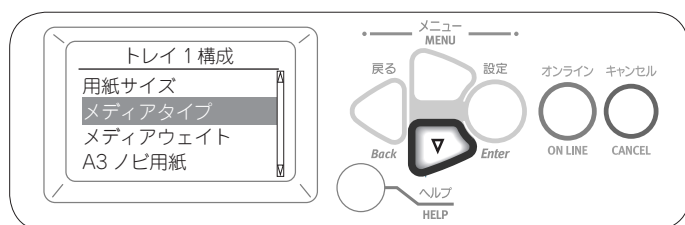
⑭ オンラインボタンを押します。

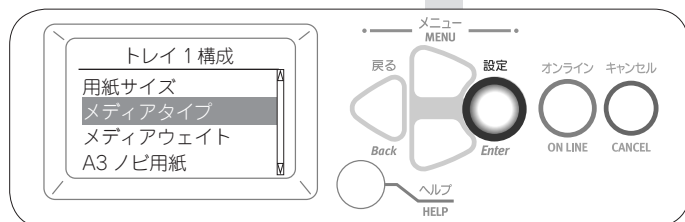
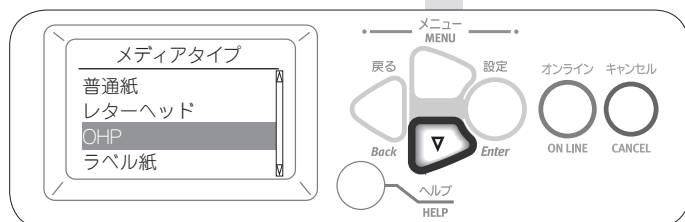
[印刷できます] と表示します。

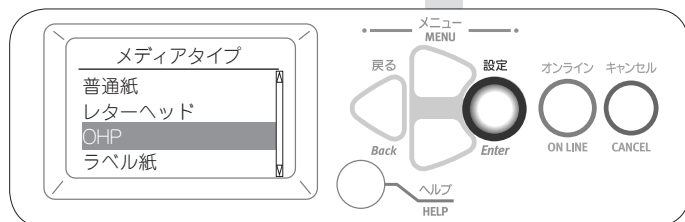
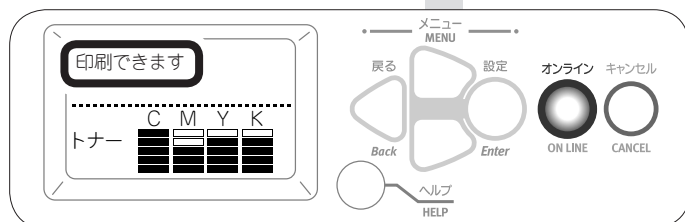
手順 4（53 ページ）へ進みます。

トレイ 1 を使う場合　マルチパーパストレイを使う場合は 48 ページをご覧ください。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ◯ 設定ボタンを押します。

❹ ［トレイ構成］が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンを数回押し、［トレイ 1 構成］を表示します。

❻ ◯ 設定ボタンを押します。

❼ ▽ ボタンを押し、[メディアタイプ] を表示します。

❽ 設定ボタンを押します。

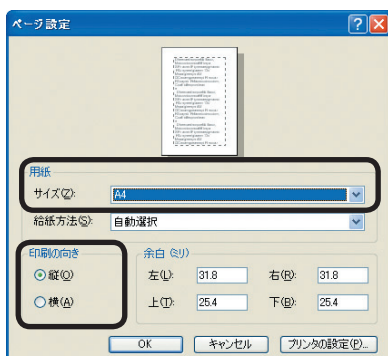
❾ ▽ ボタンを数回押し、[OHP] を選択します。

❿ 設定ボタンを押します。

⓫ オンラインボタンを押します。

[印刷できます] と表示します。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

注　［横送り］、［縦送り］はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックします。

❻［用紙トレイ］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❼［仕上げ］アイコンをクリックします。

❽［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❾「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

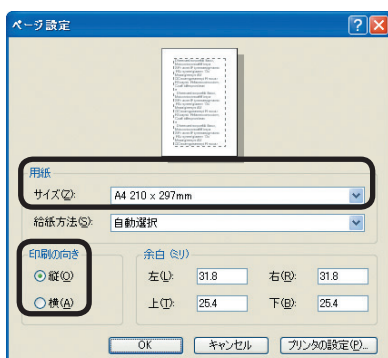
❷ ［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

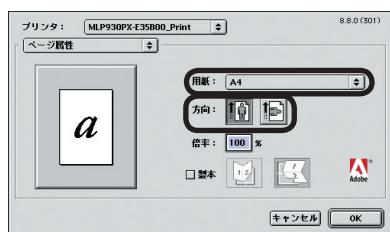
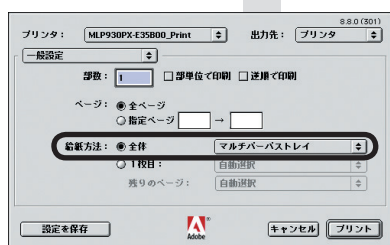
❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

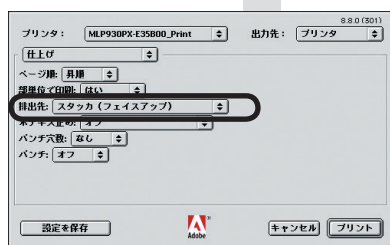
❻ ［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼ 「印刷」画面で［印刷］または［OK］をクリックし、印刷します。

MacOS をお使いの方

Mac OS X をお使いの方は 56 ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

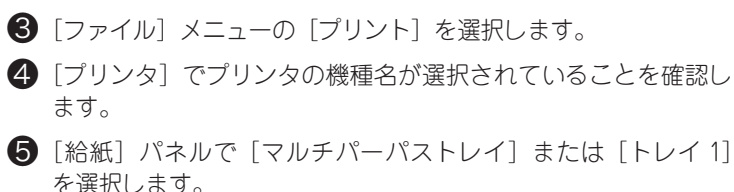
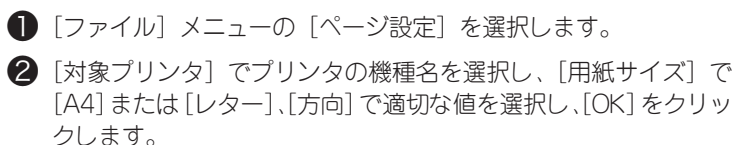
❷［用紙］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❺［仕上げ］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X をお使いの方

MacOS をお使いの方は 55 ページをご覧ください。

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

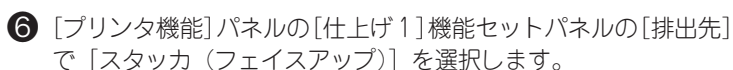
❷ ［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

メモ　Mac OSX10.5 以降で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❻ ［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットパネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼ ［プリント］をクリックし、印刷します。

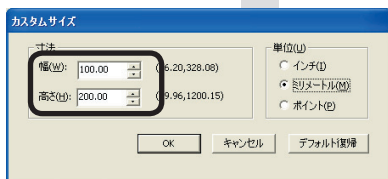
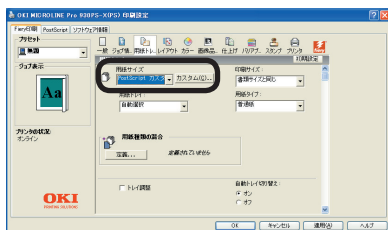
長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）

長尺紙や任意のサイズ（幅は 76.2 ～ 328mm、長さは 90 ～ 1200mm）の用紙に印刷できます。
印刷する用紙はマルチパーパストレイ、またはトレイ 1 ～ 5（トレイ 2 ～ 5 はオプション）にセットし、フェイスアップスタッカへ排出します。但し、長さが 457mm を超える用紙、もしくは幅が 100mm 未満の用紙は、マルチパーパストレイにセットします。用紙は縦長（幅＜長さ）にセットします。
アプリケーションによっては利用できない場合があります。

- PS ドライバの［印刷品位］で［きれい］を指定した場合は、印刷可能な用紙長は 600mm までです。
- 長さが 457.2mm を超える用紙の印刷品位は保証できません。
- PCL プリンタドライバをお使いの場合、長さが 457.2mm を超える用紙に印刷する時に、［印刷品位］に「きれい」を指定しても「ふつう」の指定として扱われます。
- 使用できる用紙は連量 55 ～ 258kg（64 ～ 300g/m^2）の用紙です。ただし、連量 187kg（217g/m^2）以上の用紙はマルチパーパストレイにセットしてください。
- 幅が 100mm 未満の用紙は［用紙を入れてください　マルチパーパストレイ］が表示されたらオンラインボタンを押して印刷します。
- 長尺紙は連量 110kg（128g/m^2）の用紙を使用してください。
- 用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」または「はやい」を設定すると正しく印刷できる場合があります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1. Windows 7/Server 2008R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］を選択します。
2. ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。
3. ［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］をクリックします。
4. ［用紙サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を選択します。
5. 「カスタム」をクリックします。

- サイズは、幅＜高さ（縦長）となるように設定してください。

6. 「カスタムサイズ」画面で［幅］と［高さ］を入力します。
7. ［OK］をクリックします。
8. 印刷したいファイルを開き、［PostScript カスタムページサイズ］を指定し、印刷します。

PCL プリンタドライバをお使いの方

PCL プリンタドライバは、Windows 共通です。

❶ Windows 7/Server 2008R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] をクリックします。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [設定] - [プリンタと FAX] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE ***(PCL)](*** はプリンタ名)アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ [設定] タブの [オプション] をクリックします。

❹「給紙オプション」画面で [用紙サイズの追加] をクリックします。

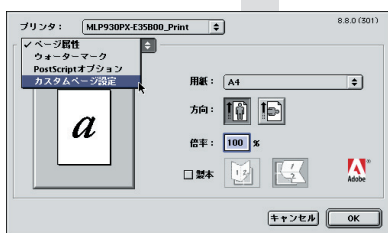
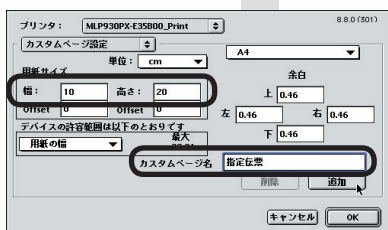
❺「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

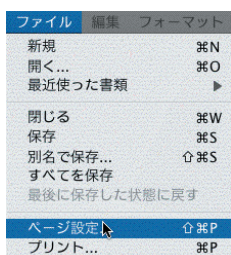
❻［追加］をクリックします。
作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計 32 個まで定義できます。

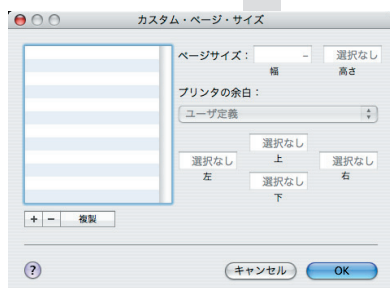
❼ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

MacOS をお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸［カスタムページ設定］パネルを選択し、［幅］と［高さ］、［カスタムページ名］を入力し、［追加］をクリックします。

❹［OK］をクリックします。
作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

Mac OS X をお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［用紙サイズ］パネルで［カスタムサイズを管理］をクリックします。

❹「カスタム・ページ・サイズ」画面の［+］ボタンを押して、［カスタム用紙サイズの名前］、［幅］、［高さ］を入力します。

サイズは、幅<高さ（縦長）となるように設定してください。

❺［OK］をクリックします。
作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

2 色々な機能を使って印刷する

システム別使用可能な機能一覧

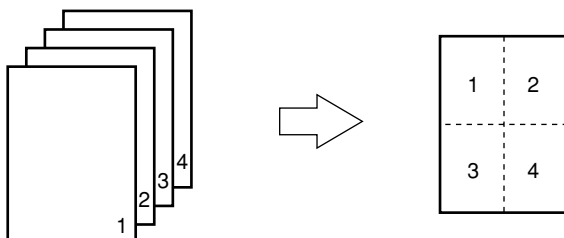
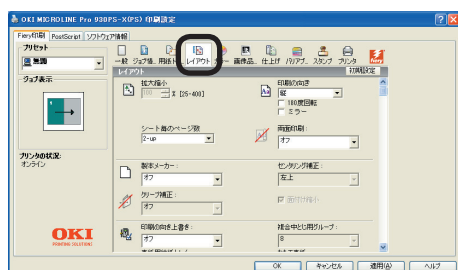
MLPro930PS で可能な主な機能の一覧です。
プリンタドライバの種類（PS または PCL）とお使いのシステムによって、使える機能が異なります。

×：利用できません
○：利用できます

	Windows PS	Windows PCL	MacOS 9.2 ～ 9.2.2	Mac OS X 10.3.9 ～	参照ページ
複数ページを 1 枚に印刷する	○	○	○	○	63 ページ
複数枚に拡大して印刷（ポスター印刷）	×	○	○	×	65 ページ
用紙の両面に印刷する（両面印刷）	○	○	○	○	67 ページ
スタンプ印刷（ウォーターマーク）	○	○	○	×	69 ページ
小冊子を作る（製本印刷）	○	○	○	○	72 ページ
トナーを節約して印刷する	○	×	○	○	77 ページ
印刷品位を変更する	○	○	○	○	79 ページ
文書を部単位で印刷（丁合印刷）	○	○	○	○	81 ページ
パスワードを入力してから印刷（認証印刷）	○	○	○	○	83 ページ
表紙のみ別のトレイから給紙 (表紙印刷)	○	○	○	○	87 ページ
用紙サイズを変更して印刷する	○	○	○	○	89 ページ
プリンタにフォームを登録して、印刷したい（フォームオーバーレイ）	○	○	○	○	92 ページ
「トレイ」を自動で選択する	○	○	○	○	96 ページ
同じ用紙サイズを大量に印刷する（自動トレイ切替）	○	○	○	○	98 ページ
手差しで 1 枚ずつ印刷する	○	○	○	○	100 ページ
プリンタのフォントで印刷する	○	○	○	×	103 ページ
コンピュータのフォントで印刷する	○	○	○	×	106 ページ
黒の部分の仕上がりを変更する	○	○	○	○	111 ページ
カラーデータを白黒で印刷する	○	○	○	○	113 ページ
プリンタドライバの設定に名前を付けて保存する	○	○	×	○	181 ページ
プリンタドライバの初期設定を変更する	○	○	○	○	183 ページ
印刷データをファイルに出力する	○	○	○	○	184 ページ
プリンタドライバを削除する	○	○	○	○	193 ページ
プリンタドライバを更新（アップデート）する	○	○	○	○	196 ページ

複数ページを 1 枚に印刷する

複数枚のドキュメントを縮小して 1 枚の用紙に印刷します。両面印刷機能(67 ページ)と組み合わせると、より多くのページを 1 枚の用紙に印刷することができます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［Fiery 印刷］タブの［レイアウト］アイコンをクリックします。

❺ ［シート毎のページ数］で［n-up］(n は 1 枚に印刷するページ数) を選択します。

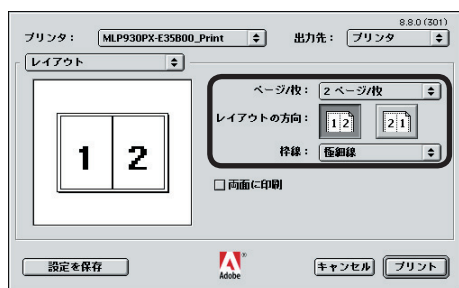
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に 0 ～ 30mm まで設定できます。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 設定項目の上方にある［レイアウト］パネルで［ページ / 枚］、［レイアウトの方向］、［枠線］を選択します。

注 ［レイアウト］パネルは 2 つあります。ここでは、上の方の［レイアウト］パネルを選択します。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

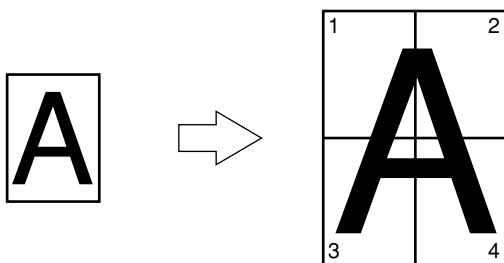
❸ ［レイアウト］パネルの［ページ数 / 枚］、［レイアウト方向］、［枠線］を選択します。

ページ / 枚
　割り付けるページ数、配置を選択します。
　必ず［2 ページ / 枚］、［4 ページ / 枚］…を選択してください。
　［2 × 2 枚 / ページ］、［4 × 4 枚 / ページ］…は選択しないでください。

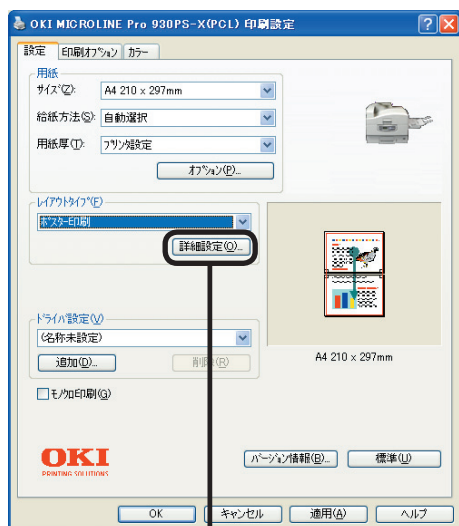
枠線
　各ページを枠線で囲むことができます。

メモ Mac OSX10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

複数枚に拡大して印刷（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

利用できません。

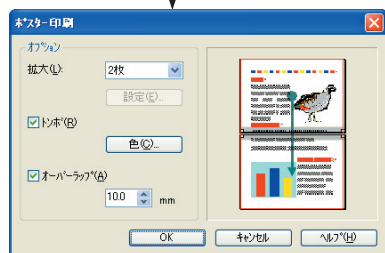
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定します。

拡大
　１ページを何ページ分に拡大するかを指定します。
トンボ
　仕上がりの位置を示す目印を印刷します。
オーバーラップ
　重なる部分の幅を設定します。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 設定項目の上方にある［レイアウト］パネルで［ページ数 / 枚］を選択します。

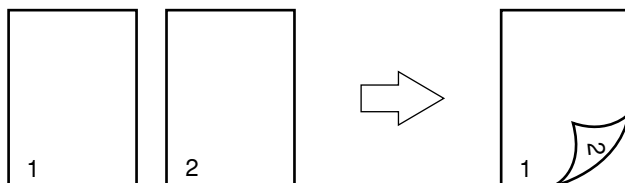
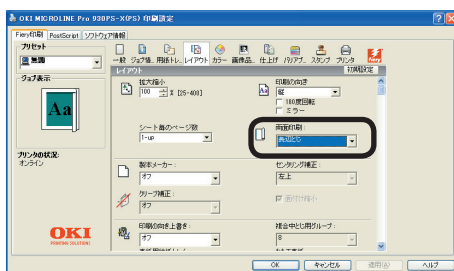
注 ［レイアウト］パネルは 2 つあります。ここでは、上の方の［レイアウト］パネルを選択します。

メモ ページ / 枚
分割する枚数、配置を選択します。
必ず［2 × 2 枚 / ページ］、［4 × 4 枚 / ページ］…を選択してください。［2 ページ / 枚］、［4 ページ / 枚］…は選択しないでください。

Mac OS X をお使いの方

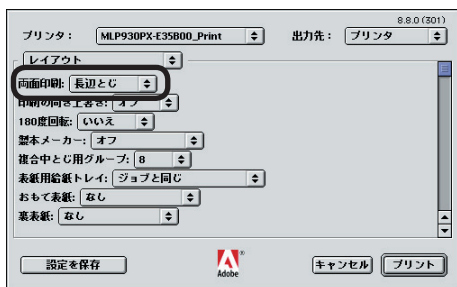
利用できません。

用紙の両面に印刷する（両面印刷）

用紙の両面に印刷します。MLPro930PS-S では、オプションの「両面印刷ユニット」が必要です。プリンタドライバで両面印刷ユニットを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
両面印刷できる用紙サイズは A3、A3 ワイド、A3 ノビ、タブロイド、タブロイドエクストラ、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、エグゼクティブ、カスタムサイズ（幅 100 ～ 328mm, 長さ 148 ～ 457.2mm）です。
両面印刷できる用紙の厚さは、連量 55kg ～ 162kg（64 ～ 188g/m^2）です。
用紙幅 210mm 未満の場合、両面印刷することができます。
用紙の厚さは、55kg ～ 103kg（64 ～ 120g/m^2）です。
複数ページを 1 枚に印刷する機能（63 ページ）と組み合わせると、より多くのページを 1 枚の用紙に印刷することができます。
［印刷品位］に［ふつう］以外を指定して両面印刷する場合、B4 を超える大きさの用紙サイズに印刷するには、合計 512MB のメモリが必要です。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［Fiery 印刷］タブの［レイアウト］アイコンをクリックします。
5. ［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 設定項目の下の方にある［レイアウト］パネルの［両面印刷］で［長辺とじ］もしくは［短辺とじ］を選択します。

設定項目の上の方にある［レイアウト］パネルの［両面に印刷］は、マニュアル両面印刷機能になります。
マニュアル両面印刷では奇数ページが最初に印刷され、片面印刷が完了した用紙を再度手動でプリンタにセットしなおして偶数ページの印刷を完了させる必要があります。
自動で両面印刷をするには、設定項目の下の方にある［レイアウト］パネルの両面印刷をご利用ください。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

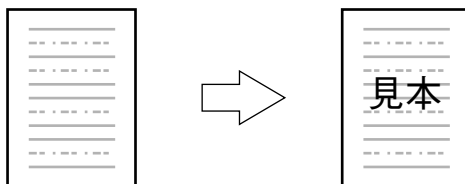
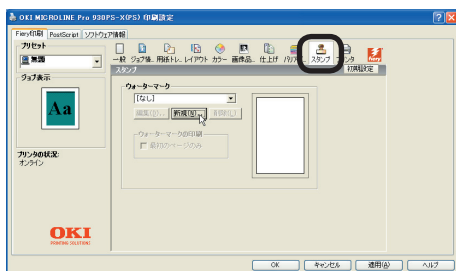
❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［レイアウト］パネルを選択し、［両面印刷］で［長辺とじ］もしくは［短辺とじ］を選択します。

注

Mac OSX10.3 以降で、［レイアウト］パネルの［両面プリント］は使用できません。

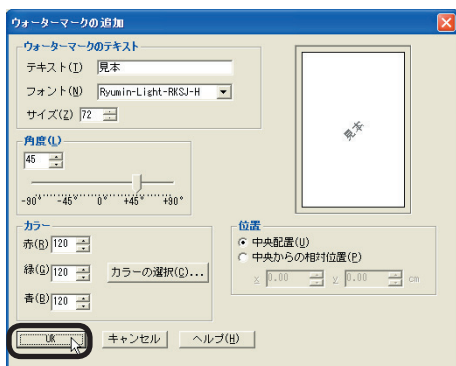
スタンプ印刷（ウォーターマーク）

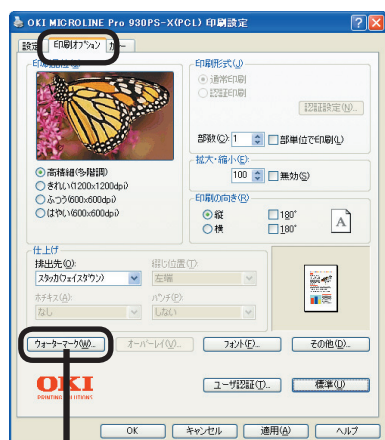
アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［Fiery 印刷］タブの［スタンプ］アイコンをクリックします。

❺ ［新規］をクリックします

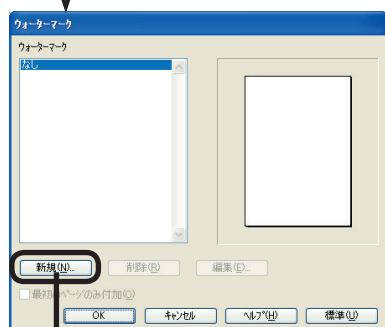
❻ 「ウォーターマークの追加」画面で［テキスト］を入力し、［フォント］、［サイズ］、［角度］、［カラー］、［位置］を決定します。

❼ ［OK］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

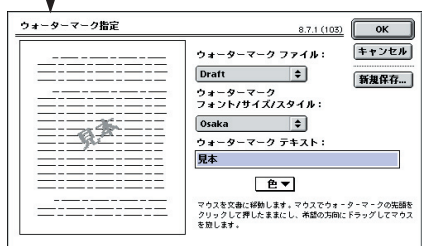
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸ ［ウォーターマーク］パネルで［最初］か［すべて］を選択し、［TEXT］を選択します。
［最初］を選択すると、ウォーターマークを最初のページにだけ印刷します。

前景
ウォーターマークをページ上の前面に印刷します。
書類と共に保存
書類とともにウォーターマークパネルの設定を保存します。

❹ ［編集］をクリックします。

❺ ［ウォーターマークテキスト］を入力し［ウォーターマークフォント / サイズ / スタイル］、［色］を選択します。
左のプレビュー画面上をクリックするとその場所にウォーターマークが配置されます。

❻ ［新規保存］をクリックします。
アプリケーションによっては保存できない場合があります。

❼ ［新規ウォーターマーク名］を入力し、［OK］をクリックします。
ウォーターマークの印刷後は必ず［ウォーターマーク］パネルで［なし］を選択してください。

メモ　画像をウォーターマークにする方法

❶ ウォーターマークにする画像ファイル（PICT または EPS 形式）を用意します。
❷ 画像ファイルを［システムフォルダ］-［初期設定］-［ウォーターマーク］フォルダに入れます。
❸ アプリケーションを起動します。
❹ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。
❺ ［ウォーターマーク］パネルで［最初］または［すべて］を選択します。
❻ ［PICT］または［EPS］を選択し、［ウォーターマーク］から、画像を選択します。
ウォーターマークは用紙の中央に配置されます。

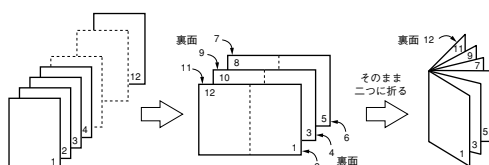
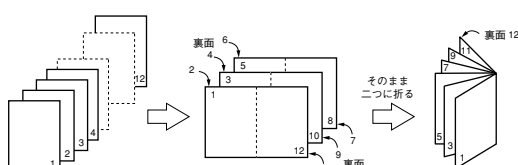
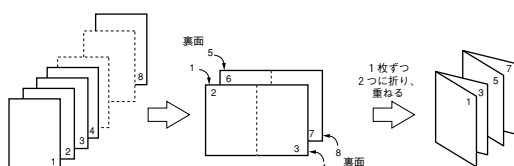
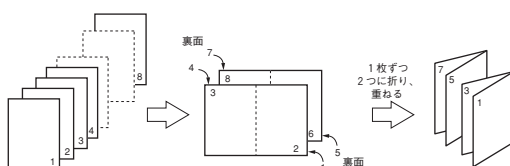
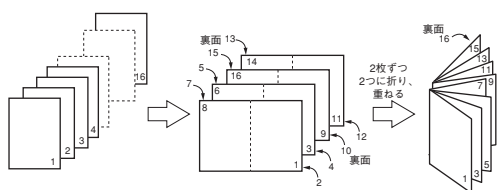
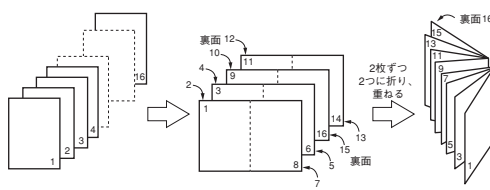
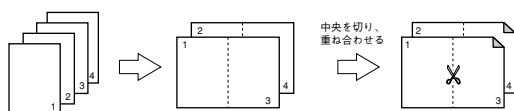
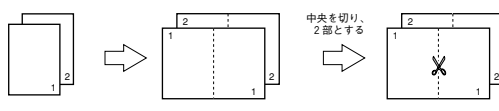
Mac OS X をお使いの方

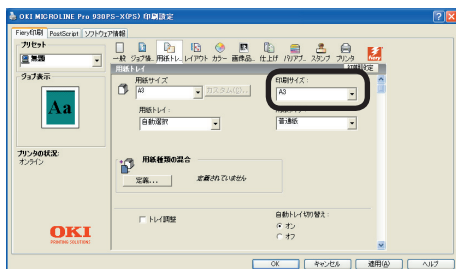
利用できません。

小冊子を作る（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成します。ML Pro 930PS-S ではオプションの「両面印刷ユニット」が必要です。プリンタドライバで「両面印刷ユニット」を取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。

- 図は一例です。
- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- フィニッシャーユニット（オプション）を取り付けることで、小冊子をホチキスで綴じることができるようになります。詳しくはフィニシャーユニットのユーザーズマニュアルをご覧ください。

【標準製本（PS ドライバ）／
製本（折丁なし）（PCL ドライバ）】

【右とじ（PS ドライバ）／
右開き指定（PCL ドライバ）】

【無線とじ（PS ドライバのみ）】

【無線とじ - 右（PS ドライバのみ）】

【複合中とじ - 左（PS ドライバのみ）】

【複合中とじ - 右（PS ドライバのみ）】

【スピード印刷（PS ドライバのみ）】

【ダブル印刷（PS ドライバのみ）】

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

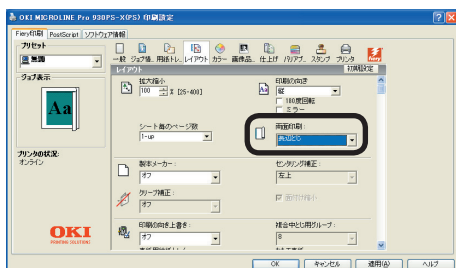
・接続タイプ（キュー）で「直接接続」を選んでいる場合には利用できません。
・アプリケーション自身で PostScript を生成する場合で PS エラー「undefined」が発生して印刷されない場合には、アプリケーションが生成する PostScript のフォントやリソースがページ単位で送信されるように設定する必要があります。該当する設定については、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

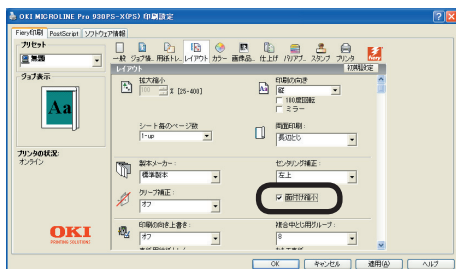
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックします。

❺ ［印刷サイズ］で、印刷する用紙サイズを選択します。

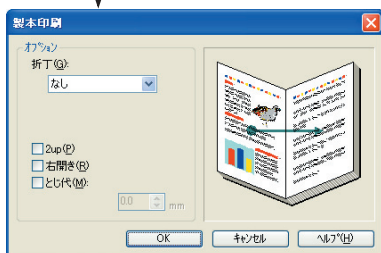
・作成される小冊子が原稿サイズの半分の大きさでよい場合には［書類サイズと同じ］のままとします。
・原稿サイズと同じ大きさの小冊子とする場合には用紙サイズの 2 ページ分の大きさの用紙を選択します。
例えば、A4 サイズの小冊子を作る場合は［A3］を、B5 サイズの小冊子を作る場合は［B4］を選択します。
・「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合、［用紙サイズ］の A4/ レターについては A4（縦送り）/ レター（縦送り）に置き変わります。

❻ ［Fiery 印刷］タブの［レイアウト］アイコンをクリックします。

❼ ［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合には、［仕上げ］アイコンをクリックし、［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］、［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択します。

❽ ［製本メーカー］で「標準製本］などの製本タイプを選択します。
手順❺で［書類サイズと同じ］としている場合［面付け縮小］のチェックを付けます。
手順❺で作りたい小冊子の用紙サイズを 2 ページ分の大きさの用紙サイズを選択している場合には［面付け縮小］のチェックを外します。

・クリープ補正
製本印刷時に、中央のマージンを紙の厚さを考慮して広げる場合に指定します。
・面付け縮小
［オン］の場合、ドキュメントのイメージサイズを自動的に 1/2 にスケールダウンします。［オフ］の場合は、ドキュメントのイメージサイズは縮小されずにオリジナルの大きさで印刷されます。
・その他、［複合中とじ用グループ］、［表紙用給紙トレイ］、［おもて表紙］、［裏表紙］、［センターマージン］の設定内容については、Fiery 編の［7 章　プリントオプション］をご覧ください。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

・NetBEUI や別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
・［製本印刷］が選択できない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE *** （PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［折丁］、［2up］、［右開き］、［とじ代］を設定します。

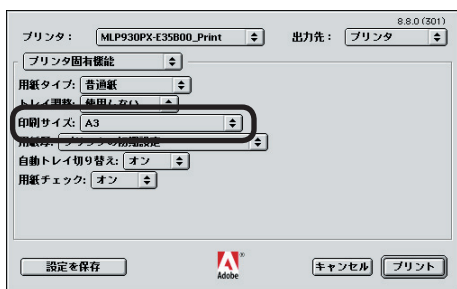
折丁　製本するページの単位です。
右開き　小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻ ［設定］タブの［サイズ］で用紙サイズを選択し、［オプション］をクリックして［用紙サイズを変換する］にチェックを付けて、［変換］で該当する値を選択します。
例えば、A3 サイズの用紙を使用して A4 サイズの小冊子を作る場合は、［変換］で［A3 → A4］を選択します。

「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合

・［用紙サイズ］もしくは［変換］で指定されている A4/ レターについては A4（縦送り）/ レター（縦送り）に置き変わります。
・［印刷オプション］タブの［ホチキス］で［二箇所］、［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］、［綴じ位置］で［中綴じ（製本時）］を選択してください。

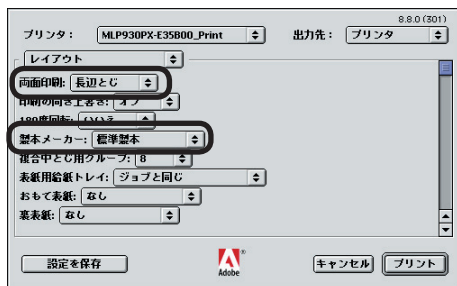
MacOS をお使いの方

- 接続タイプ（キュー）で「直接接続」を選んでいる場合には、用紙設定ダイアログの［ページ属性］パネルで［製本］にチェックしてください。
- アプリケーション自身で PostScript を生成する場合で PS エラー「undefined」が発生して印刷されない場合には、アプリケーションが生成する PostScript のフォントやリソースがページ単位で送信されるように設定する必要があります。該当する設定については、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- ダウンロードフォントを使用している場合で PS エラーが発生する場合には、［ファイル］メニュー→［用紙設定］→［PostScript オプション］→［ダウンロード可能フォントの制限なし］をチェックしてください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

用紙設定ダイアログの［ページ属性］パネル内の［製本］チェックボックスは通常使用しません。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プリンタ固有機能］パネルの［印刷サイズ］で、印刷する用紙サイズを選択します。

- 作成される小冊子が原稿サイズの半分の大きさでよい場合には［書類サイズと同じ］のままとします。
- 原稿サイズと同じ大きさの小冊子とする場合には用紙サイズの 2 ページ分の大きさの用紙を選択します。
  例えば、A4 サイズの小冊子を作る場合は［A3］を、B5 サイズの小冊子を作る場合は［B4］を選択します。

❹ 設定項目の下の方にある［レイアウト］パネルの［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

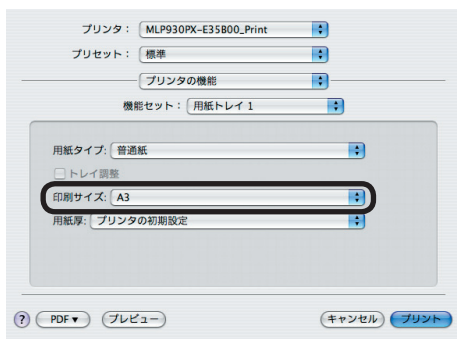
「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合には、［排出先］（スクロール必要）で［フィニッシャ（フェイスダウン）］、［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択します。指定順番は［排出先］、［ホチキス止め］の順番で指定してください。

❺ ［レイアウト］パネルの［製本メーカー］で［標準製本］などの製本タイプを選択します。
手順❸で［書類サイズと同じ］としている場合［面付け縮小］を［オン］にします。
手順❸で作りたい小冊子の用紙サイズを 2 ページ分の大きさの用紙サイズを選択している場合には［面付け縮小］（スクロール必要）を［オフ］にします。

- クリープ補正
  製本印刷時に、中央のマージンを紙の厚さを考慮して広げる場合に指定します。
- 面付け縮小
  ［オン］の場合、ドキュメントのイメージサイズを自動的に 1/2 にスケールダウンします。［オフ］の場合は、ドキュメントのイメージサイズは縮小されずにオリジナルの大きさで印刷されます。
- その他、［複合中とじ用グループ］、［表紙用給紙トレイ］、［おもて表紙］、［裏表紙］、［センターマージン］の設定内容については、Fiery 編の［7 章　プリントオプション］をご覧ください。

Mac OS9 では［センターマージン］の機能は使用できません。

Mac OS X をお使いの方

- 接続タイプ（キュー）で「直接接続」を選んでいる場合には利用できません。
- アプリケーション自身で PostScript を生成する場合で PS エラー「undefined」が発生して印刷されない場合には、アプリケーションが生成する PostScript のフォントやリソースがページ単位で送信されるように設定する必要があります。該当する設定については、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［用紙トレイ 1］機能セットの［印刷サイズ］で、印刷する用紙サイズを選択します。

- 作成される小冊子が原稿サイズの半分の大きさでよい場合には［書類サイズと同じ］のままとします。
- 原稿サイズと同じ大きさの小冊子とする場合には用紙サイズの 2 ページ分の大きさの用紙を選択します。
  例えば、A4 サイズの小冊子を作る場合は［A3］を、B5 サイズの小冊子を作る場合は［B4］を選択します。

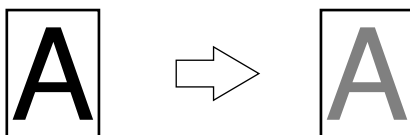
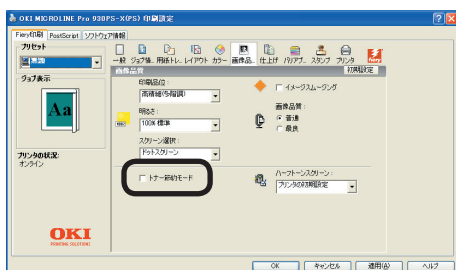
❹［プリンタの機能］パネルの［レイアウト 1］機能セットの［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合には、［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］、［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択します。指定順番は［排出先］、［ホチキス止め］の順番で指定してください。

❺［製本メーカー］で［標準製本］などの製本タイプを選択します。
手順❸で作りたい小冊子の用紙サイズを 2 ページ分の大きさの用紙サイズを選択している場合には、［レイアウト］機能セットの［面付け縮小］を［オフ］にします。
手順❸で［書類サイズと同じ］としている場合［面付け縮小］を［オン］にします。

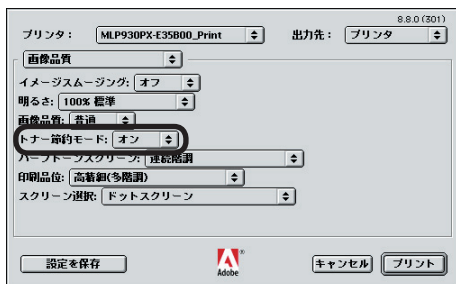
- クリープ補正
  製本印刷時に、中央のマージンを、紙の厚さを考慮して広げる場合に指定します。
- 面付け縮小
  ［オン］の場合、ドキュメントのイメージサイズを自動的に 1/2 にスケールダウンします。［オフ］の場合は、ドキュメントのイメージサイズは縮小されずにオリジナルの大きさで印刷されます。
- その他、［複合中とじ用グループ］、［表紙用給紙トレイ］、［おもて表紙］、［裏表紙］、［センターマージン］の設定内容については、Fiery 編の［7 章　プリントオプション］をご覧ください。
- ［センターマージン］機能は、［センターマージン］パネルで指定します。

トナーを節約して印刷する（トナー節約モード）

試し印刷の時などにトナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に 100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナー節約モードを選択してもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によって異なります。

- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが「グレースケール」の時は有効になりません。
- PostScript で CMYK 印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYK で印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScript でグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIE カラースペースで印刷データを作成する OS やアプリケーションでは無効となります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません）
❹ ［Fiery 印刷］タブの［画像品質］アイコンをクリックします。
❺ ［トナー節約モード］にチェックをつけます。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

利用できません。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［画像品質］パネルの［トナー節約モード］で［オン］を選択します。

Mac OS X をお使いの方

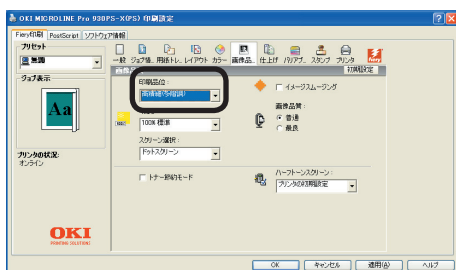
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ機能］パネルの［画像品質 1］機能セットの［トナー節約モード］で［オン］を選択します。

印刷品位を変更する

お使いの環境に合わせて、[印刷品位] を変更してください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

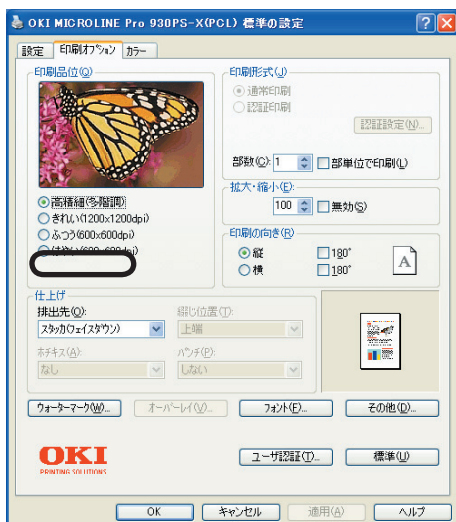
❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ [Fiery 印刷] タブの [画像品質] アイコンをクリックします。

❺ [印刷品位] を変更します。

イメージデータで最良の印刷結果を得るには、[画像品質] で [最良] を選択してください。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

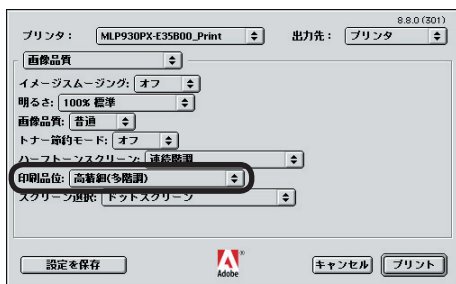
❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション] タブの [印刷品位] を変更します。

- PCL ドライバで [印刷品位] を [高精細 (多階調)] 以外に変更した場合には出力プロファイルのデフォルト設定を [印刷品位] の指定に一致するプロファイルに変更する必要があります。[印刷品位] の指定と出力プロファイルのデフォルト設定が一致しないと印刷結果が薄くなります。出力プロファイルのデフォルト設定は以下のいずれかで変更可能です。
- ColorWise Pro Tools を起動し Color Setup で [出力プロファイル] を変更する。
- 操作パネルの管理者用メニューのカラー設定で [出力プロファイル] を変更する。

印刷品位の指定に一致する出力プロファイルは以下のとおりです。

印刷品位	出力プロファイル
きれい (1200x1200dpi)	Fiery 3641A3 12x12 Dot v2F
ふつう (600x600dpi) / はやい (600x600dpi)	Fiery 3641A3 6x6 Dot v2F

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [画像品質] パネルの [印刷品位] を変更します。

イメージデータで最良の印刷結果を得るには、[画像品質] で [最良] を選択してください。

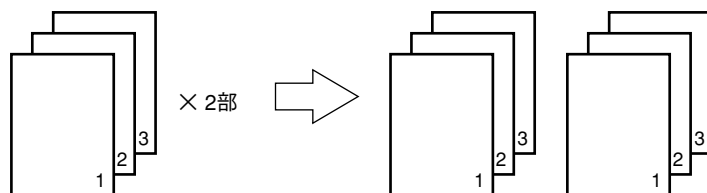
Mac OS X をお使いの方

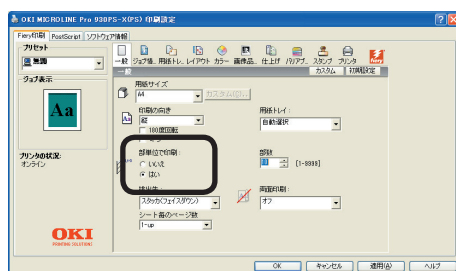
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタ機能］パネルの［画像品質 2］機能セットの［印刷品位］を変更します。

文書を部単位で印刷（丁合印刷）

印刷データをプリンタのハードディスクにスプールして、部単位の印刷ができます。

・接続タイプ（キュー）で「直接接続」を指定している場合には利用できません。
・PS プリンタドライバを利用する場合は、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
・アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

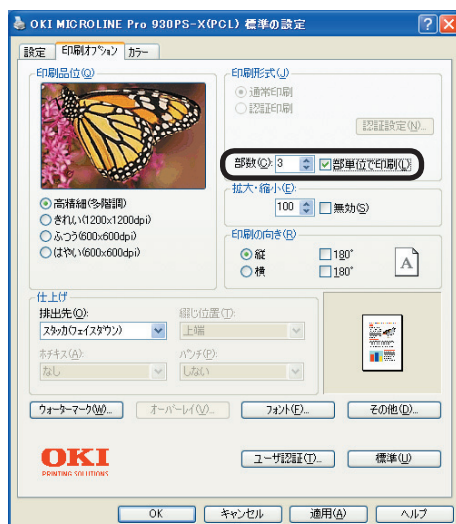
❸ 印刷ダイアログ上に［部単位で印刷］のチェックボックスが存在する場合にはチェックを外します。

［部単位で印刷］にチェックを付けると、丁合処理にプリンタのハードディスクを利用しません。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

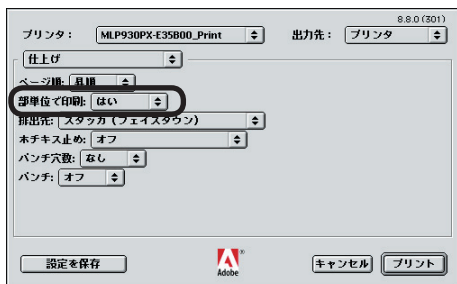
❺ ［Fiery 印刷］タブで［一般］アイコンをクリックし、［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］で［はい］を選択します。

［一般］アイコンをクリックしても［部数］、［部単位で印刷］が無い場合は、それぞれ［ジョブ情報］アイコン、［仕上げ］アイコンをクリックしてください。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックを付けます。

MacOS をお使いの方

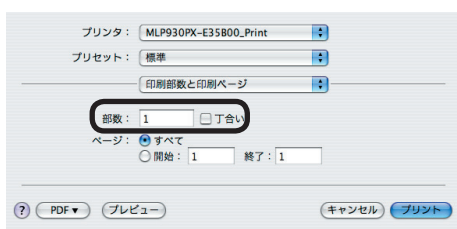
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］のチェックを外します。

- ［一般設定］パネルの［部単位で印刷］にチェックを付けると、丁合処理にプリンタのハードディスクを利用しません。

❹［仕上げ］パネルを選択し、［部単位で印刷］で［はい］を選択します。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］のチェックを外し、［部数］に印刷部数を入力し、［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットの［部単位で印刷］にチェックを付けます。

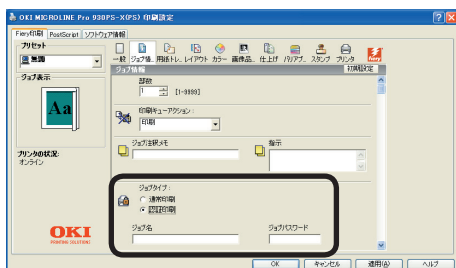
- ［丁合い］にチェックを付けると、丁合処理にプリンタのハードディスクを利用しません。

パスワードを入力してから印刷(認証印刷)

印刷データをプリンタの内蔵ハードディスクに保存し、プリンタの「操作パネル」でパスワードを入力してから印刷することができます。

- 接続タイプ(キュー)で「直接接続」を指定している場合には利用できません。
- 内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、操作パネルに[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示して一部だけ印刷します。

1 アプリケーションから印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ [Fiery 印刷] タブの [ジョブ情報] アイコンをクリックします。

❺ [ジョブタイプ] で [認証印刷] を選択し、[ジョブ名]、[ジョブパスワード] を入力します。

ジョブ名
　最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

ジョブパスワード
　4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。

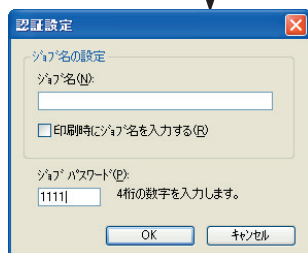
86 ページへ進みます。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。
ジョブパスワード
4 桁の数字で設定します。

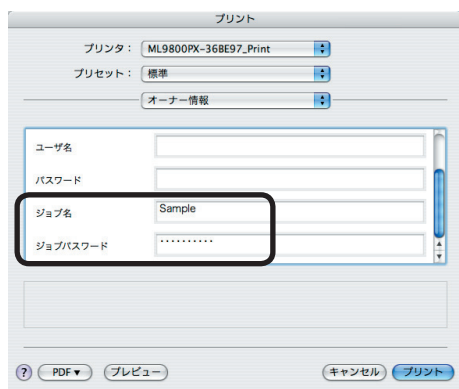
❻ 印刷します。

［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

86 ページへ進みます。

MacOS をお使いの方

利用できません。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

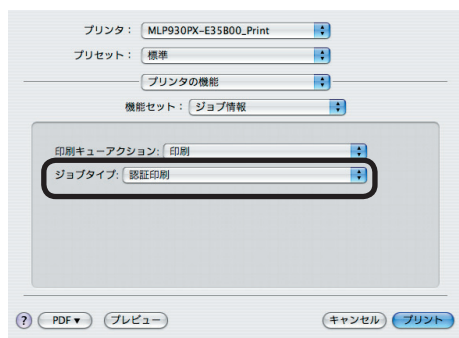
❸ ［オーナー情報］パネルで右スクロールバーを下方に下げ、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

メモ

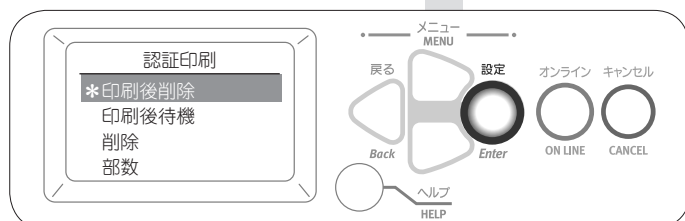
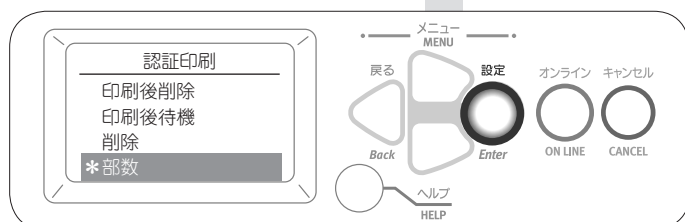
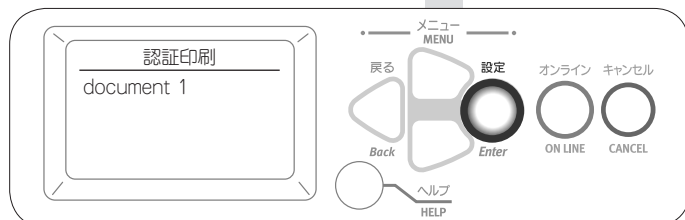
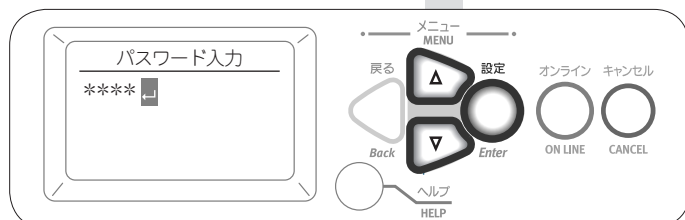
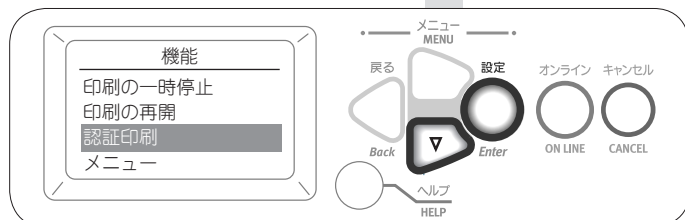
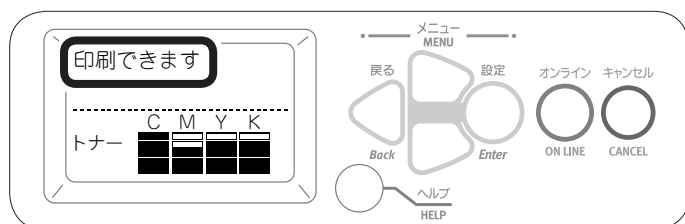
ジョブ名

最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

ジョブパスワード

4 桁の数字で設定します。

❹ ［プリンタの機能］パネルの［ジョブ情報］機能セットの［ジョブタイプ］で［認証印刷］を選択し、［プリント］をクリックします。

86 ページへ進みます。

2 プリンタの「操作パネル」からパスワードを入力し、印刷します。

❶ 操作パネルに［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、［認証印刷］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❸ パスワードを入力します。△、▽ボタンで数字を選び、◯設定ボタンを押すと次の行に移ります。
パスワードは４桁あります。
最後に◯設定ボタンを押します。

❹ 出力したいジョブを選択し、◯設定ボタンを押します。

メモ
印刷を行わない場合は、手順❹で［削除］を選択し、◯設定ボタンを押します。
※ 誤って入力したときは、◁戻るボタンを押し、入力し直してください。

❺ 複数部数出力したい場合には［部数］を選択して◯設定ボタンを押し、必要な部数を入力して◯設定ボタンを押します。（初期値は［1］に設定されています）

❻ 出力後、ハードディスクにデータを残したくない場合は［印刷後削除］を、ハードディスクにデータを残したい場合は［印刷後待機］を選択し、◯設定ボタンを押します。

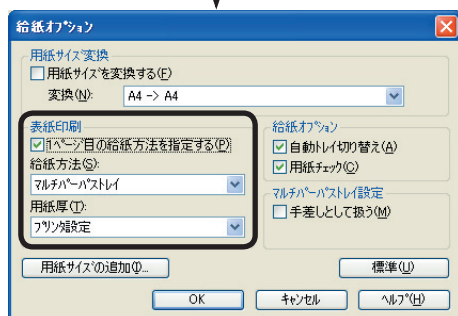
認証印刷が行われます。
（［印刷後待機］を選択した場合は、同手順で繰り返し印刷できます。）

表紙のみ別のトレイから給紙(表紙印刷)

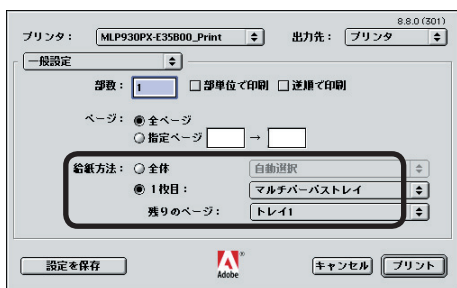
表紙だけ、または 1 ページ目だけ用紙の厚さや色を変えて印刷したい時に、この機能を使います。
使用する用紙は、あらかじめプリンタにセットしておきます。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

[製本メーカ]の機能を利用しない場合には､Fiery 編｢3 章　ユーティリティ｣の｢表紙定義を設定するには｣を参照してください。
[製本メーカ] の機能を利用する場合には、Fiery 編 「7 章　プリントオプション」 の ［おもて表紙]、[うら表紙]、[表紙用給紙トレイ] を参照してください。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］ メニューの ［印刷］ を選択します。
3. ［詳細設定］ をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［設定］ タブの ［オプション］ をクリックします。
5. ［表紙印刷］の［1 ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］ をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

注 給紙方法でメディアタイプを指定せずに必ずトレイを指定してください。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

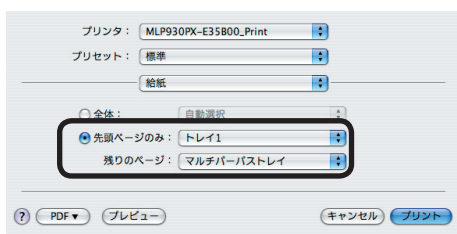
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙方法］で［1 枚目］のラジオボタンをクリックし、［1 枚目］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

さらに［おもて表紙］、［うら表紙］等を指定して印刷することもできます。

・［製本メーカ］の機能を利用しない場合には、Fiery 編「3 章 ユーティリティ」の「表紙定義を設定するには」を参照してください。Command WorkStation Mac Edition が必要です。

・［製本メーカ］の機能を利用する場合には、Fiery 編「7 章 プリントオプション」の［おもて表紙］、［うら表紙］、［表紙用給紙トレイ］を参照してください。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［先頭のページのみ］をクリックし、［先頭ページのみ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

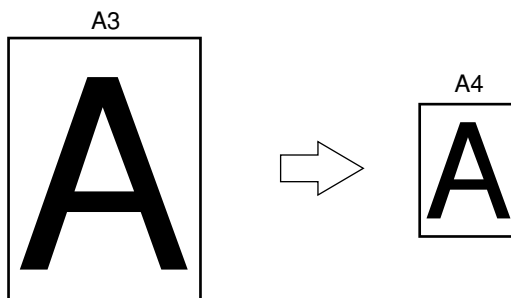
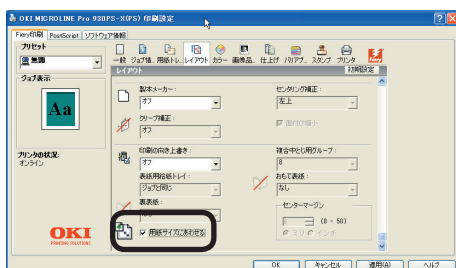
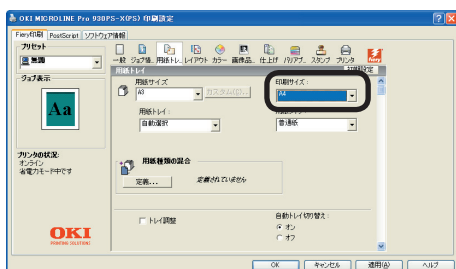
さらに［おもて表紙］、［うら表紙］等を指定して印刷することもできます。

・［製本メーカ］の機能を利用しない場合には、Fiery 編「3 章 ユーティリティ」の「表紙定義を設定するには」を参照してください。Command WorkStation Mac Edition が必要です。

・［製本メーカ］の機能を利用する場合には、Fiery 編「7 章 プリントオプション」の［おもて表紙］、［うら表紙］、［表紙用給紙トレイ］を参照してください。

用紙サイズを変更して印刷する

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷します。

アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

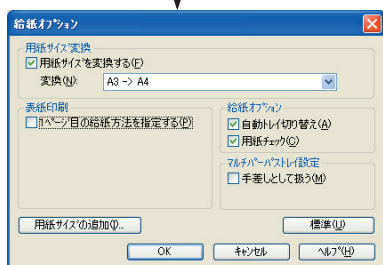
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

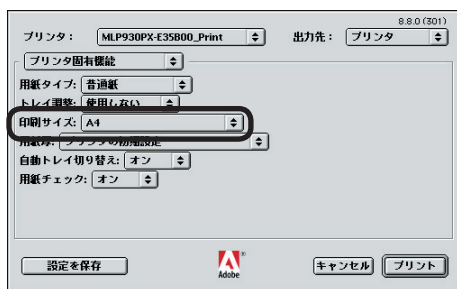
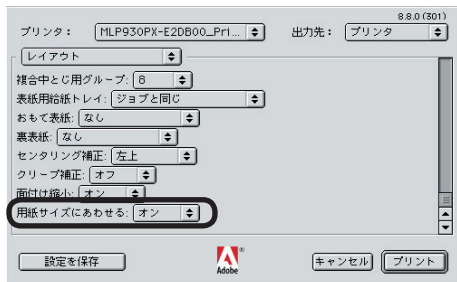
❹ ［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックします。

❺ ［印刷サイズ］で印刷する用紙サイズを選択します。

❻ 右端のスクロールバーを下方に下げ、［用紙サイズに合わせる］をチェックします。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
❹［設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。
❺［オプション］をクリックします。

❻［用紙サイズを変換する］にチェックを付け、［変換］で印刷する用紙サイズを選択します。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸［プリンタ固有機能］パネルの［印刷サイズ］で印刷する用紙サイズを選択します。

❹ 設定項目の下の方にある［レイアウト］パネルの［用紙サイズに合わせる］で［オン］を選択します。

Mac OS X をお使いの方

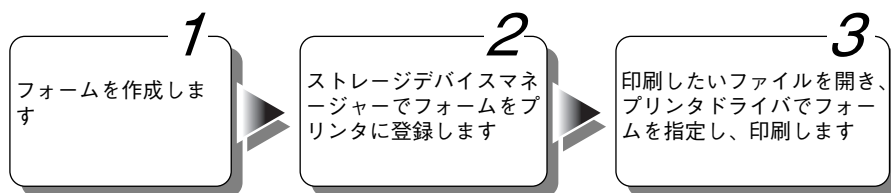
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルで［用紙トレイ 1］機能セットを選択し、［印刷サイズ］で印刷する用紙サイズを選択します。

❹［プリンタの機能］パネルで［レイアウト 2］機能セットを選択し、［用紙サイズに合わせる］をチェックします。

プリンタにフォームを登録して、印刷したい（フォームオーバーレイ）

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- OKI ストレージデバイスマネージャは CD1 ソフトウェア CD には入っていません。沖データホームページ（http://www.oki-data.co.jp/）よりダウンロードしてください。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについても沖データホームページをご覧ください。
- ユーティリティでは直接接続を使用します。プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定に変更すると接続できなくなります。
  操作パネル：管理者メニューープリンタ設定の [直接接続] を [いいえ] にする。
  WebTools：設定ープリンターー般ーの [直接接続解放] のチェックを外す。
- ユーザ認証機能を使用するとユーティリティは使用できなくなります。
  ユーザ認証機能を OFF にするにはプリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定にする必要があります。
  操作パネル：管理者メニューーサーバ設定の [印刷許可] を [全ユーザ] にする。
  WebTools：設定ーユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。
- プリンタとネットワークで接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定に変更すると接続できなくなります。
  操作パネル:管理者メニューーネットワーク設定ーサービス設定ーポート 9100 設定の [ポート 9100 使用] を [いいえ] にする。
  WebTools：設定ーネットワークーサービスーポート 9100 の [ポート 9100 サービスを使用する] のチェックを外す。
- プリンタと USB で接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定にする必要があります。
  操作パネル：管理者メニューー USB 設定ー USB 接続の設定を直接キューに変更する。
  WebTools：設定ーネットワークーポートー USB の [デフォルトキュー] を直接接続に変更する。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

Fiery 編の「6 章　バリアブルデータ印刷」を参照してください。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成します。

❶ ［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力する」（184 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

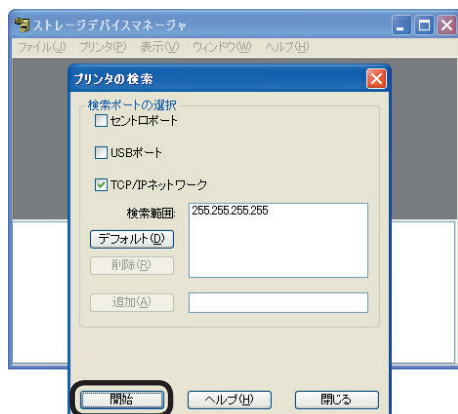
❸ 印刷します。
実際は、フォームの印刷は行わず、ファイルに保存します。
拡張子「prn」で適当なファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ ［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

注 ストレージデバイスマネージャを使用する場合は、下記設定に変更しないでください。

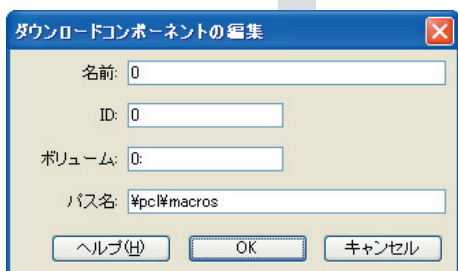
プリンタの操作パネル
管理者メニュープリンタ設定の [直接接続] を [いいえ] にする。
管理者メニューネットワーク設定サービス設定ポート 9100 設定の [ポート 9100 使用] を [いいえ] にする。
サーバ設定の [印刷許可] を [許可済みユーザ] にする。

WebTools
設定プリンタ一般の [直接接続解放] のチェックを外す。
設定ネットワークサービスポート 9100 の [ポート 9100 サービスを使用する] のチェックを外す。
設定ユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。

❶ OKI ストレージデバイスマネージャを起動します。

❷ ［プリンタの検索］画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

メモ WindowsXP Service Pack 2 をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「WindowsXP Service Pack 2 に関する制限事項」（206 ページ）をご覧ください。

❸ ［閉じる］をクリックします。

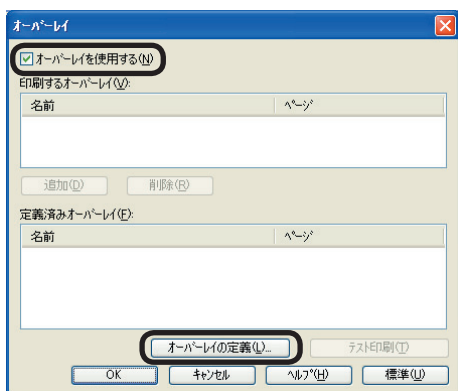
❹ ［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺ ［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、[ID] に任意の数字を入力し、[OK] をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、[ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

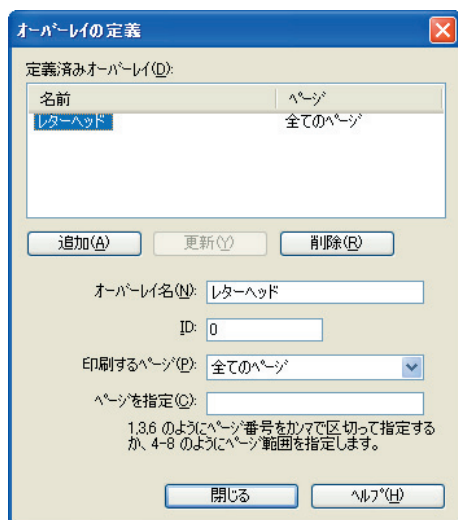
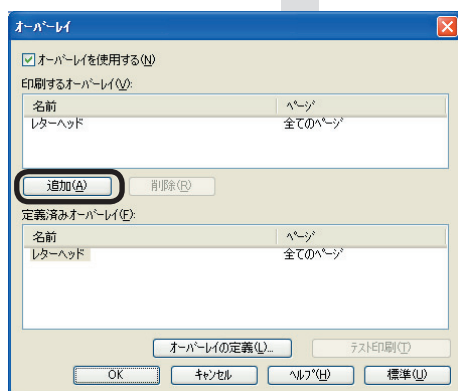
❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

❺ 「オーバーレイ」画面の[オーバーレイを使用する]にチェックを付け、[オーバーレイの定義］をクリックします。

❻ ［オーバーレイ名］を入力し、［ID］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームの ID を入力します。
オーバーレイはフォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つの ID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ ［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽ ［追加］をクリックします。

❾ ［閉じる］をクリックします。

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⓫ 印刷します。

MacOS をお使いの方

Fiery 編の「6 章　バリアブルデータ印刷」を参照してください。

Mac OS X をお使いの方

Fiery 編の「6 章　バリアブルデータ印刷」を参照してください。

「トレイ」を自動で選択する

指定した用紙サイズに一致する「トレイ」(トレイ 1〜5(トレイ 2〜5 はオプション)、マルチパーパストレイ)を自動的に選択して印刷できます。

- プリンタの「操作パネル」で、「マルチパーパストレイ」の用紙サイズを設定しておく必要があります。
- 「操作パネル」で[メディアタイプ]を[フツウシ]以外に設定している場合は、[自動選択]ではなく、直接「トレイ」を指定してください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
❸ [詳細設定]をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
❹ [Fiery 印刷]タブの[用紙トレイ]アイコンをクリックします。
❺ [用紙トレイ]で[自動選択]を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
❸ [詳細設定]をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
❹ [設定]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Mac OS X をお使いの方

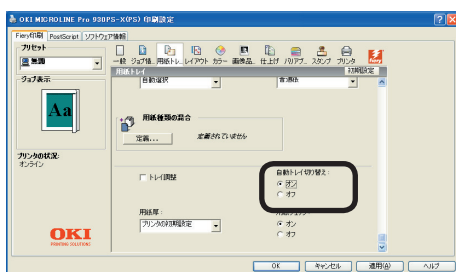
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

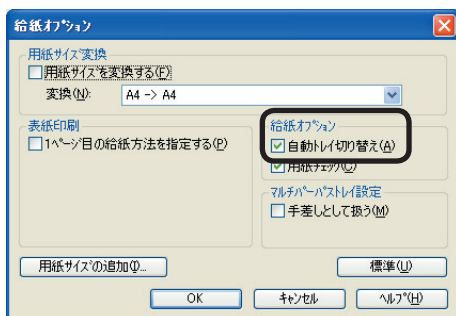
❸ ［給紙］パネルで［全体］を選択し、［自動選択］を選択します。

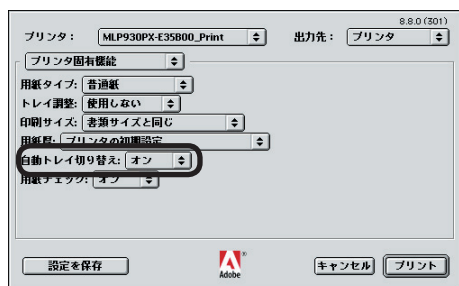
同じ用紙サイズを大量に印刷する（自動トレイ切替）

「トレイ 1～5（トレイ 2～5 はオプション）」、「マルチパーパストレイ」に同じ用紙をセットしておくと、印刷中のトレイが空になっても、継続して他のトレイから給紙印刷します。

- 印刷する前に、必ずプリンタの「操作パネル」で、各「トレイ」のメディアウエイト、メディアタイプと「マルチパーパストレイ」の用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを同一に設定してください。
- A4、B5、レター用紙を使う場合は、各トレイに同じ向きでセットしてください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックします。
5. ［自動トレイ切り替え］で［オン］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［設定］タブの［オプション］をクリックします。
5. ［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタ固有機能］パネルの［自動トレイ切り替え］で［オン］を選択します。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルで［用紙トレイ 2］機能セットを選択し、［自動トレイ切り替え］で［オン］を選択します。

手差しで 1 枚ずつ印刷する

コンピュータから手差しを指定して印刷し、マルチパーパストレイに用紙をセットしてからオンラインボタンを押し、1 枚ずつ印刷します。

1 ファイルを開いて、手差しを指定し印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

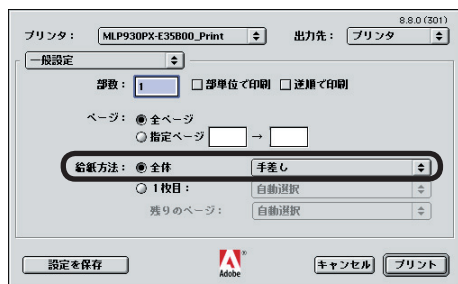
❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
❹ ［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］アイコンをクリックします。
❺ ［用紙トレイ］で［手差し］を選択します。
❻ 印刷します。

手順 2（102 ページ）へ進みます。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。
❺ ［オプション］をクリックします。
❻ ［マルチパーパストレイの設定］で［手差しとして扱う］をチェックし、［OK］をクリックします。
❼ 印刷します。

手順 2（102 ページ）へ進みます。

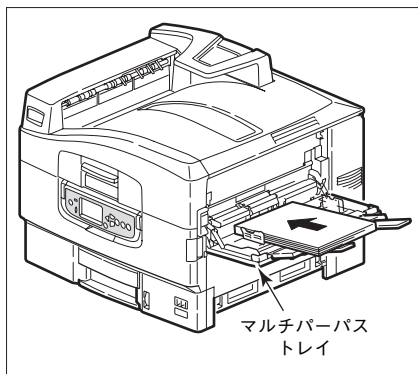
MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［給紙方法］で［手差し］を選択します。
❹ ［プリント］をクリックします。

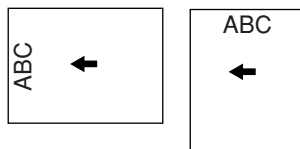
手順２へ進みます。

Mac OS X をお使いの方

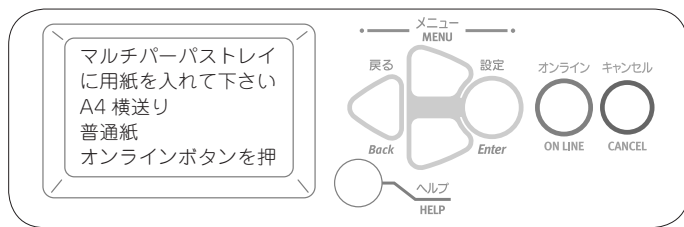
❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［給紙］パネルの［手差し］を選択します。
❹ ［プリント］をクリックします。

手順２へ進みます。

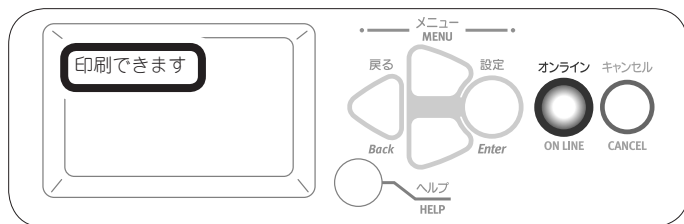
2 マルチパーパストレイを開き、用紙をセットします。

用紙のセット方向

印刷面を上にします

（A4、B5、レター横送りの場合）

フェイスアップスタッカに排出する場合は、フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルを確認します。

❶ 操作パネルに左のように表示していることを確認します。

❷ 表示している用紙サイズと、マルチパーパストレイにセットした用紙サイズが一致していることを確認します。

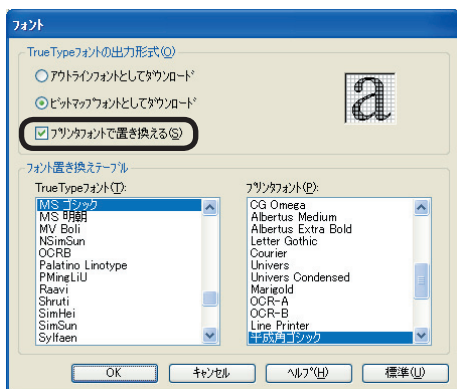
4 印刷します。

❶ ◯オンラインボタンを押すと、印刷を開始します。

印刷を中止したいときは、◯キャンセルボタンを押します。

プリンタのフォントで印刷する

TrueType フォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

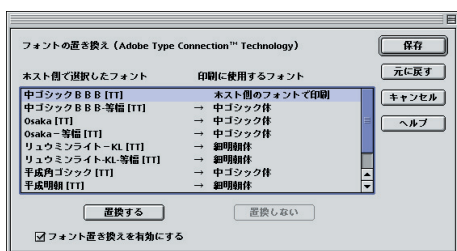
❻ ［フォント置き換えテーブル］で TrueType フォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

MacOS をお使いの方

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログで［フォントの置き換え］ボタンをクリックします。

❸ ［ホスト側で選択したフォント］ごとに、［置換する］または［置換しない］をクリックします。

❹ ［フォント置き換えを有効にする］にチェックを付けます。

❺ ［保存］をクリックします。

Mac OS X をお使いの方

利用できません。

置き換えフォント一覧表

ML Pro 930 PS-X/-S

コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator 等の表示		
中ゴシック BBB	ChuGothicBBB Medium	TT	中ゴシック体
中ゴシック BBB- 等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	中ゴシック体
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	−
等幅ゴシック	−	PS	−
Osaka	Osaka Regular	TT	中ゴシック体
Osaka- 等幅	Osaka Regular-Mono	TT	中ゴシック体
リュウミンライト -KL	Ryumin Light KL	TT	細明朝体
リュウミンライト -KL- 等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	細明朝体
細明朝体	Ryumin Light	PS	−
等幅明朝	−	PS	−
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	中ゴシック体
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	細明朝体
本明朝 -M	HonMincho-Medium	TT	細明朝体
B 太ゴ B101	FutoGoB101-Bold	PS	−
B 太ミン A101	FutoMinA101-Bold	PS	−
見出ゴ MB31	MidashiGo-MB31	PS	−
見出ミン MA31	MidashiMin-MA31	PS	−
丸ゴシック -M	MaruGothic-Medium	TT	L じゅん 101

TT：TrueType フォント
PS：PostScript フォント

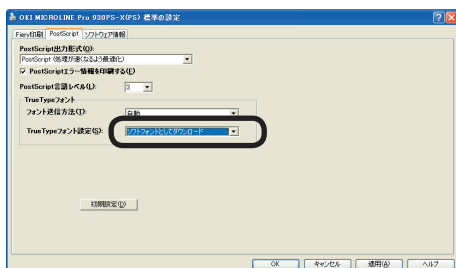
ML Pro 930 PS-E

コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator 等の表示		
中ゴシック BBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体 W5
中ゴシック BBB- 等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体 W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体 W5
等幅ゴシック	−	PS	平成角ゴシック体 W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体 W5
Osaka- 等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体 W5
リュウミンライト -KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体 W3
リュウミンライト -KL- 等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体 W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体 W3
等幅明朝	−	PS	平成明朝体 W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体 W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体 W3
本明朝 -M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体 W3
B 太ゴ B101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体 W5
B 太ミン A101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体 W3
見出ゴ MB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体 W5
見出ミン MA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体 W3
丸ゴシック -M	MaruGothic-Medium	TT	−

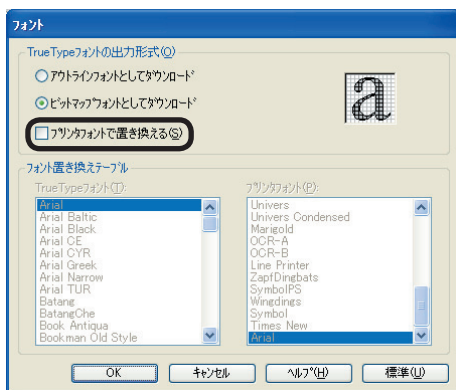
TT：TrueType フォント
PS：PostScript フォント

コンピュータのフォントで印刷する

TrueType フォントを画面表示のままに出力します。

印刷時間が長くなることがあります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
❹ ［PostScript］タブの［TrueType フォント設定］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

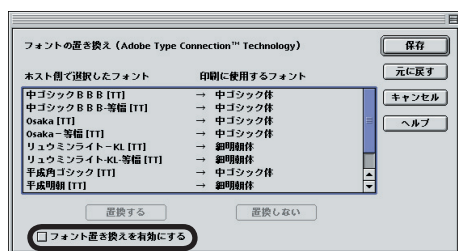
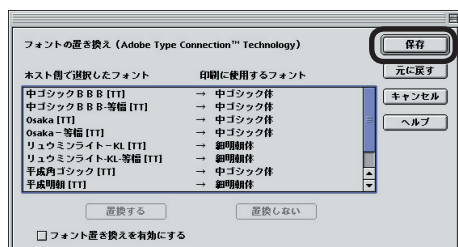
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。
❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

MacOS をお使いの方

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログで［フォントの置き換え］ボタンをクリックします。

❸ ［フォント置き換えを有効にする］のチェックを外します。

❹ ［保存］をクリックします。

Mac OS X をお使いの方

利用できません。

アプリケーション別の対応

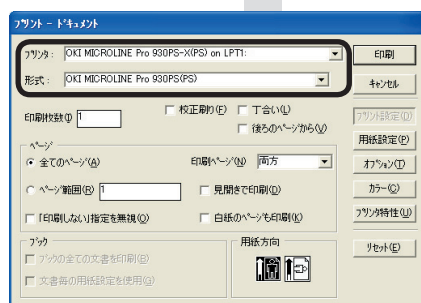
PS プリンタドライバを使って印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Windows をお使いの方

Adobe PageMaker 7.0/6.5/6.0J

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0J で印刷するには、PPD ファイルのインストールが必要です。

1. 「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。
2. セットアッププログラムが起動しますので、[MICRO-LINEPro 930PS] 画面の右上の×ボタンをクリックして画面を閉じます。
3. [スタート] - [ファイルを指定して実行 ...] をクリックします。
4. [名前] に以下のように入力し、[OK] をクリックします。
ここでは、CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥MISC¥PPD¥SETUP.EXE

5. 「インストール先の選択」画面が表示されたら、[参照] をクリックして、インストールするフォルダを選択し、[OK] をクリックします。
PageMaker7.0J の場合
　pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.5J の場合
　pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.0J の場合
　pm6¥rsrc¥ppd4
6. [次へ] をクリックします。
PPD ファイルがインストールされます。
7. [完了] をクリックします。
8. [終了] をクリックします。
9. PageMaker の [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

⑩ ［プリンタ］と［形式］で［OKI MICROLINE Pro 930PS-X(PS)］、［OKI MICROLINE Pro 930PS-S(PS)］もしくは［OKI MICROLINE Pro 930PS-E(PS)］を選択します。［プリンタ］はプリンタドライバを、［形式］はPPDファイルを意味しています。

⑪ ［印刷］をクリックします。

QuarkXPress4.1/4.0J

- カラーマッチングを行うには、［補助］メニューの［Xtention マネジャー］で［Quark CMS］がON になっている必要があります。
- ［ファイル］メニューの［印刷］-［出力］パネルで［ハーフトーン］を必ず［プリンタ］にしてください。［計算値］にすると印刷が粗くなります。
- Macintosh と USB で接続している場合は［ファイル］メニューの［印刷］-［プリンタフォント］タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは［プリンタフォント］タブの［ポストスクリプト印刷］の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop CS/7.0/6.0/5.5/5.0J

- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPS ファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPS ファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。
- Adobe Photoshop で分版出力したジョブは、色分解の組み合わせを「オン」に設定して印刷しても、分版合成で出力することはできません。

Adobe Illustrator CS/10.0/9.0/8.0/7.0J

- ［ファイル］メニューの［書類設定］で［プリンタの初期設定値を使う］を必ずON にしてください。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- プリンタに搭載されていないフォントを含む書類を印刷する場合には、印刷ダイアログの［フォントのダウンロード］をチェックしてください。（CS では［グラフィック］パネルの［（フォント）ダウンロード］で［なし］以外を選択してください。）
- プリンタの操作パネル［管理者メニュー］-［PS 設定］-［中ゴシックBBB に置換］（ML Pro930PS-E モデルでは［平成角ゴシックに置換］）の設定は必ず［はい］を設定してください。

Adobe Acrobat Professional 7.0/6.0/5.0J、Adobe Reader 7.0/6.0J、Acrobat Reader 5.0J

- Adobe Acrobat Professional で分版出力したジョブは、色分解の組み合わせを「オン」に設定して印刷しても、分版合成で出力することができません。
- 製本印刷を指定する場合には印刷ダイアログの「詳細設定：PostScript オプション：フォントとリソースのポリシー」を「ページごとに送信」に設定して印刷してください。

QuarkXPress 4.1/4.0J

- カラーマッチングを行うには、[補助] メニューの [Xtention マネジャー] で [Quark CMS] が ON になっている必要があります。
- [ファイル] メニューの [印刷] - [出力] パネルで [ハーフトーン] を必ず [プリンタ] にしてください。[計算値] にすると印刷が粗くなります。
- Macintosh と USB で接続している場合は [ファイル] メニューの [印刷] - [プリンタフォント] タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは [プリンタフォント] タブの [ポストスクリプト印刷] の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop CS/7.0/6.0/5.5/5.0J

- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含む EPS ファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPS ファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。
- Adobe Photoshop で分版出力したジョブは、色分解の組み合わせを「オン」に設定して印刷しても、分版合成で出力することはできません。

Adobe Illustrator CS/10.0/9.0/8.0/7.0J

- [ファイル] メニューの [書類設定] で [プリンタの初期設定値を使う] を必ず ON にしてください。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- プリンタに搭載されていないフォントを含む書類を印刷する場合には、印刷ダイアログの [フォントのダウンロード] をチェックしてください。(CS では [グラフィック] パネルの [(フォント) ダウンロード] で [なし] 以外を選択してください。)
- プリンタの操作パネル [管理者メニュー] - [PS 設定] - [中ゴシック BBB に置換] (ML Pro 930PS-E では [平成角ゴシックに置換]) の設定は必ず [はい] を設定してください。

Adobe Acrobat Professional 7.0/6.0/5.0J、Adobe Reader 7.0/6.0J、Acrobat Reader 5.0J

- Adobe Acrobat Professional で分版出力したジョブは、色分解の組み合わせを「オン」に設定して印刷しても、分版合成で出力することができません。
- 製本印刷を指定する場合には印刷ダイアログの「詳細設定：PostScript オプション：フォントとリソースのポリシー」を「ページごとに送信」に設定して印刷してください。

黒の部分の仕上りを変更する

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。

テキスト / グラフィックスに純ブラック使用（グラフィックスに純ブラックを使用）

テキストやグラフィックスに RGB 色空間で定義されたブラック（R=0、G=0、B=0）または CMYK 色空間で定義されたブラック（C=0、M=0、Y=0、K=100%）が指定されている場合に、黒（K）トナーのみで印刷するかどうかを指定します。

- 純ブラック（PCL プリンタドライバではオン）
  黒指定のテキストやグラフィックスを黒（K）トナーのみで印刷します。
- リッチブラック（PS プリンタドライバのみ）
  黒指定のテキストやグラフィックスをより深みのある黒で印刷します。
  100% の黒（K）に 50% のシアンを自動的に重ねて印刷します。
- 普通（PCL プリンタドライバではオフ）
  黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングで指定しているプロファイルに依存して黒（K）トナーのみまたは CMYK で合成された黒になります。

PCL プリンタドライバではテキストは常に黒（K）トナーのみで印刷されます。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

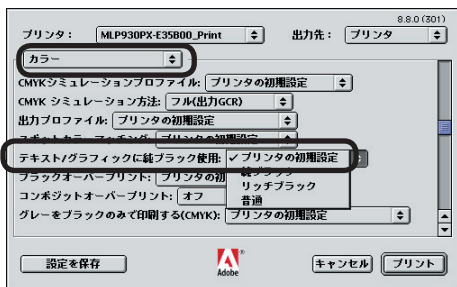
1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
   （Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［Fiery 印刷］タブで［ColorWise］アイコンを選択し、［エキスパート設定］をクリックします。
5. ［テキストと画像に純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

本設定についての詳細は Fiery 編「5 章　カラー印刷」の［グレーをブラックのみで印刷する］を参照してください。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
   （Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［カラー］タブで［マニュアル設定］を選び、［詳細］をクリックします。
5. ［グラフィックスに純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

［カラー］タブで［推奨］を選択した場合、本設定は［オン］として扱われます。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

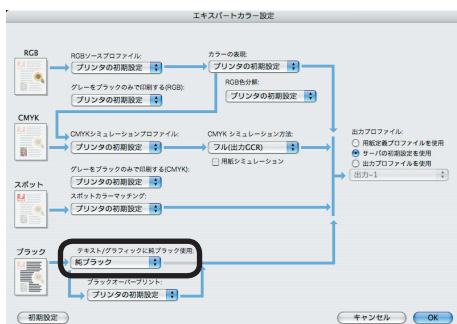
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルを選択し、右スクロールバーで下方の項目を表示させます。

❹ ［テキスト / グラフィックスに純ブラック使用］で適当な項目を選択します。

注 本設定についての詳細は Fiery 編「5 章　カラー印刷」の［グレーをブラックのみで印刷する］を参照してください。

Mac OS X をお使いの方

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで常に「PostScript カラーマッチング」で動作します。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースや CMYK カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ColorWise］パネルを選択します。

❹ ［印刷モード］で［設定］ボタンをクリックし、［テキスト / グラフィックスに純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

注 本設定についての詳細は Fiery 編「5 章　カラー印刷」の［グレーをブラックのみで印刷する］を参照してください。

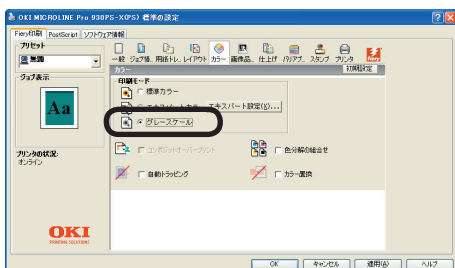
メモ

テキスト / グラフィックスに純ブラック使用

テキストやグラフィックスに RGB 色空間で定義されたブラック（R=0、G=0、B=0）または CMYK 色空間で定義されたブラック（C=0、M=0、Y=0、K=100%）が指定されている場合に、黒（K）トナーのみで印刷するかどうかを指定します。

- 純ブラック
  黒指定のテキストやグラフィックスを黒（K）トナーのみで印刷します。
- リッチブラック
  黒指定のテキストやグラフィックスをより深みのある黒で印刷します。
  100% の黒（K）に 50% のシアンを自動的に重ねて印刷します。
- 普通
  黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングで指定しているプロファイルに依存して黒（K）トナーのみまたは CMYK で合成された黒になります。

カラーデータを白黒で印刷する

カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［Fiery 印刷］タブで［カラー］アイコンをクリックし、［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

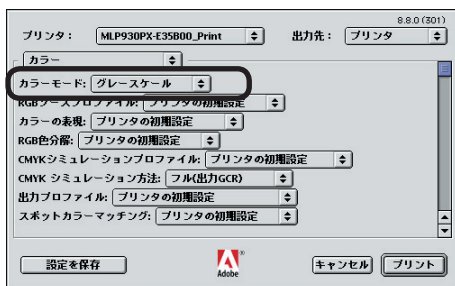
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルの［カラーモード］で［グレースケール］を選択します。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ColorWise］パネルを選択します。

❹ ［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

3 添付のユーティリティについて

ユーティリティの種類

CD1 ソフトウェア CD および CD2 ユーティリティ CD（Windows）もしくは CD3 ユーティリティ CD（Macintosh）には、以下のユーティリティが入っています。プリンタをより快適にお使いいただくためにご活用ください。

ユーティリティの種類と機能（Windows）

CD1 ソフトウェア CD（Windows）

名称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
AdminManager（NIC セットアップユーティリティ）	プリンタのネットワーク設定をしたいときに使用します。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ	127 ページ
OKILPR ユーティリティ	プリントサーバを設置することなく Windows プラットホームから TCP/IP ダイレクト印刷が可能です。その他プリンタ検索機能、ジョブ転送機能、同報印刷機能などを装備しています。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/XP/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ	137 ページ
Network Extension	ネットワーク接続されたプリンタドライバの機能を拡張し、プリンタに搭載されたオプション、各トレイ内の用紙サイズ、トナー残量などのプリンタ情報を表示・設定に反映できます。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ	148 ページ
色見本印刷ユーティリティ　*1	プリンタで RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。 印刷された見本を基にアプリケーション上で希望する色の RGB 成分値を指定することができます。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ	191 ページ
PDF Print Direct PDF *1	ファイルをアプリケーションを起動せずにプリンタに直接送信して印刷します。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/XP/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ	187 ページ

*1　ユーザ認証機能を使用するとこれらのユーティリティは使用できなくなります。
ユーザ認証機能を OFF にするには WebTool で以下の設定にする必要があります。
設定－ユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。

3

添付のユーティリティについて

ユーティリティ CD（Windows）

名称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
Command Workstation 5	プリントジョブの完全集中管理を可能にする、機能性が高く、使いやすいジョブ管理ツールです。書類のマージ､編集、ページの追加 / 削除、プリント設定の変更 / 書き換え、キュー内でのジョブプリント順の変更、ジョブのアーカイブなどの機能を使用できます。 また、キャリブレート、プロファイルの編集と管理、スポットカラー、カラー管理などの機能を使用できます。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/Server 2008/XP/Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ *2, *3, *4	Fiery 編の 3 章「ユーティリティ」参照 Fiery 編の 5 章「カラー印刷」参照
HotFolder *1	生成されたフォルダに PS/PDF ファイルをドラッグ＆ドロップすることでプリンタに直接送信して印刷します。フォルダごとに印刷設定や面付け機能の設定が可能です。プリントオプションの設定を自動化して印刷するのに便利です。		Fiery 編の 3 章「ユーティリティ」参照

*1　ML Pro 930PS-X モデルのみで動作します。

*2　Windows でこれらのユーティリティを使用するには、Pentium III（1.0 GHz 以上推奨）以上、RAM 256MB 以上（512MB 以上推奨）、ハードディスクの空き容量 200MB 以上（500MB 以上）、1024 x 768 以上のモニタ解像度、MS Internet Explorer 6 以上が必要です。

*3　Windows XP はサービスパック 2 以上、Windows 2003 Server はサービスパック 1 以上である必要があります。

*4　Windows 2000 でこれらのユーティリティを使用する場合には、弊社ホームページより対応版ユーティリティを入手してください。

その他のユーティリティ（Windows）

名称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
OKI ストレージデバイスマネージャ ※ *1 ,*2, *3, *4	プリンタのハードディスク設定、フォームデータの登録や削除、スプールジョブなどの管理をします。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000（IE4.0 以降搭載）	92 ページ
PrintSuper-Vision MultiPlatform Edition ※ *1, *2, *5	自分のデスクからパソコンの画面でプリンタの各種設定、管理を行えます。用紙切れや用紙詰まり等の発生をメールで通知するため迅速なトラブル対応が可能です。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/Server 2008/XP Professional/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ（IIS5.0、IE4.0 以降搭載）	150 ページ
Web Driver Installer ※	新しくネットワークに接続されたプリンタを自動的に検索し、プリンタ情報を登録ユーザにメールで通知します。ユーザはメールに添付された URL をブラウザで表示してドライバをインストールすることができます。	サーバコンピュータ *6 クライアントコンピュータ *7	151 ページ
プリントジョブアカウンティング Lite ※ *1 ,*2, *3, *4	印刷ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うことができます。	Windows 7/Server 2008R2/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ	プリントジョブアカウンティング Lite ユーザーズマニュアル

※　CD1ソフトウェア CDには格納されていません。沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp/）よりダウンロードしてください。

*1　これらのユーティリティでは直接接続を使用します。プリンタの操作パネルもしくはWebToolで以下の設定に変更すると接続できなくなります。
操作パネル：管理者メニューープリンタ設定の[直接接続]を[いいえ]にする。
WebTools：設定ープリンターー般ーの[直接接続解放]のチェックを外す。

*2　ユーザ認証機能を使用するとこれらのユーティリティは使用できなくなります。ユーザ認証機能をOFFにするにはプリンタの操作パネルもしくはWebToolで以下の設定にする必要があります。
操作パネル：管理者メニューーサーバ設定の [印刷許可] を [全ユーザ] にする。
WebTools：設定ーユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。

*3　プリンタとネットワークで接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくはWebToolで以下の設定に変更すると接続できなくなります。
操作パネル：管理者メニューーネットワーク設定ーサービス設定ーポート9100設定の[ポート9100使用]を[いいえ]にする。
WebTools：設定ーネットワークーサービスーポート9100の[ポート9100サービスを使用する]のチェックを外す。

*4　プリンタとUSB で接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくはWebToolで以下の設定にする必要があります。
操作パネル：管理者メニューーUSB 設定ーUSB 接続の設定を直接キューに変更する。
WebTools：設定ーネットワークーポートーUSBの[デフォルトキュー]を直接接続に変更する。

*5　プリンタとネットワークで接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくはWebToolで以下の設定に変更すると接続できなくなります。
操作パネル：管理者メニューーネットワーク設定ーサービス設定ーの[SNMP使用]を[いいえ]にする。
WebTools：設定ーネットワークーサービスーSNMPの[SNMPを使用する]のチェックを外す。

*6　Windows Server 2003/XP Professional/2000 が搭載されていて、Microsoft インターネットインフォメーションサーバと、MDAC 2.6 以上が搭載されている機種

*7　Windows OS（IE5.5以降、NN6以降）を搭載している機種

ユーティリティの種類と機能（Macintosh）

CD1 ソフトウェア CD（Macintosh）

名称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
MicrolinePS Utility *1, *2, *3, *4	プリンタの設定や、ポストスクリプトファイルや PDF ファイルのダウンロードをしたいときに使います。	MacOS 9.2 ～ 9.2.2 日本語版の動作する Macintosh	153 ページ
Setup Utility *5	プリンタのネットワーク設定をしたいときに使います。	MacOS 9.2 ～ 9.2.2 Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.8 日本語版の動作する Macintosh	155 ページ

*1　これらのユーティリティでは直接接続を使用します。プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定に変更すると接続できなくなります。

操作パネル：管理者メニューープリンタ設定の [直接接続] を [いいえ] にする。

WebTools：設定ープリンターー般ーの [直接接続解放] のチェックを外す。

*2　プリンタとネットワークで接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定に変更すると接続できなくなります。

操作パネル：管理者メニューーネットワーク設定ープロトコル設定の [AppleTalk を使用] を [いいえ] にする。

WebTools：設定ーネットワークープロトコルー AppleTalk の [AppleTalk を使用する] のチェックを外す。

*3　プリンタと USB で接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定にする必要があります。

操作パネル：管理者メニューー USB 設定ー USB 接続の設定を直接キューに変更する。

WebTools：設定ーネットワークーポートー USB の [デフォルトキュー] を直接接続に変更する。

*4　ユーザ認証機能を使用するとこれらのユーティリティは使用できなくなります。ユーザ認証機能を OFF にするにはプリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定にする必要があります。

操作パネル：管理者メニューーサーバ設定の [印刷許可] を [全ユーザ] にする。

WebTools：設定ーユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。

*5　Mac OS X 10.6 をお使いの場合、Rosetta をインストールする必要があります。

ユーティリティ CD（Macintosh）

名称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
Command Workstation 5	プリントジョブの完全集中管理を可能にする、機能性が高く、使いやすいジョブ管理ツールです。書類のマージ、編集、ページの追加 / 削除、プリント設定の変更 / 書き換え、キュー内でのジョブプリント順の変更、ジョブのアーカイブなどの機能を使用できます。 また、キャリブレート、プロファイルの編集と管理、スポットカラー、カラー管理などの機能を使用できます。	Mac OS X 10.4 ～ 10.6.8 日本語版の動作する Macintosh *2, *3	Fiery 編の3 章「ユーティリティ」参照 Fiery 編の5 章「カラー印刷」参照
HotFolder *1	生成されたフォルダに PS/PDF ファイルをドラッグ＆ドロップすることでプリンタに直接送信して印刷します。フォルダごとに印刷設定や面付け機能の設定が可能です。プリントオプションの設定を自動化して印刷するのに便利です。	Mac OS X 10.4 ～ 10.6.8 日本語版の動作する Macintosh *2, *3	Fiery 編の3 章「ユーティリティ」参照
Fiery Downloader	PS/PDF ファイルをアプリケーションを起動せずにプリンタに直接送信して印刷します。また、ハードディスクに搭載されたプリンタフォントのバックアップなどのフォント管理に使用します。	MacOS 9.2 ～ 9.2.2 日本語版の動作する Macintosh *2	

*1　ML Pro 930PS-X モデルのみで動作します。

*2　Macintosh でこれらのユーティリティを使用するには、G3 800MHz 以上、RAM 500MB 以上、ハードディスクの空き容量 80MB 以上（500MB 以上）、1024 × 768 以上のモニタ解像度が必要です。

*3　Mac OS X 10.3.9でこれらのユーティリティを使用する場合には、弊社ホームページより対応版ユーティリティを入手してください。

インストール

❶ コンピュータに「CD1 ソフトウェア CD」、もしくは「CD2 ユーティリティ CD（Windows）」をセットします。

セットアップブログラムが起動します。

- Windows Vista/Server 2008 以降で、［自動再生］が表示されたら、［Startup.exe の実行］をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 以降で、［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❷「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❸［ソフトウェアセットップ］をクリックします。

❹ インストールするユーティリティをクリックします。

❺ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動方法

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［起動するユーティリティのフォルダ］-［起動するユーティリティ］もしくは［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows2000 では［プログラム］）-［Fiery］-［起動するユーティリティ］を選択します。

削除方法

❶ ユーティリティを終了します。

❷ Windows 7/Vista/Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムのアンインストール］を選択します。
Windows XP/Server 2003 では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［アプリケーションの追加と削除］を選択します。

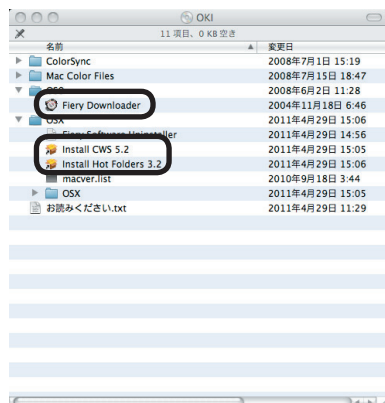
❸ 削除したいユーティリティを選択し、画面に従って削除します。

ユーティリティをインストール／起動／削除する（Macintosh）

サポートされていない OS バージョンにはそのユーティリティはインストールされません。動作環境については 119 ページをご覧ください。

- プリンタドライバのインストール方法は、「セットアップ編− Macintosh、UNIX、Linux をお使いの方−」をご覧ください。
- ユーティリティは下記の手順でインストールしてください。

❶ コンピュータに「CD1 ソフトウェア CD」もしくは「CD3 ユーティリティ CD」をセットします。

❷ ［OS9］もしくは［OSX］フォルダ下の各ユーティリティ名称のインストーラをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。

❸「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❹ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

❺ 画面の指示に従ってセットアップします。

MacOS をお使いの方

- MicrolinePS Utility
  ［起動ドライブ］-［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダにインストールされます。
- Fiery Downloader
  ［起動ドライブ］-［Fiery］フォルダにインストールされます。

Mac OS X をお使いの方

- Command Workstation 5
  ［アプリケーション］-［Fiery］フォルダにインストールされます。
- EFI Hot Folders
  ［アプリケーション］-［Fiery］フォルダにインストールされます。

起動方法

上記各ユーティリティのフォルダ内のユーティリティアイコンをダブルクリックしてください。

- MicrolinePS Utility を正常に起動するためには、事前にプリンタが選択されている必要があります。プリンタの選択方法は以下のとおりです。
  - ネットワーク接続の場合：セレクタで［AdobePS］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。
  - USB 接続の場合：デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。またプリンタ操作パネルで USB ポートの設定を直接キューに設定する必要があります。

- Command WorkStation 5 の使用方法については Fiery 編の「3 章　ユーティリティ：Command WorkStation Macintosh Edition」または「5 章　カラー印刷：ColorWise（カラー管理システム）」を参照ください。

4 ネットワーク機能について

ネットワークユーティリティ機能一覧

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項目 ＼ ユーティリティ名	Admin Manager	OKI LPR ユーティリティ	Network Extension	Print Super Vision	Web Driver Installer	Web ブラウザ	Setup Utility
プリンタの IP アドレスを変更する	○			○		○	○
プリンタの操作パネルのメッセージを表示する		○		○		○	
オプション品の自動設定			○		○		
消耗品情報			○	○		○	
メール送信機能（SMTP）				○	○	○	
プリンタのセキュリティ機能を設定する	○					○	
SNMP の使用		○	○	○	○	○	

4

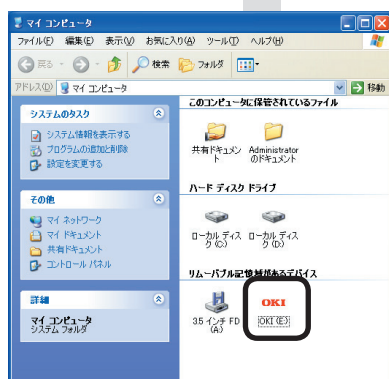
ネットワーク機能について

Admin Manager を使って…

AdminManager を起動するには

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❸［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［OKI］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

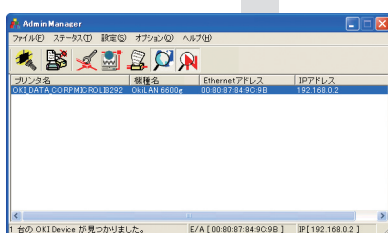
セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻ ソフトウェアセットアップをクリックします。

❼［NIC セットアップユーティリティの起動］をクリックします。

❽［日本語］をクリックします。

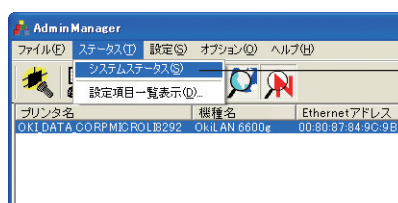
❾［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❿［インストールせずに､直接 CD-ROM から起動する］を選択し､［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

機能について

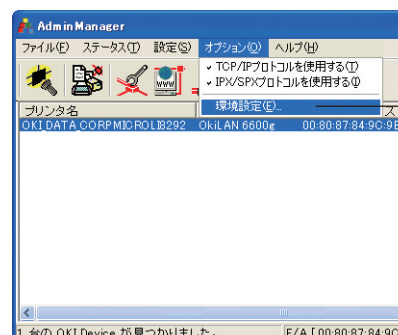
［ファイル］メニュー

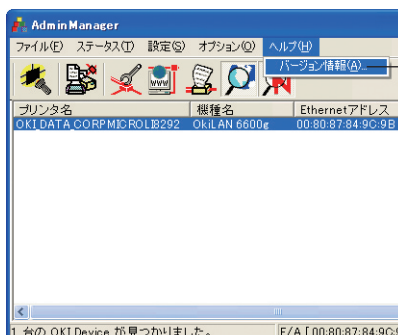
AdminManager を終了します。

［ステータス］メニュー

プリンタのネットワークの状態を表示します。

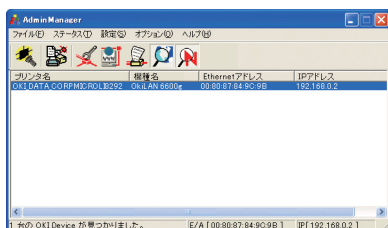
［設定］メニュー

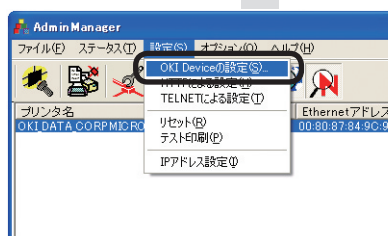
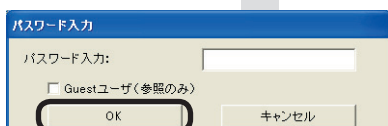
プリンタのネットワーク設定を行います。
「IP アドレス設定」は使用しません。

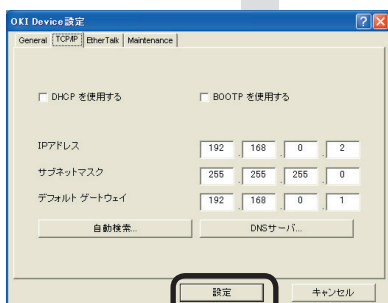
［オプション］メニュー

AdminManager の環境を設定します。

［ヘルプ］メニュー

バージョン情報を表示します。

プリンタの設定をする

プリンタのネットワークの設定を行います。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（169 ページ）をご覧ください。
Admin Manager は、ネットワーク設定のうちの、一部の機能のみ設定が可能です。
すべての機能を設定したい場合には、プリンタの操作パネル、又は、Web ブラウザを使用した設定をご使用ください。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、OkiLAN 6600g と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上に DHCP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷ ［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

❸ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの英数字下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の英数字下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

- それぞれのタブ内で設定できる項目は次ページをご覧ください。

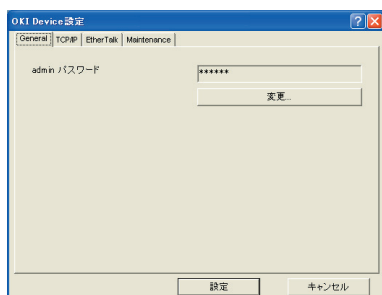
❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

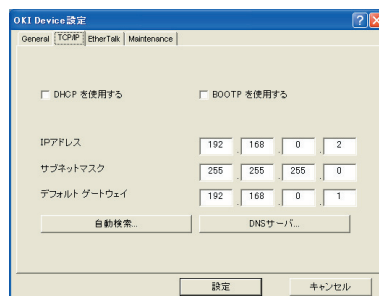
❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

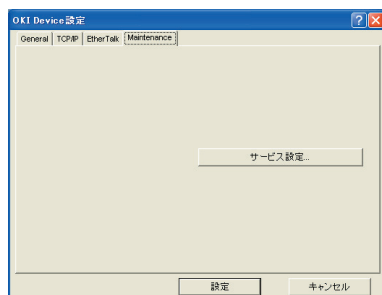
この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

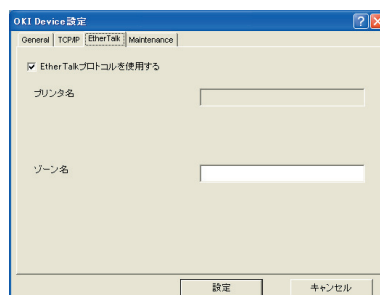
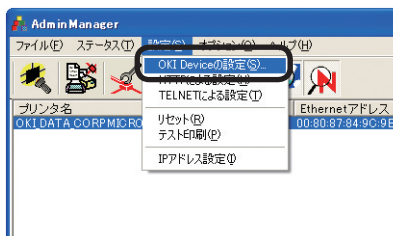
❼ AdminManager を終了します。

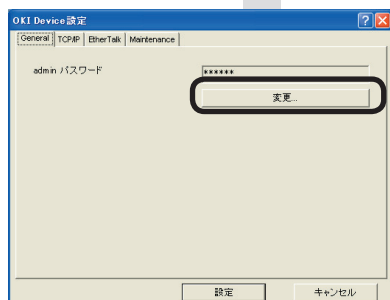
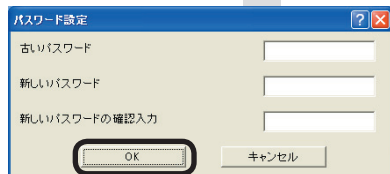
General タブ

パスワードを変更します。

TCP/IP タブ

IP アドレスなどの設定をします。

Maintenance タブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

EtherTalk タブ

ゾーン名を変更する場合に設定します。

ネットワーク管理者用パスワードを変更する

❶ AdminManager を起動します。

❷ ［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択し、パスワードを入力して、［General］タブを選択します。

❸「admin パスワード」の「変更」を選択します。

❹「古いパスワード」に今までに使用していたパスワードを、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」に任意のパスワードを入力し、［OK］を選択します。

❺「設定」を選択します。

❻ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

Quick Setup を使って…

プリンタのネットワークの簡易設定をします。

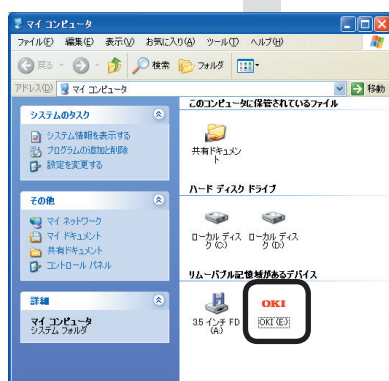
プリンタの簡易設定をする

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

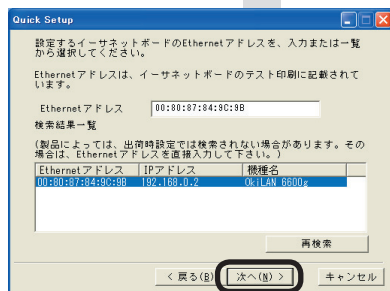
❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［OKI］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

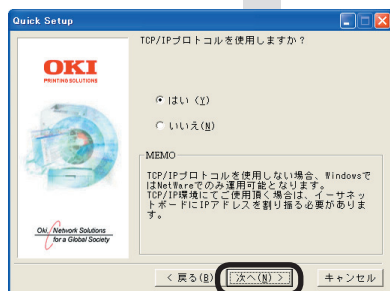
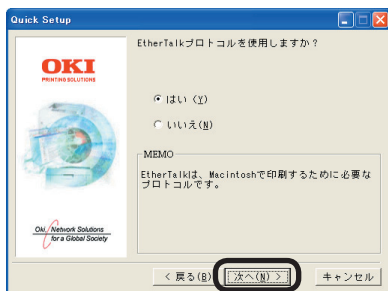
❻ ［ソフトウェア セットアップ］をクリックします。

❼ ［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❽ ［日本語］をクリックします。

❾ ［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

❿ ［次へ］をクリックします。

⓫ 設定を行うプリンタのイーサネットアドレスを選択して、［次へ］をクリックします。
機種名には、ML Pro 930PS の代わりに OkiLAN 6600g と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

⓬ TCP/IP の設定を行い、［次へ］をクリックします。

⑬ EtherTalk の設定を行い、［次へ］をクリックします。

⑭ 設定内容を確認し、［実行］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⑮ 設定値を有効にするために、［完了］をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

⑯ Quick Setup を終了します。

OKI LPR ユーティリティを使って…

ネットワークに接続したプリンタに印刷する時に必要なユーティリティで、ネットワーク接続でプリンタドライバをインストールすると、自動的にインストールされます。
プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブ（データ）の削除や転送などができます。

動作環境

- Windows 7/Server 2008/Vista/XP/Server 2003/2000 日本語版が動作しているコンピュータ
- TCP/IP で動作しているコンピュータ

・ TCP/IP のネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的に OKI LPR ユーティリティがインストールされます。
・ セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

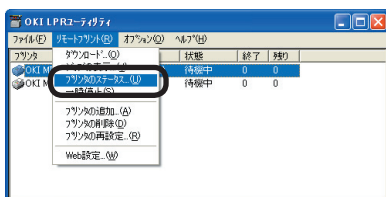
OKI LPR ユーティリティを起動する

❶ Windows 7/Server 2008/Vista/XP では、［スタート］ - ［すべてのプログラム］ - ［沖データ］ - ［OKI LPR ユーティリティ］ - ［OKI LPR ユーティリティ］ を選択します。
Windows Server 2003/2000 では［スタート］-［プログラム］-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］ - ［OKI LPR ユーティリティ］ を選択します。

下のような画面が表示されます。

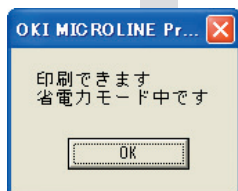
注 この図は例です。実際にこの図のとおりに表示されるわけではありません。

プリンタの状態を確認する

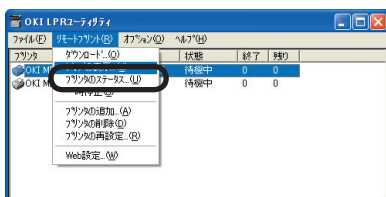
プリンタの操作パネルに表示されているメッセージを表示します。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

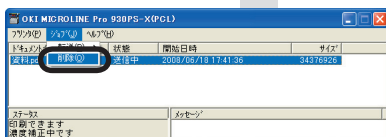
プリンタのステータスが表示されます。

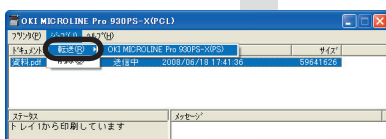
メモ　ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

ジョブを表示する、削除する、転送する

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

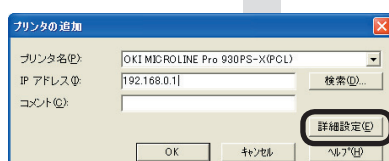
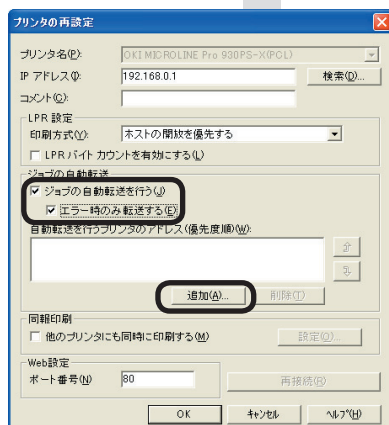
転送できるプリンタは、あらかじめ OKI LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

自動的にジョブを転送する

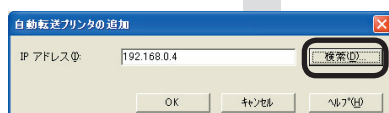
プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

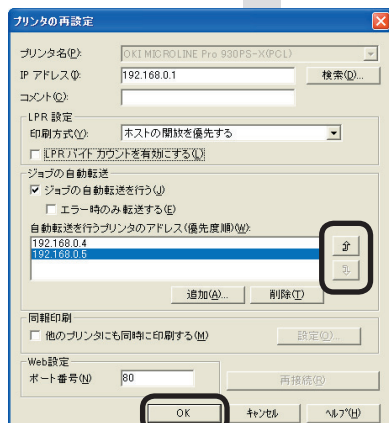
❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックをつけます。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

❺［追加］をクリックし、転送先の IP アドレスを設定します。

［検索］をクリックして、ネットワーク上の MICROLINE プリンタを検索することもできます。

❻ 転送先の候補の数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ

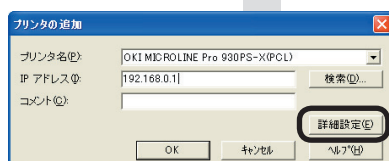
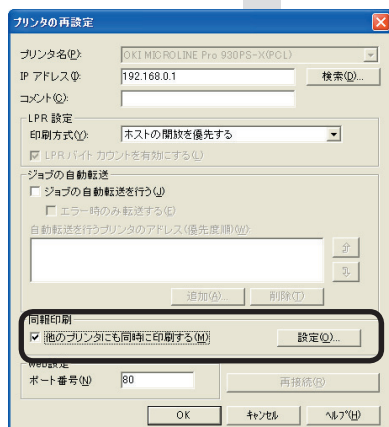
転送先の優先順を変更するには、［自動転送を行うプリンタのアドレス］から優先順を変更するプリンタを選択し、横の［↑］ボタン、または［↓］ボタンをクリックします。
（［↑］ボタンをクリックすると優先度が上がり、［↓］ボタンをクリックすると優先度が下がります）

❼［OK］をクリックします。

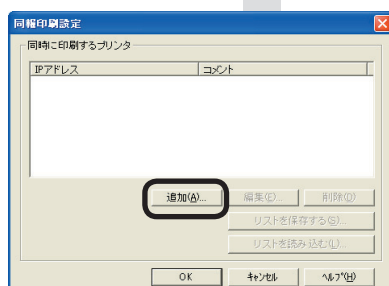
複数のプリンタで同時に印刷する

一度の印刷指示で複数のプリンタに印刷することができます。

同時に印刷するプリンタは、必ず同じプリンタ機種を指定してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❺［追加］をクリックし、同時に印刷するプリンタの IP アドレスを設定します。

メモ　同時に印刷するプリンタに対しても、コメント（144 ページ）を追加することができます。

❻ 追加したいプリンタ分、❺の操作を繰り返します。

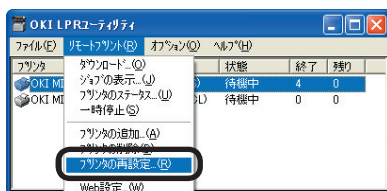
メモ
- ［リストを保存］をクリックすることにより、追加したプリンタの情報を保存することができます。
- 保存したプリンタの情報は、［リストを読み込む］をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

❼［OK］をクリックします。

印刷方式を変更する

印刷方式を以下の３通りから選択することができます。

- 印刷速度を優先する（直接接続）
  ジョブをプリンタのハードディスクにスプールしません。トータルの印刷時間が早くなります。
- ホストの開放を優先する（印刷キュー）
  ジョブを一旦プリンタのハードディスクにスプールしてから印刷します。ホストの開放が早くなります。
- プリンタに保存する（待機キュー）
  プリンタのハードディスク上にジョブを格納します。定型フォーマットの文書や繰り返し印刷される文書などを印刷する時に便利です。

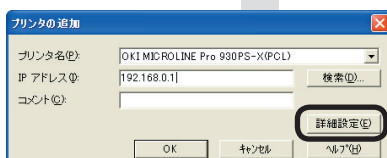
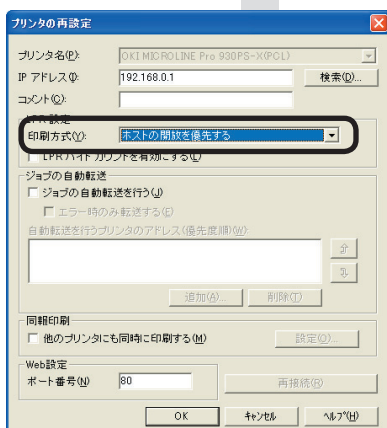
- 「印刷速度を優先する」を選択した場合、認証印刷機能などのハードディスクを使った機能は動作しません。
- IP アドレスを手入力した場合は、本機能が有効にならない場合があります。その場合、一度 OK ボタンをクリックして、再度プリンタの再設定を行ってください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］ボタンをクリックします。

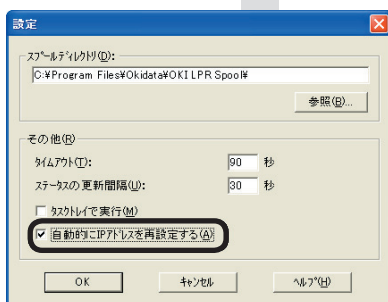
❹［印刷方式］を選択します。

4

ネットワーク機能について

自動的に IP アドレスをセットする

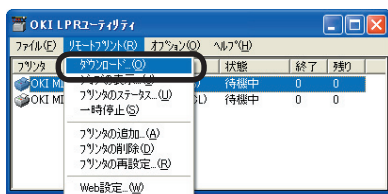
DHCP サーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタの IP アドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

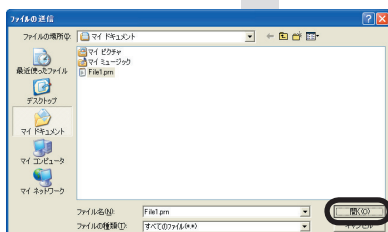
検索対象は、OKI LPR ユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付けます。

❸［OK］をクリックします。

ファイルをプリンタへダウンロードする

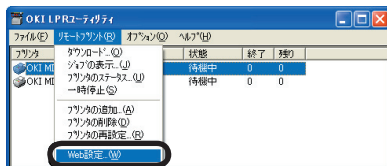
ファイルに保存した印刷データ（184 ページ）をプリンタにダウンロードし、印刷します。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

Web ブラウザを起動する

OKI LPR ユーティリティより、プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うための Web ブラウザを起動します。

各設定の設定方法については「Web ブラウザを使って…」（161 ページ）を参照してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［Web 設定］を選択します。

コメントを追加する

OKI LPR ユーティリティに登録したプリンタに、コメントを追加することができます。

メモ　プリンタの設置場所、プリンタのオプション装置などを入力すると便利です。

❶ プリンタを選択します。

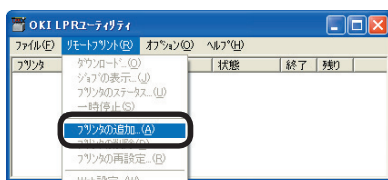
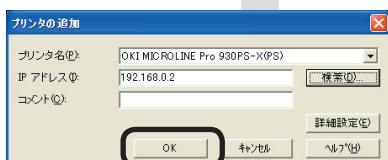
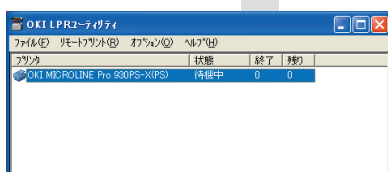
❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［コメント］にコメントを入力し、［OK］をクリックします。

❹［オプション］メニューの［コメント欄を表示］を選択します。

プリンタを追加する

印刷先のポートを OKI LPR ポートに変更することができます。

すでに OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶ [リモートプリント] メニューの [プリンタの追加] を選択します。

❷ [プリンタ] を選択し、[IP アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

OKI LPR ユーティリティをインストールする

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❸ CD-ROM のアイコンを開きます。

Windows 7/Server 2008/Vista では、[スタート] - [コンピュータ] - [リムーバブル記憶域のあるデバイス] の [OKI] アイコンをダブルクリックして開きます。

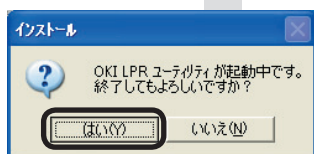
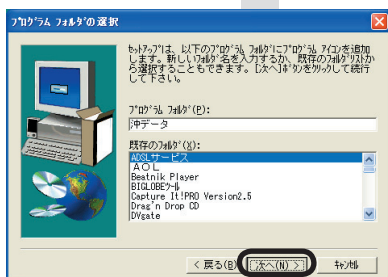
Windows XP では、[スタート] - [マイコンピュータ] - [リムーバブル記憶域があるデバイス] の [OKI] アイコンをダブルクリックして開きます。

Windows 2000/Server 2003 では、[マイコンピュータ] を開き、[OKI] アイコンをダブルクリックして開きます。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❺［ソフトウェアセットアップ］をクリックします。

❻［OKI LPR ユーティリティのインストール］をクリックします。

❼すでに OKI LPR ユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので［はい］をクリックします。

❽セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❾インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

❿［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

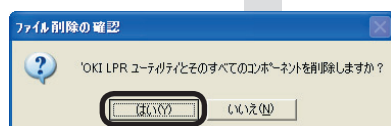
⓬［完了］をクリックします。

⓭［終了］をクリックします。

OKI LPR ユーティリティを削除する

❶［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

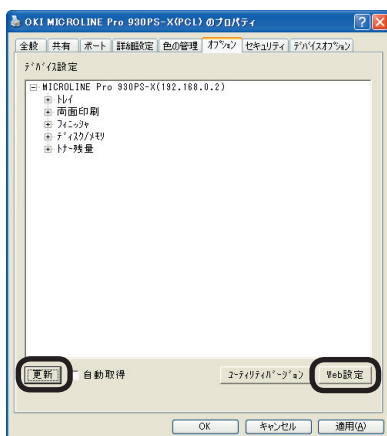
❷［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティの削除］を選択します。

❸［はい］をクリックします。

Network Extension を使って…

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。
インストール方法は、121 ページをご覧ください。

PS プリンタドライバではご利用できません。

プリンタの設定を確認する

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

（WindowsXP の画面）

❶ Windows 7/Server 2008R2 では［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

Windows Vista/Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

Windows XP/Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。

Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE ***(PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［オプション］タブをクリックします。

- Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

❹［更新］ボタンをクリックします。
「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

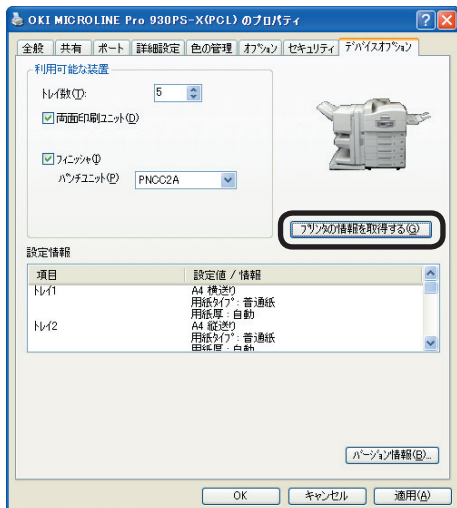
❺［OK］をクリックします。

［Web 設定］ボタンをクリックすると、自動的に Web ブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Web ブラウザを使って…」（161 ページ）をご覧ください。

4 ネットワーク機能について

オプションの自動設定をする

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

 Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

❶ Windows 7/Server 2008R2 では［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

Windows Vista/Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

Windows XP/Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。

Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹ ［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

❺ ［OK］をクリックします。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition（Windows）

ネットワークにつながっているプリンタを管理するための Web ベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1 台のコンピュータに PrintSuperVision をインストールし、他のコンピュータから Web ブラウザを使用して、リモートで PrintSuperVision MultiPlatform Edition にアクセスします。

- PrintSuperVision MultiPlatform Edition は「CD1 ソフトウェア CD」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- インストール方法 , 操作方法については、「PSV ME ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
- 「PSV ME ユーザーズマニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

動作環境

PrintSuperVision をインストールするコンピュータ

- Red Hat Enterprise Linux 2.1
- Red Hat Enterprise Linux 3
- Novell SUSE LINUX Professional 9.1
- Novell SUSE LINUX Professional 9.2
- Novell SUSE LINUX Desktop 9
- Novell SUSE LINUX Enterprise Server 9
- Turbolinux 10 Desktop
- Turbolinux 10 Server
- Sun Microsystems Solaris 9 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 10 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 9 (UltraSPARC)
- Sun Microsystems Solaris 10 (UltraSPARC)
- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Server 2003
- Windows Vista
- Windows Server 2008
- Windows 7
- Sun Java System Application Server Platform Edition8 がインストールされているコンピュータまたは、インストール可能なコンピュータ
- TCP/IP で動作するコンピュータ

PrintSuperVision にリモートでアクセスするコンピュータ

- 以下のブラウザのうちのいずれかがインストールされているコンピュータ
  Microsoft Internet Explorer Ver 5.5 以上
  Microsoft Internet Explorer for PocketPC2002 以上
  Firefox Ver 1.0 以上
  Mozilla Ver 1.2 以上
  Safari Ver 1.1 以上
- TCP/IP で動作しているコンピュータ

- PSV ME アプリケーションは、上記のブラウザがサポートするどの Windows、Macintosh、Unix、Linux デスクトップからでもアクセスする事ができます。
- お使いのブラウザのキャッシュ機能を無効にすると安全です。
- PSV ME は通信の為にポート 25（SMTP）、110（POP3）、995（POP3S）、161（SNMP）、162（SNMP-Trap）、8080（HTTP）、1043（HTTPS）、及び 50702（PrintSuperVisor［デーモン］）を使用します。 お使いの環境のファイアウォールはこれらのポートに対するアクセスを許可する設定がなされている必要があります。
- PSV ME のインストールプログラムは、256 色 800x600 の解像度以上の能力を持つビデオアダプタが必要です。
- アプリケーションについての補足情報に関しては、オンラインヘルプを参照してください。
- PSV ME は PrintSuperVision 1.2.x と互換性はありません。
- ユーティリティでは直接接続を使用します。プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定に変更すると接続できなくなります。
  操作パネル：管理者メニューープリンタ設定の [直接接続] を [いいえ] にする。
  WebTools：設定ープリンターー般ーの [直接接続解放] のチェックを外す。
- ユーザ認証機能を使用するとユーティリティは使用できなくなります。ユーザ認証機能を OFF にするにはプリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定にする必要があります。
  操作パネル：管理者メニューーサーバ設定の [印刷許可] を [全ユーザ] にする。
  WebTools：設定ーユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。
- プリンタとネットワークで接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定に変更すると接続できなくなります。
  操作パネル：管理者メニューーネットワーク設定ーサービス設定ーの [SNMP 使用] を [いいえ] にする。
  WebTools：設定ーネットワークーサービスー SNMP の [SNMP を使用する] のチェックを外す。
- プリンタの設定変更を有効にするには、以下の設定を事前に変更する必要があります。
  WebTools：設定ーネットワークーサービスー SNMP の [コミュニティ名書き込み] を「public」に変更する。

4

ネットワーク機能について

Web Driver Installer（Windows）

・Web Driver Installer は「CD1 ソフトウェア CD」には格納されておりません。沖データホームページからダウンロードしてください。
・Web Driver Installer のインストール方法 , 操作方法については、Web Driver Installer のマニュアルを参照してください。
・Web Driver Installer のマニュアルは、沖データホームページから入手できます。

Web Driver Installer とは

Web Driver Installer は、Web ベースのアプリケーションです。以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- TCP/IP ネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索したプリンタを Web ページに表示します。
- ユーザに検索したプリンタのプリンタドライバインストールプログラムがダウンロードできる URL を e-mail で通知します。

また、部門やフロアごとにグループを作成してプリンタとユーザを管理できます。

特徴

グループ管理

Windows エクスプローラのように、プリンタやユーザを階層的に管理することができます。

自動検索機能

Web Driver Installer は、ネットワーク上に新しく接続されたプリンタがあるかを一定時間間隔で検索します。この間隔は､管理者が 5 分から 2 週間の間で設定します。この機能は､無効にすることもできます。無効にした場合、管理者は手動で検索する必要があります。
Web Driver Installer に登録されているプリンタドライバがサポートしているプリンタを検出した場合に、ユーザに e-mail を送信します。

プリンタドライバ登録機能

Web Driver Installer にはあらかじめ、登録できるプリンタとプリンタドライバの種類が記憶されています。管理者は、Web Driver Installer の運用を開始する前に TCP/IP ネットワーク上に接続されているプリンタのためのプリンタドライバを登録できます。また、運用中に自動検索機能により、新しく検索されたプリンタのプリンタドライバが登録されていないことを通知する e-mail を受け、e-mail に記載されているプリンタドライバを登録できます。
この作業は、Web Driver Installer をインストールしたサーバコンピュータ上で行う必要があります。

e-mail送信機能

Web Driver Installer は、登録されているユーザに自動的に e-mail を送信します。

プリンタドライバインストール機能

ユーザは Web ブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
また、e-mail による［プリンタの追加］通知に記載されている URL へアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ（以下、サーバコンピュータと略す）

Windows 7/Vista/Server 2008/Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 4 以上がインストールされているコンピュータ

サーバコンピュータから Web Driver Installer に Web ブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5 以上または、Netscape Navigator 6.0 以上が必要です。
Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

・ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installer のインストール前に Microsoft のホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
・Web Driver Installer をインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
・インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、TCP ポート番号と、サイトを変更すると Web Driver Installer は動作しません。
・Windows XP、Windows Server 2003 をお使いの場合は Web Driver Installer ユーザーズマニュアルの「Windows XP Service Pack2、Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項」をご覧ください。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ（以下、クライアントコンピュータと略す）

Windows 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Internet Explorer 5.5 以上または Netscape Navigator 6.0 以上がインストールされているコンピュータ
e-mail が受信できるように設定されているコンピュータ
OKI LPR ユーティリティのバージョン 3.08 以上がインストールされているコンピュータ
また、Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

Web Driver Installer の「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。

MicrolinePS Utility を使って…

MicrolinePS Utility を起動するには

❶ ネットワーク接続の場合､セレクタで［AdobePS］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。

USB 接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

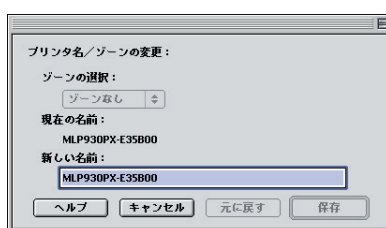
❷［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダ内の［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

- ユーティリティでは直接接続を使用します。プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定に変更すると接続できなくなります。
  操作パネル：管理者メニューープリンタ設定の [直接接続] を [いいえ] にする。
  WebTools：設定ープリンターー般ーの [直接接続解放] のチェックを外す。
- プリンタとネットワークで接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定に変更すると接続できなくなります。
  操作パネル：管理者メニューーネットワーク設定ープロトコル設定の [AppleTalk を使用] を [いいえ] にする。
  WebTools：設定ーネットワークープロトコルー AppleTalk の [AppleTalk を使用する] のチェックを外す。
- プリンタと USB で接続している場合は、プリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定にする必要があります。
  操作パネル：管理者メニューー USB 設定ー USB 接続の設定を直接キューに変更する。
  WebTools：設定ーネットワークーポートー USB の [デフォルトキュー] を直接接続に変更する。
- ユーザ認証機能を使用するとこれらのユーティリティは使用できなくなります。
  ユーザ認証機能を OFF にするにはプリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定にする必要があります。
  操作パネル：管理者メニューーサーバ設定の [印刷許可] を [全ユーザ] にする。
  WebTools：設定ーユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。

プリンタを設定する

EtherTalk プリンタ名を変更したい

EtherTalk の場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

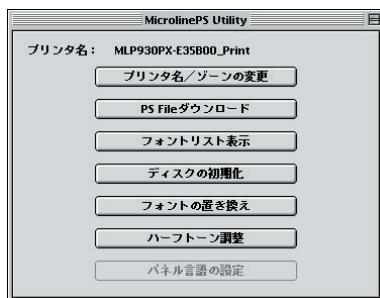
❷ メインダイアログで［プリンタ名 / ゾーンの変更］ボタンをクリックします。

❸ 新しい名前を入力し、［保存］をクリックします。

プリンタ名の文字長は最大 31 文字にすることができます。
ただしプリンタ名に（= : * @ ˜）などの記号は使用できません。
2 バイトコードの上下どちらかのバイトに（= : * @ ˜）と一致するコードが含まれるような文字、例えば（円、淳、ァ、法）などはプリンタ名として使用することはできません。

EtherTalk ゾーン名を変更したい

複数の論理ゾーンで区切られている EtherTalk で、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

注 選択できるゾーンは同一セグメントです。

注
- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］ - ［MicrolinePS Utility］ - ［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログで［プリンタ名 / ゾーンの変更］ボタンをクリックします。

❸ 変更したいゾーンを選び、［保存］をクリックします。

Setup Utility を使って…

すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

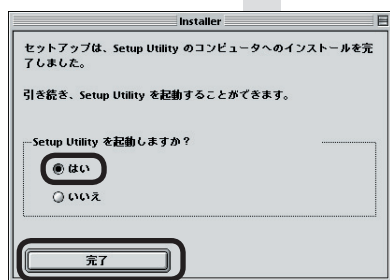
Setup Utility を起動するには

Mac OS 9.2 ～ 9.2.2 日本語版

動作環境

Mac OS X 9.2 ～ 9.2.2 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。[コントロールパネル] - [TCP/IP] で設定を行ってください。

1. プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
2. Macintosh が起動していることを確認し、プリンタ添付の「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。
3. [Utility] - [Network] - [Mac OS] フォルダの中の [Installer] をダブルクリックします。
4. [Japanese] を選択し、[OK] をクリックします。
5. インストール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。初期設定では、Macintosh HD の [Oki Tools] フォルダにインストールされます。

6. [Setup Utility を起動しますか？] で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

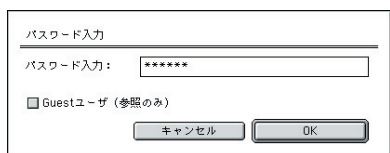
Setup Utility が起動します。

プリンタの設定をする

1. 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

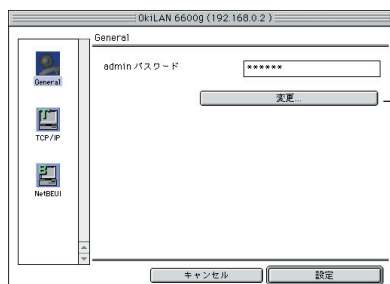
機種名には、ML Pro 930PS の代わりに OkiLAN 6600g と表示されます。

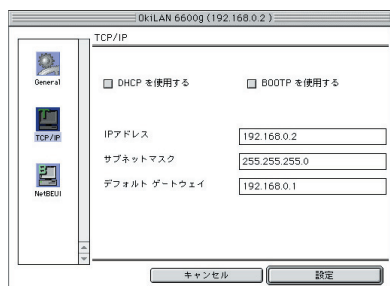
機能の説明

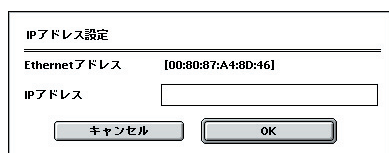
Oki Device の設定

［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの英数字下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- イーサネットのアドレスは、ネットワークの設定情報に表示されています。

通信エラーが発生してしまい、設定できない場合には､「オプション」→「環境設定」のタイムアウトを長めに設定して下さい。

General

管理者のパスワードを変更します。

TCP/IP

EtherTalk

IP アドレス設定

Mac OS X 日本語版

動作環境

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.8 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。［コントロールパネル］-［TCP/IP］で設定を行ってください。
OS X 10.6 でお使いの場合、Rosetta をインストールする必要があります。

Setup Utility を起動するには

すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ Macintosh が起動していることを確認し、プリンタ添付の「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❸ ［Utility］-［Network］-［Mac OS X］フォルダの中の［Installer］をダブルクリックします。

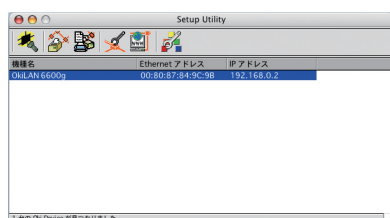
❹ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

初期設定では、ログインユーザのホームディレクトリの[Oki Tools]フォルダにインストールされます。

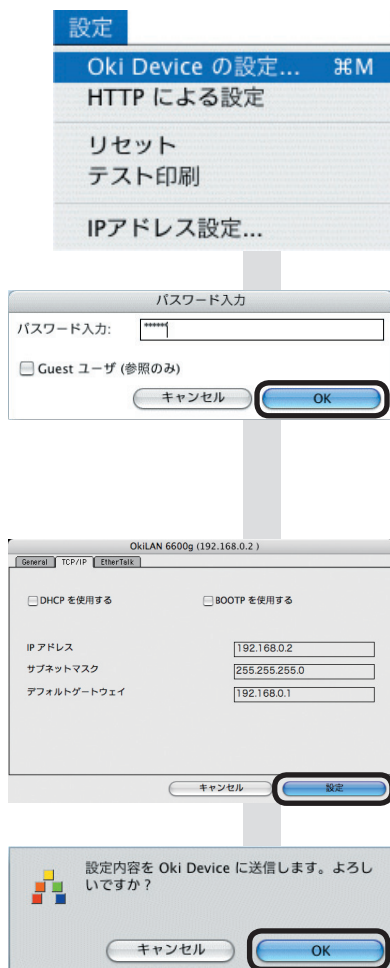
❺ ［Setup Utility を起動しますか？］で［はい］を選択し、［完了］をクリックします。

Setup Utility が起動します。

Oki Device の設定

各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（169 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、OkiLAN 6600g と表示されます。

Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（プリンタ機能編）

❷［設定］メニューの［Oki Device の設定］を選択します。

❸［パスワード入力］に［Ethernet アドレスの下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を設定し、［設定］をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 リブート後、プリンタは新しい設定値で動作します。

❼ Setup Utility を終了します。

General

TCP/IP

EtherTalk

Web ブラウザを使って…

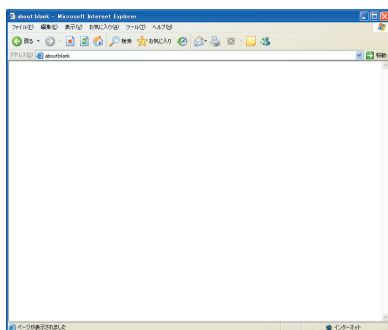
Internet Explorer や Netscape Navigator を使って、プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

・Mac OS X の Safari、および Internet Explorer では Web Page からリンクされている WebTools はご使用いただけません。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.6.0 以上もしくは Netscape Navigator Ver.4.0 以上がインストールされているコンピュータ
ネットワーク（TCP/IP）で動作しているコンピュータ

Web ブラウザを起動するには

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

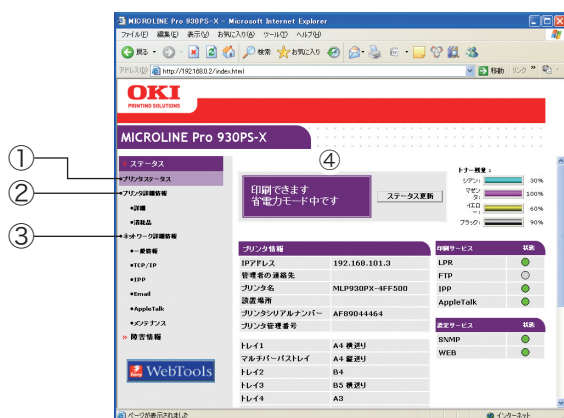
IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ 詳細情報を表示するには、ユーザ名及びパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

ユーザ名　：root
パスワード：Ethernet Address の下 6 桁
（例）Ethernet Address が 00-11-22-AA-BB-CC の場合、パスワードは AABBCC

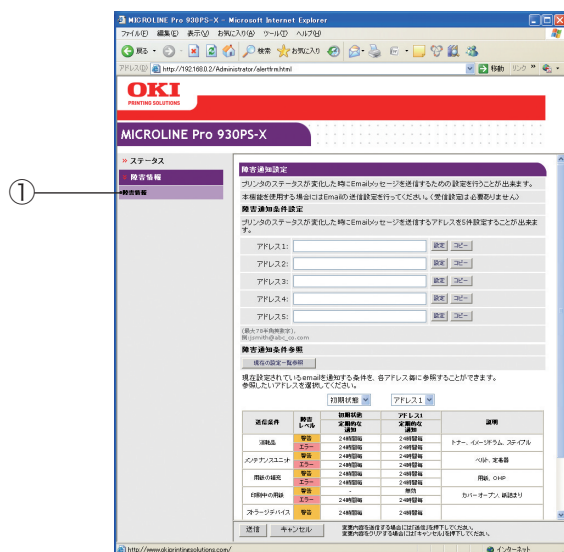
機能の説明

ステータス　メニュー

①［プリンタステータス］　プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。
また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されている IP アドレスも確認することができます。

②［プリンタ詳細情報］　プリンタのシステム仕様（詳細情報、消耗品情報など）を確認することができます。

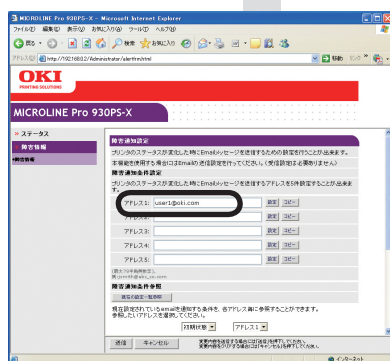
③［ネットワーク詳細情報］　ネットワークの設定情報（一般情報・TCP/IP・IPP・Email・Apple Talk・メンテナンスなど）を確認することができます。

④ ステータスウィンドウ　プリンタの状態を確認できます。

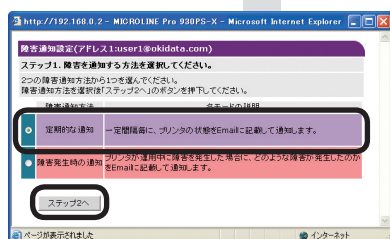
障害情報メニュー

①［障害情報］　プリンタに発生した事象を E-mail で通知する機能を設定できます。

発生した障害を定期的に通知する

❶ ［障害情報］メニューをクリックします。

※メールサーバについては、WebTools で設定してください。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

- ［コピー］ボタンをクリックすると､障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹ ［定期的な通知］にチェックを付け、［ステップ２へ］をクリックします。

❺ ［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

- 期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻ ［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼ ［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合

a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

b. 表示された設定内容を確認します。

・ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾ ［送信］をクリックします 。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

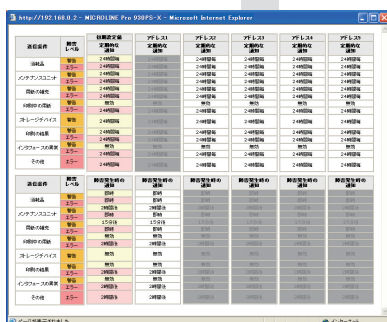
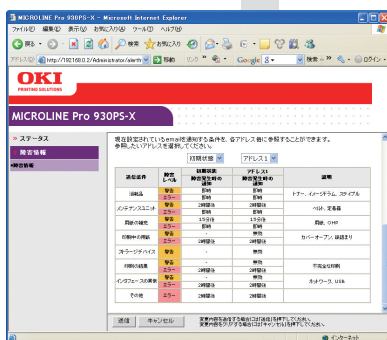
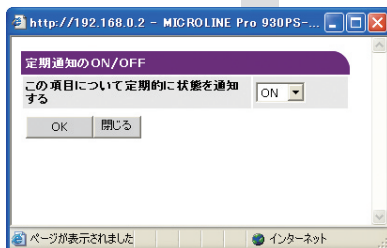
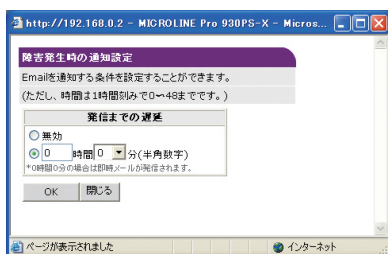
障害が発生したことを通知する

❶ ［障害情報］メニューをクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

- ［コピー］ボタンをクリックすると､障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹ ［障害発生時の通知］にチェックを付け､［ステップ 2 へ］をクリックします。

❺ ［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

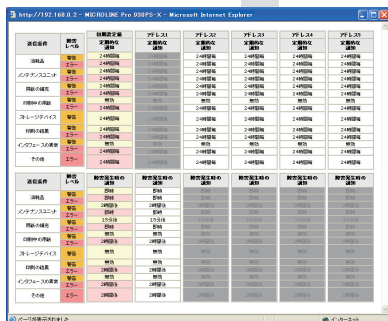
- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

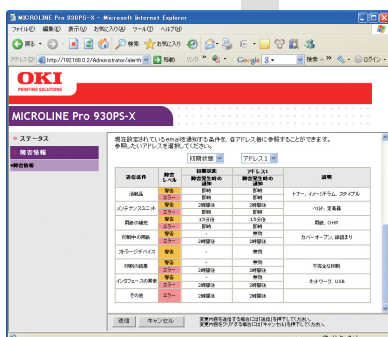
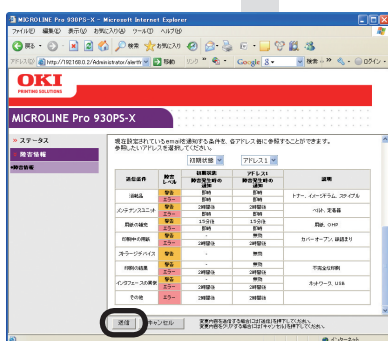
① 一覧表示したい場合

a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2 つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

b. 表示された設定内容を確認します。

- 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします 。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

SNMP を使用する

ML Pro 930PS は、SNMP エージェントを実装しています。市販されている SNMP マネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMP マネージャで参照･変更可能な設定項目は MIB と呼ばれ、ML Pro 930PS は MIB-II および沖データプライベート MIB に対応しています。沖データプライベート MIB については、プリンタ添付の「CD1 ソフトウェア CD」の［Misc］-［MIB］フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

SNMP コミュニティ名によるネットワーク設定の参照・変更の制限

SNMP を用いて設定の参照をする場合には「SNMP Read コミュニティ名」が、設定を変更する場合には「SNMP Write コミュニティ名」が必要です。
任意のコミュニティ名を設定することで、SNMP による望まれない設定参照や変更を防ぐことができます。
「SNMP Read コミュニティ名」､「SNMP Write コミュニティ名」の初期値はそれぞれ「任意文字列」です。

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、メニューマップ印刷のネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。
設定値を変更するには、Web ブラウザ , WebTools, NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）を使用します。

全般

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
ー	ー	admin パスワード	イーサネットアドレス英数字下 6 桁	ネットワークの管理者用パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
ー	ー	SNMP Write Community	ランダム文字列	SNMP で管理者アカウントレベルのアクセスを行う場合に使用するパスワードを設定します。このパスワードは、SNMP パケットではコミュニティとして使用されます。
ー	ー	SNMP Read Community	public	SNMP で管理者アカウントレベルのアクセスを行う場合に使用するパスワードを設定します。このパスワードは、SNMP パケットではコミュニティとして使用されます。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
ー	IP 自動割当 (DHCP)	DHCP を使用する	Enable Disable	DHCP サーバへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
ー	IP 自動割当 (BOOTP)	BOOTP を使用する	Enable Disable	BOOTP サーバへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
ー	IP アドレス	IP アドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
ー	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
ー	ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
ー	ー	Bonjour を使用する	Enable Disable	自動検出機能の使用／未使用を設定します。

AppleTalk（EtherTalk）

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
ー	AppleTalk を使用する	EtherTalk を使用する	Enable Disable	AppleTalk（EtherTalk）の使用／未使用を設定します。
ー	ゾーン選択	ゾーン名	なし	AppleTalk（EtherTalk）ゾーン名を指定します。32 文字以内の英数字です。

DNS

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
ー	DNS を使用する	ー	Enable Disable	DNS の使用／未使用を設定します。
ー	DNS アドレスを自動取得	ー	Enable Disable	DNS アドレスを自動で取得するサービスの使用／未使用を設定します。
ー	プライマリ DNS サーバ IP アドレス	プライマリサーバ	127.0.0.1	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
ー	セカンダリ DNS サーバ IP アドレス	セカンダリサーバ	127.0.0.1	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
ー	ドメイン名	ー	なし	DNS ドメイン名を設定します。

WINS サーバ

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
ー	サーバ名	ー	（「サーバ名」が表示される）	SMB で表示する名前を設定します。
ー	コメント	ー	なし	SMB で表示するコメントを設定します。
ー	ドメインまたはワークグループ	ー	なし	SMB で表示するワークグループを設定します。
ー	WINS サーバ指定自動	ー	Enable Disable	WINS ネームサーバの IP アドレスを自動取得するか否かを設定します。
ー	WINS サーバを使用する	ー	Enable Disable	WINS サービスの使用 / 未使用を設定します。
ー	IP アドレス	ー	127.0.0.1	WINS ネームサーバの IP アドレスを設定します。

Windows 印刷サービス

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
ー	Windows 印刷（SMB）を使用する	ー	Enable Disable	Windows 印刷サービス（Micosoft SMB プロトコル）の使用 / 未使用を設定します。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
ー	AppleTalk を使用する	EtherTalk プロトコルを使用する	Enable Disable	EhterTalk プロトコルの使用 / 未使用を設定します。
ー	FTP サービスを使用する	ー	Enable Disable	プリンタに対して FTP でのアクセスの使用 / 未使用を設定します。
ー	Web サービスを使用する	Web Service を使用する	Enable Disable	プリンタに対して WEB ブラウザでのアクセスの使用 / 未使用を設定します。
ー	ー	ー	Enable Disable	プリンタに対して SNMP でのアクセスの使用 / 未使用を設定します。通常は ENABLE（使用する）でお使いください。
ー	LPD 印刷サービスを使用する	ー	Enable Disable	LPD 印刷サービスの使用 / 未使用を設定します。
ー	ポート 9100 を使用する	ー	Enable Disable	ポート 9100 サービスの使用 / 未使用を設定します。
ー	ポート 9100 キュー	ー	直接接続 待機キュー 印刷キュー	プリンタ設定で有効にしたキューのみが使用できます。
ー	IPP を使用可能にする	ー	Enable Disable	IPP サービスの使用 / 未使用を設定します。
ー	イーサネット速度	ー	自動検知（10/100/1000） 10Mbps 全二重 10Mbps 半二重 100Mbps 全二重 100Mbps 半二重	イーサネットのスペックを設定します。

障害通知設定

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
アドレス 1～5	ー	ー	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは 5 ヶ所まで指定できます。
障害通知方法	ー	ー	定期的な通知 障害発生時の通知	障害を通知する方法を設定します。
メール通知間隔	ー	ー	1 ≀ 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
消耗品　警告	ー	ー	OFF 0 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品　警告	ー	ー	ON OFF	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品　エラー	ー	ー	OFF 0 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品　エラー	ー	ー	ON OFF	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット　警告	ー	ー	OFF 0 時間 0 分 ≀ 2 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなと) に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット　警告	ー	ー	ON OFF	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット エラー	ー	ー	OFF 0 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット エラー	ー	ー	ON OFF	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
用紙の補充 警告	−	−	OFF 0 時間 0 分 ≀ 0 時間 15 分 ≀ 48 時間 45 分	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 警告	−	−	ON OFF	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 エラー	−	−	OFF 0 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 エラー	−	−	ON OFF	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 警告	−	−	OFF 0 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 警告	−	−	ON OFF	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 エラー	−	−	OFF 0 時間 0 分 ≀ 2 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 エラー	−	−	ON OFF	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
ストレージ デバイス警告	−	−	OFF 0 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	HDD/ フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
ストレージ デバイス警告	−	−	ON OFF	HDD/ フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
印刷の結果 警告	―	―	OFF 0 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 警告	―	―	ON OFF	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 エラー	―	―	OFF 0 時間 0 分 ≀ 2 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 エラー	―	―	ON OFF	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インター フェース の異常	―	―	OFF 0 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	インタフェース (ネットワーク etc.) に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インター フェース の異常	―	―	ON OFF	インタフェース (ネットワーク etc.) に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インター フェース の異常	―	―	OFF 0 時間 0 分 ≀ 2 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	インタフェース (ネットワーク etc.) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インター フェース の異常	―	―	ON OFF	インタフェース (ネットワーク etc.) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
その他エラー	―	―	OFF 0 時間 0 分 ≀ 2 時間 0 分 ≀ 48 時間 45 分	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
その他エラー	―	―	ON OFF	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

E メールサービス

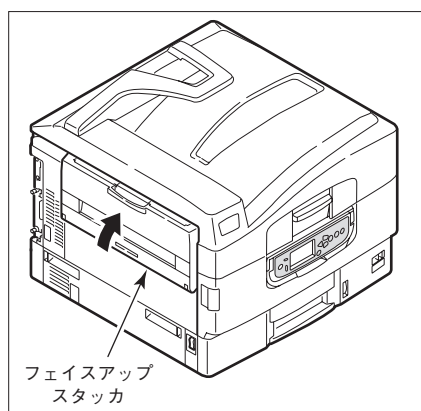
網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Web ブラウザ	Web Tools	AdminManager		
–	E メールを使用する	–	Enable Disable	E メールサービスの使用／未使用を設定します。
–	E メール印刷を使用する	–	Enable Disable	E メール印刷の使用／未使用を設定します。
–	受信メールサーバ	–	なし	受信サーバ名を設定します。ドメイン名もしくは IP アドレスを指定してください。 ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(Sec) の設定が必要です。
–	受信サーバタイプ	–	POP3 IMAP	受信サーバのサービスタイプを選択します。
–	POP before SMTP を使用する	–	Enable Disable	SMTP で情報を送る前に POP サーバにログを残す場合は、Enable を設定します。
–	送信メールサーバ	–	なし	送信メールサーバの指定をします。ドメイン名もしくは IP アドレスを指定してください。 ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(Sec) の設定が必要です。
–	タイムアウト（秒）	–	30 60 90 120 150 180 210 240 270 300	E メールサーバと接続する際のタイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
–	ポーリング間隔（秒）	–	5 ～ 300 ～ 3600	自動的に E メールサーバに新規メッセージを取得に行くまでの間隔を秒単位で指定できます。
–	メールボックスアカウント名	–	なし	メールサーバで指定されているメールボックス名を、半角 14 文字以内で入力します。
–	Fiery E メールアドレス	–	なし	E メールアカウント名を、半角 72 文字以内で入力します。
–	メールボックスアカウントパスワード	–	なし	E メールアカウントのパスワードを、半角 16 文字以内で入力します。
–	管理者 E メールアドレス	–	なし	管理者は、特定の E メールアドレスに対して E メールサービスを E メールを使用してリモートから管理する権限を与えることができます。最大、半角 39 文字まで入力できます。

5 知っていると役に立つ操作

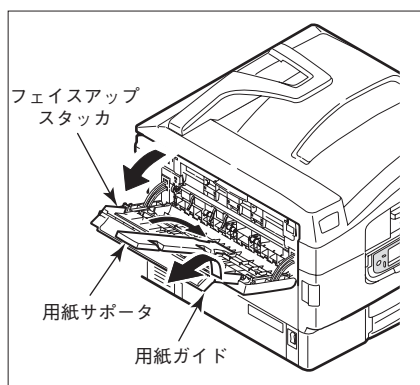
ページ順に出力する

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

「フェイスダウン」でページ順に排出する

❶ プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」が閉じていることを確認します。

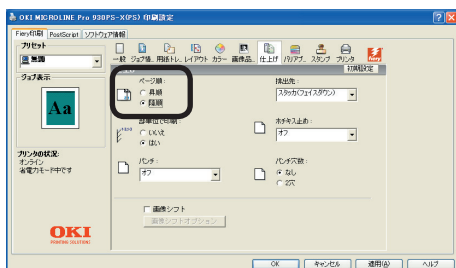
❷ 印刷します。

「フェイスアップ」でページを逆順に排出する

フェイスアップスタッカを開き、プリンタドライバでページの順序を逆に設定し、印刷します。

❶ プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

接続タイプ（キュー）で「直接接続」が指定されている場合には利用できません。

❸ 印刷したいファイルを開きます。

❹ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

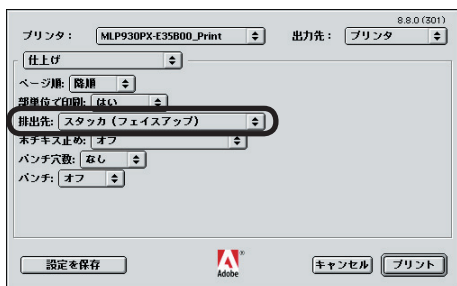
❺ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻ ［Fiery 印刷］タブの［仕上げ］アイコンをクリックし、［ページ順］で［降順］を選択します。

WindowsXP 以降では、接続タイプ（キュー）で「直接接続」が指定されている場合［レイアウト］タブの［ページ順序］で［逆］を選択することで逆順に印刷することができます。ただし［仕上げ］オプションの［ページ順］と［レイアウト］タブの［ページ順序］を同時に指定しないようにしてください。

❼ ［Fiery 印刷］タブの［仕上げ］アイコンをクリックし、［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

Windows PCL プリンタのドライバをお使いの方

利用できません。

MacOS をお使いの方

❸ 印刷したいファイルを開きます。

❹ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺ ［仕上げ］パネルの［ページ順］で［降順］を選択します。

注 接続タイプ（キュー）で「直接接続」が指定されている場合[一般設定］パネルの［逆順で印刷］にチェックを付けることで逆順に印刷することができます。ただし［仕上げ］パネルの［ページ順］と［一般設定］パネルの［逆順で印刷］を同時に指定しないようにしてください。

❻ ［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

Mac OS X をお使いの方

❸ 印刷したいファイルを開きます。

❹ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットの［ページ順］で［降順］を選択します。

注 接続タイプ（キュー）で「直接接続」が指定されている場合 OSX 10.3.9 以降では［用紙処理］パネルの［ページの順序を逆にする］にチェックを付けることで逆順に印刷することができます。ただし［仕上げ 1］機能セットの［ページ順］と［用紙処理］パネルの［ページの順序を逆にする］を同時に指定しないようにしてください。

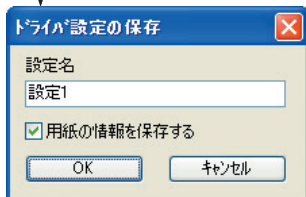
❻ ［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

プリンタドライバの設定に名前を付けて保存する

プリンタドライバで設定した内容を、名前を付けて保存できます。
名前を指定することで、いつでも保存した設定で印刷できます。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

Fiery 編の「1 章　Windows からの印刷：ジョブテンプレートの使用」を参照してください。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Server 2008R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プロパティを開きます。

［OKI MICROLINE ***(PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ ［設定］タブの［ドライバ設定］で［追加］を選択します。

❺ ［設定名］に設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。

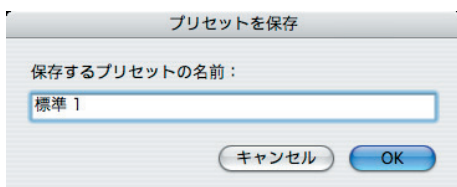
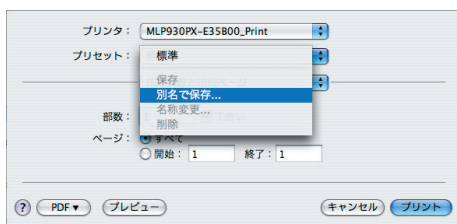
［用紙情報を保存する］にチェックを付けると、［設定］タブの［用紙］の設定も保存します。

❻ ［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、［OK］をクリックします。

ドライバ設定は最大 14 個まで保存することができます。

Mac OS をご使用の場合

利用できません。

Mac OSX をご使用の場合

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

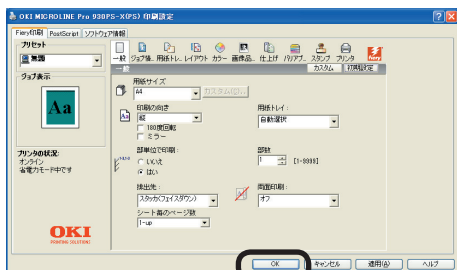
❹ ［プリセット］で［別名で保存］を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名をクリックし［OK］をクリックします。

❺ キャンセルをクリックします。
以降［プリセット］で保存した設定名称を選択して印刷することができます。

注 ［ページ設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

プリンタドライバの初期設定を変更する

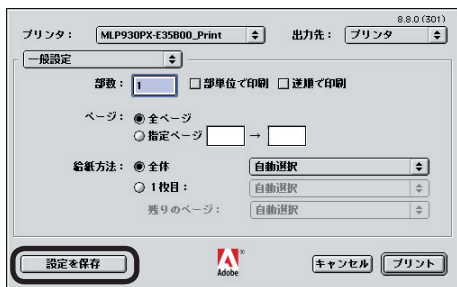
よく使う機能を初期設定としておくと便利です。

Windows をお使いの方

（WindowsXP PS プリンタドライバの画面）

❶ Windows 7/Server 2008R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し､［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では､［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］または［OKI MICROLINE *** (PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［設定を保存］をクリックします。

注 ［用紙設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

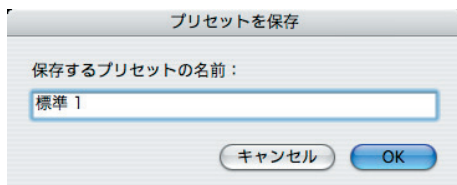
❹ 確認画面で［OK］をクリックします。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

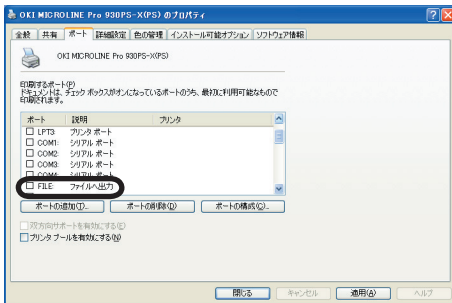
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

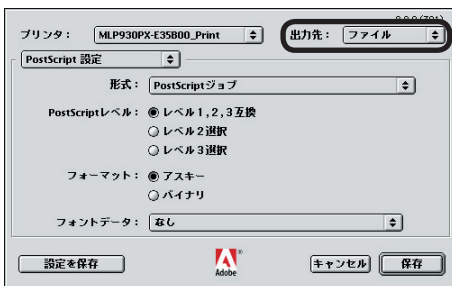
❸ 各設定を変更し､「プリセット」で「別名で保存」を選択し、保存名を入力します。

注 ［ページ設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

印刷データをファイルに出力する

印刷データを印刷せずにファイルに書き出して保存することができます。
Windows の場合、保存したファイルは、OKI LPR ユーティリティを使って印刷できます。（137 ページ）

Windows をお使いの方

 コンピュータの管理者の権限が必要です。

1. Windows 7/Server 2008R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
   Windows Vista/Server 2008(Server 2008 は PCL のみ）では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
   Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。
   Windows Server 2003 では、［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］を選択します。
   Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
2. ［OKI MICROLINE ***(PS)］または［OKI MICROLINE ***（PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［ポート］タブの［印刷するポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。
4. 印刷します。［ファイルへ出力］で［出力先ファイル名］を入力し、［OK］をクリックします。

MacOS をお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［出力先］で［ファイル］を選択します。
4. ［PostScript 設定］パネルで設定を行います。
5. 印刷します。［名前］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

Mac OS X をお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［出力オプション］パネルで［ファイルとして保存］にチェックを付け、［フォーマット］で［PostScript］を選択し、［保存］をクリックします。
4. ［別名で保存］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

メモ

形式
　ポストスクリプトファイル形式を指定します。

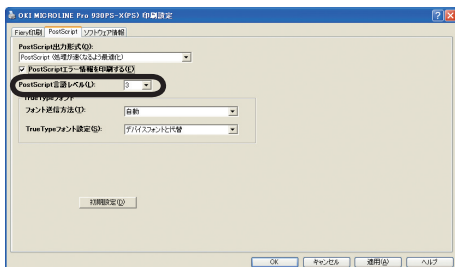
PostScript レベル
　出力するプリンタに合わせて指定します。

フォーマット
　アスキー / バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。
　バイナリの PostScript 言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。

フォントデータ
　ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScript フォントしか使っていない場合は［なし］を選択します。

ポストスクリプトエラーを印刷する

PS プリンタドライバを使って印刷している場合にエラーが発生したとき、エラー内容を印刷することができます。

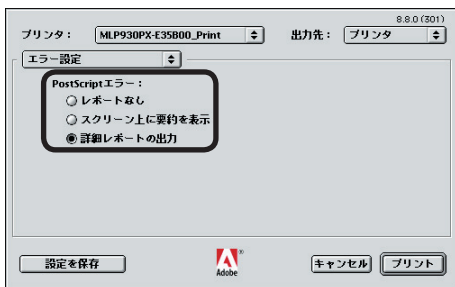
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［PostScript］タブの［PostScript エラー情報を印刷する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

利用できません。

MacOS をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［エラー設定］パネルの［PostScript エラー］で［詳細レポートの出力］を選択します。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

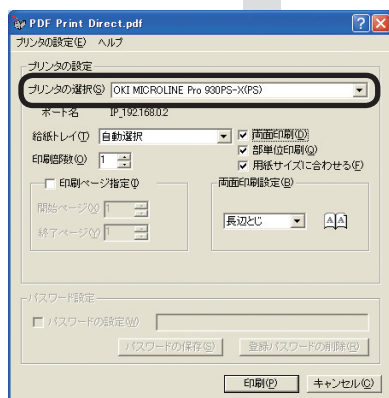
❸ ［エラー処理］パネルの［PostScript エラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

PDF Print Direct ユーティリティを使って PDF ファイルを印刷する

PDF Print Direct ユーティリティを使ってプリンタに PDF ファイルを直接送り印刷します。アプリケーションを起動してファイルを開く手間が省けます。

- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- 暗号化された PDF ファイルは印刷できません。
- PDF ファイルフォーマット Ver1.4 以上では、正しく印刷されない場合があります。
- Windows PC 上に本製品のプリンタドライバをあらかじめインストールしておく必要があります。また、プリンタドライバの接続タイプ（キュー）が［直接接続］の場合は PDF ファイルは印刷されませんので、プリンタドライバの接続が［直接接続］以外であることを確認してください。
- ユーザ認証機能を使用すると PDF はダイレクト印刷できなくなります。
  ユーザ認証機能を OFF にするにはプリンタの操作パネルもしくは WebTool で以下の設定にする必要があります。
  操作パネル：管理者メニューーサーバ設定の [印刷許可] を [全ユーザ] にする。
  WebTools：設定ーユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。

接続ポートに USB をお使いの方は､プリンタの操作パネル（管理者メニュー）の［USB 設定:USB 接続］を｢印刷キュー｣にしてください。OKI LPR ユーティリティをお使いの方は､ユーティリティの｢印刷方式｣を「ホストの開放を優先する」に設定してください。Standard TCP/IP Port をお使いの方は､「ポートの構成」/「Raw 設定」を「9012」に変更するか､または「プロトコル」で「LPR」を選択してください。

❶ 印刷したい PDF ファイルを選択し、次のようなメニューが表示されるので［PDF Print Direct］を選択します。

❷ 印刷可能な PDF ファイルの場合、左の画面が表示されます。使用するプリンタに接続されているプリンタドライバを［プリンタの選択］で選択します。

❸ 必要な項目を設定し、［印刷］をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードする

MicrolinePS Utility を使ってポストスクリプトファイルをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。
プリンタとの接続に USB をお使いの方は、接続タイプ（キュー）を「直接接続」にする必要があります。

MacOS をお使いの方

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログで［File ダウンロード］ボタンをクリックします。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。
ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると印刷されます。

メモ

ポストスクリプトファイルをドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

Mac OS X をお使いの方

利用できません。

5 知っていると役に立つ操作

プリンタフォントを確認する

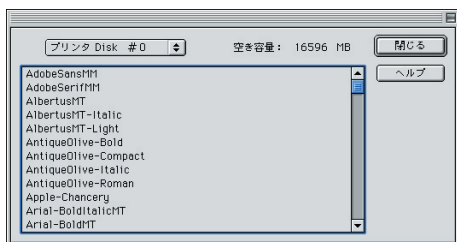
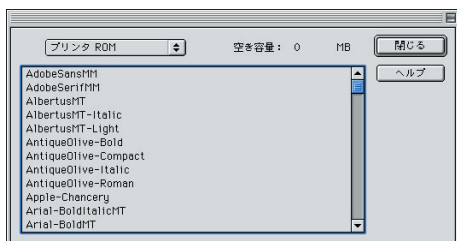
MicrolinePS Utilityを使って、プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。
プリンタとの接続にUSBをお使いの方は､接続タイプ（キュー）を「直接接続」にする必要があります。

MacOSをお使いの方

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログで［フォントリスト表示］ボタンをクリックします。

❸ ［プリンタ ROM］､［フォントカートリッジ］､［フォントカートリッジ　# 1］を選択すると、プリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

❹ ［プリンタ Disk］を選択すると､プリンタの内蔵ハードディスクにダウンロードしたフォントが表示されます。

- ［プリンタ ROM］で内蔵ハードディスクにダウンロードしたフォントが見える場合があります。
- ダウンロードフォントのリストを印刷することはできません。

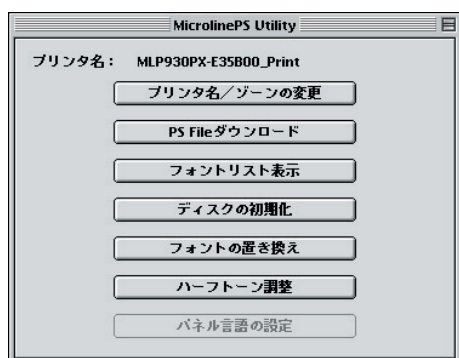
Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

PDF ファイルを直接プリンタにダウンロードして印刷する

MicrolinePS Utility を使って PDF ファイルを直接プリンタに送り、印刷することができます。

- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- USB 接続の場合、PDF ファイルのダウンロード機能は利用できません。

MacOS をお使いの方

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログで［File ダウンロード］ボタンをクリックします。

❸ ダウンロードしたい PDF ファイルを選択します。

❹ 送信可能な PDF ファイルの場合、次の画面が表示されますので、必要があれば適当な項目を設定します。

❺ ［ダウンロード］をクリックします。
PDF ファイルがプリンタに送られます。

❻ MicrolinePS Utility を終了します。

メモ

次のように PDF ファイルをユーティリティアイコン上に直接ドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

Mac OS X をお使いの方

利用できません。

色見本印刷ユーティリティを使って希望色を印刷する（Windows）

色見本印刷ユーティリティはプリンタで RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのような RGB 値の指定を行えばよいかを確認することができます。

- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、121 ページをご覧ください。
- ユーザ認証機能を使用すると色見本は印刷されなくなります。
  ユーザ認証機能を OFF にするには WebTool で以下の設定にする必要があります。
  設定－ユーザとグループの [ユーザに認証なしの印刷を許可する] のチェックを外す。

1 色見本を印刷します。

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［色見本印刷ユーティリティ］-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

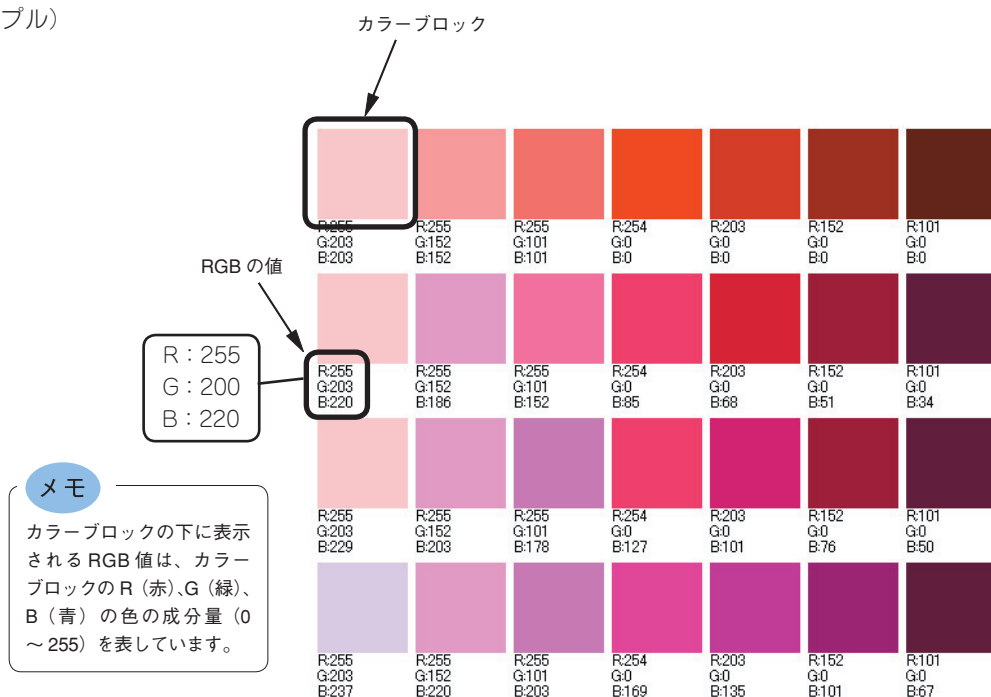
メモ　ドライバの［カラー］タブで［色見本の印刷］をクリックして起動することもできます。

❷ ［印刷］ボタンをクリックします。

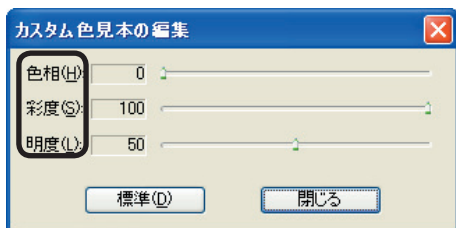
❸ プリンタを選択します。

❹ ［OK］または［印刷］をクリックします。

色見本が 3 ページ印刷されます。

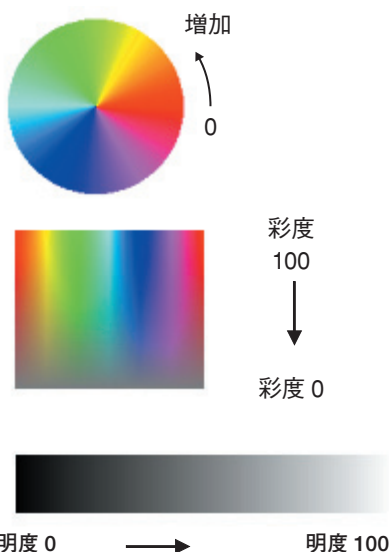
（サンプル）

❺ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

5
知っていると役に立つ操作

メモ 色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

❶ ［切り替え］ボタンをクリックし、カスタム色見本に切り替えます。

❷ ［詳細］ボタンをクリックし、［カスタム色見本の編集］ダイアログを表示します。

❸ 希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、［閉じる］をクリックします。

色相：色相を変更します。0は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

彩度：鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色（グレー）となります。

明度：濃さを変更します。明度が最大（100%）の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。

❹ ［印刷］ボタンをクリックします。

❺ プリンタを選択します。

❻ ［OK］または［印刷］をクリックします。
プリンタから1ページ印刷されます。

❼ 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順❶から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本のRGB値を変更します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸ 印刷します。

注 アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

プリンタドライバを削除する

Windows プリンタドライバをお使いの方

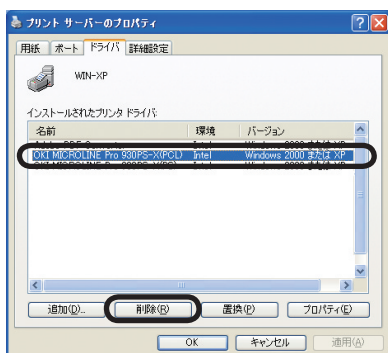
コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ Windows を再起動します。

❷ Windows 7/Server 2008R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❸ [OKI MICROLINE ***(PS)] または [OKI MICROLINE ***(PCL)](*** はプリンタ名)アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除] を選択します。

❹ 以降、画面の指示に従います。

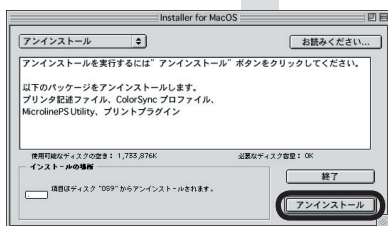
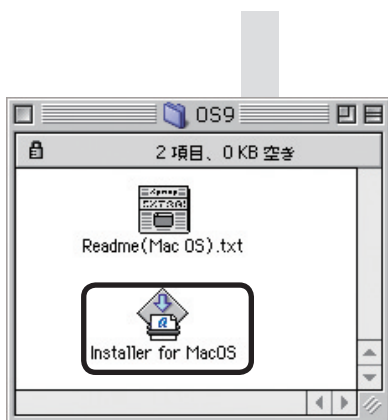
❺ 「プリンタと FAX」(Windows 2000 では、「プリンタ」)フォルダの [ファイル] - [サーバーのプロパティ] を選択します。

❻［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

❼ Windows を再起動します。

再起動することにより完全にプリンタドライバが削除されます。

・ネットワーク接続の場合、プリンタドライバと一緒にインストールされる OKI LPR ユーティリティと Network Extension（PCL ドライバのみ）は、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPR ユーティリティと Network Extension を削除したい場合は、122 ページをご覧ください。

MacOS をお使いの方

Mac OS X をお使いの方は 195 ページをご覧ください。

❶「CD1 ソフトウェア CD」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

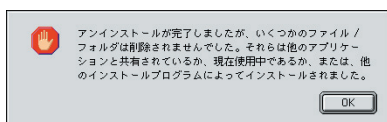
❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ◆ をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。
プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾ ［OK］をクリックします。

❿ ［終了］をクリックします。

⓫ 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。
- AdobePS を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリンタ初期設定］フォルダ内の「AdobePS 設定」ファイル
- ［システムフォルダ］ー［機能拡張］フォルダ内の「AdobePS」ファイル、「Printing Lib」ファイル、「Adobe Printing Library」ファイル

Mac OS X をお使いの方

MacOS をお使いの方は 194 ページをご覧ください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

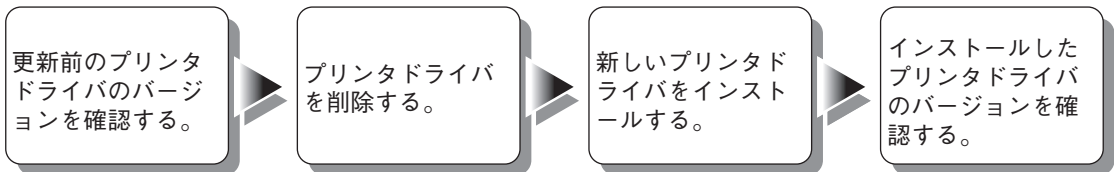
❸ ［プリンタリスト］を閉じます。

プリンタドライバを更新(アップデート)する

最新のプリンタドライバは沖データのホームページ（http://www.okidata.co.jp/）からダウンロードできます。

Windows をお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

プリンタドライバ更新の流れ

プリンタドライバを更新（アップデート）する

1. Windows を再起動します。
   コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。
2. Windows 7/Server 2008R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
   Windows Vista/Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。
   Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
   Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
   Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
3. [OKI MICROLINE ***(PS)] または [OKI MICROLINE *** (PCL)] (*** はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。
4. [全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします。
5. 確認画面が表示されたら、[OK] をクリックします。
   テストページが印刷されます。
6. プリンタの電源を OFF にします。
   電源の切り方は別冊「プリンタ機能編」の「電源を切る」をご覧ください。
7. プリンタドライバを削除します。
   詳しくは、193 ページをご覧ください。

注 ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバ（PS または PCL）と同じ種類のプリンタドライバをすべて削除してください。

❽ Windows を再起動します。

❾ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
接続方法を確認し、「セットアップ編」をご覧ください。

必ずプリンタの電源が OFF になっていることを確認してください。

❿ ❶～❺の手順で「テストページ」を印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

Windows XP
プリンタ テスト ページ

OKI MICROLINE Pro 930PS-X(PS) (WIN-XP 上) が正しくインストールされました。

以下の情報は、プリンタ ドライバとポート設定の説明です。

```
受付時刻:              16:37:52 2008/06/06
コンピュータ名:        WIN-XP
プリンタ名:            OKI MICROLINE Pro 930PS-X(PS)
プリンタ モデル:       OKI MICROLINE Pro 930PS-X(PS)
カラー印刷:            有
ポート名:              IP_192.168.0.2
データ形式:            RAW
共有名:
場所:
コメント:
ドライバ名:            PSCRIPT5.DLL
データ ファイル:       EF1K3425.PPD
構成ファイル:          PS5UI.DLL
ヘルプ ファイル:       PSCRIPT.HLP
ドライバのバージョン:  5.02
環境:                  Windows NT x86

このドライバが使う追加ファイル:
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥PSCRIPT.NTF
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥PSCRPTFE.NTF
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.xml
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.ini
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.chm
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.ext      (3.1.206.1)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.esi      (3.1.206.1)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.uim      (3.1.206.1)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.psr      (3.1.206.1)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.fin      (3.1.206.1)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.oem      (3.1.206.1)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.uat      (1.1.2.19)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.lan      (3.1.206.1)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3425.dll      (3.1.206.1)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK053J3S.cap
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥harmony_core.dl   (R2.06.132)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥harmony_efi_col r.dll     (R2.06.132)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥harmony_efi.dll   (R2.06.132)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥harmony_bridge. ll  (R2.06.132)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥harmony10.dll     (R2.06.132)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥harmony_ctp.dll   (R2.06.132)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥msvcr80.dll (8. 0.50727.42)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥msvcp80.dll (8. 0.50727.42)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥Microsoft.VC80. RT.manifest
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥opjobinf.dll      (2.60)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥ophcwnxt.dll      (1.17)
 C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥okj3s03h.ver
```

プリンタ テスト ページ終わり。

（例） WindowsXP の「テストページ」

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

MacOSをお使いの方

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除する」（193ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップ編」をご覧ください。

Mac OS Xをお使いの方

❶ [プリンタ設定ユーティリティ]もしくは[プリンタとFAX]-[プリンタリスト]のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除する」（193ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップ編」をご覧ください。

6 トラブルシューティング

印刷できないとき

一般的なトラブル

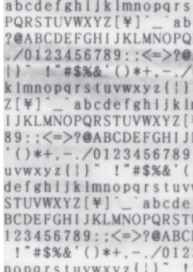
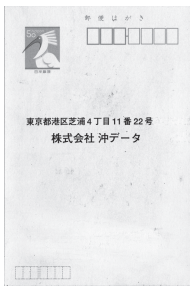
現　象	考えられる要因	解決するには
印刷できない	プリンタの電源が入っていない	電源を入れてください。
	ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータを正しく接続してください。
	停電している	停電が解除されるまでお待ちください。
	手順通りにプリンタドライバのインストールを行っていない	プリンタドライバを削除し、手順通りにインストールしてください。
	プリンタがオフラインになっている	プリンタのオンラインボタンを押し、[印刷できます] と表示させてください。
	プリンタの操作パネルにエラーメッセージを表示している	エラーメッセージを確認し、プリンタ機能編をご覧ください。
	プリンタのハードディスクに空きがない	待機ジョブを印刷するか、または削除して、ハードディスクを空けてください。
フィニッシャがついた状態で印刷できない	プリンタドライバの設定でフィニッシャが「未装着」になっている	プリンタドライバの設定でフィニッシャを「装着」に設定します。
印刷がキャンセルできない	PS の出力プロトコルが「バイナリ」に設定されている	Windows のプリンタドライバのスプーラを開き、再送されているジョブを削除します。その後、プリンタの操作パネルで「キャンセル」ボタンを押します。

印刷が遅い

現　象	考えられる要因	解決するには
プリンタの印刷するまでの処理に時間がかかる	ドライバの印刷品位で「きれい」または「高精細（多階調）」を選んでいる	「ふつう」に変更してください。
	プリンタにはないフォントを使用している	プリンタに搭載されているフォントを利用するとデータ量が少なくなります。（103 ページ）
	サイズの大きなファイルを複数部数指定で印刷している	処理されるまでお待ちください。

ネットワーク接続時のトラブル

現　象	考えられる要因	解決するには
印刷できない	ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータを正しく接続してください。
	ケーブルが規格に合っていない	規格に合ったケーブルを使用してください。
	OKI LPR ユーティリティでプリンタが停止中になっている	使用しているプリンタの一時停止のチェックを外してください。
	プリンタのネットワーク機能がおかしい	ネットワークを初期化してください。

USB 接続時のトラブル

現　象	考えられる要因	解決するには
印刷できない	ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータを正しく接続してください。
	ケーブルが規格に合っていない	規格に合ったケーブルを使用してください。
	インタフェースの設定が無効になっている	USB を有効にしてください。
	USB ハブを使っている	プリンタとコンピュータを直接接続してください。
	セットアップ手順が間違っている	セットアップ編の手順に従ってセットアップしてください。
	前回の設定が有効になっている	メニューでタイムアウトを短くしてください。

ステイプル・パンチのトラブル

現　象	考えられる要因	解決するには
ステイプル・パンチが正常にされない	プリンタドライバの「用紙チェック」がオフになっている	PS ドライバの「Fiery 印刷」タブを開き、「用紙トレイ」の「用紙チェック」をオンにします。
	指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がトレイにセットされている	トレイの用紙を正しいサイズの用紙に交換します。

印刷結果に関するトラブル

現　象	考えられる要因	解決するには
縦方向に白いスジが入る。	LED ヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。別冊「プリンタ機能編」
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。別冊「プリンタ機能編」
	異物がつまっています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
縦方向にかすれる。	LED ヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。別冊「プリンタ機能編」
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	使用できる用紙の条件に合った用紙を使用してください。(212 ページ)
印刷が薄い。	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	使用できる用紙の条件に合った用紙を使用してください。(212 ページ)
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］、［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウエイト］を 1 つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］を 1 つ厚い紙の値にしてください。
部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。

現　象	考えられる要因	解決するには
縦方向にスジが入る。	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
横方向にスジや点が周期的に入る。	約 94mm 周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	イメージドラムカートリッジのカバーをずらし、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約 94mm 周期の場合は、イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約 49mm 周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約 88mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	定着器ユニットを交換してみてください。
白地の部分が薄く汚れる。	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	厚い用紙を使用しています。	より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。別冊「プリンタ機能編」
	湿度が低く、トナーが過剰に帯電しています。	室内の湿度を高くしてください。湿度 50%が最適です。
文字の周辺がにじむ。	LED ヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。別冊「プリンタ機能編」
	LED ヘッドの位置が正しくありません。	トップカバーを開閉してください。 トップカバーを閉じるときは、最初は軽く押し、途中から強く押してください

現　象	考えられる要因	解決するには
はがき、封筒または光沢紙に印刷すると全体的に薄く汚れる。 擦ると文字の周辺が汚れる。 郵便はがき 東京都港区芝浦4丁目11番22号 株式会社 沖データ	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの故障ではありません。
	光沢紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの故障ではありません。事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。 高温度、高湿度環境を避けてください。温度 23℃、湿度 50%が最も適した環境です。
擦るとトナーがとれる。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］、［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウエイト］を 1 つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］を 1 つ厚い紙の値にしてください。
光沢にムラが出る。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］、［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウエイト］を 1 つ薄い紙の値にしてください。
トナーが定着しないところがある。 トナーがはがれる。	定着器の温度が適切ではありません。	プリンタのトップカバーを開閉してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］、［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウエイト］を 1 つ厚い紙の値にしてください。
残像が印刷される。	印刷環境が適切ではありません。	高温度、高湿度環境を避けてください。
モニタの色と印刷結果が合わない。 思った色がでない。	プリンタユーティリティのカラーが調整されていません。モニタとプリンタでは色の表現方法が異なるため、完全に一致した結果が得られない場合があります。	
印刷結果が汚いまたは粗い。	ハーフトーン濃度が適切ではありません。	ハーフトーン調整を細かく設定してください。
汚れがでる。（トナーが飛び散る）	トナーやドラムが正しくセットされていません。	トナー・ドラムを取り付け直してください。 プリンタカバーを開き、汚れがあれば取り除きます。
文字化けする。	指定したフォントに問題があります。	フォントリスト印刷を行います。別冊「プリンタ機能編」 問題なく印刷される場合は、アプリケーションや指定したフォントを変えて印刷を確認し、問題がどこにあるか確認します。

Windows Vista/Server 2008 以降に関する制限事項

項　　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
NICセットアップユーティリティ (AdminManager、Quick Setup) Network Extension	ヘルプが表示されない。	ヘルプの表示には対応しておりません。
プリンタドライバ(PS, PCL) 色見本印刷ユーティリティ NICセットアップユーティリティ (AdminManager、Quick Setup) Network Extension プリントジョブアカウンティングLite	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、[続行]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
色見本印刷ユーティリティ Network Extension プリントジョブアカウンティングLite	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後(インストールを途中で中止した場合も含みます)、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず[このプログラムは正しくインストールされました]をクリックしてください。
Network Extension	「OKI Network Extensionのアンインストール中にエラーが発生しました。既にアンインストールされている可能性があります。[プログラムと機能]の一覧からOKI Network Extensionを削除しますか?」というメッセージが表示される。	アンインストール時、「Install Wizardの完了」画面で[はい、今すぐコンピュータを再起動します]を選択し、[完了]をクリックすると、左記のメッセージが表示される場合がありますが、自動的に再起動され、アンインストールが正しく行われますので、問題ありません。

WindowsXP Service Pack 2 に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載では、Windows ファイアーウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で［Windows ファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
Admin Manager	プリンタ検索、NIC の設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NIC の設定ができなく なります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索、NIC の設定を行う場合は、［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き ,AdminManager を追加し、チェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェッ クがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ は問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタ」-「プリンタの追加 / 削除」で、プリンタ名（任意）と IP アドレスを 入力し、OK ボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。
Print Job Accounting	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「 TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	WindowsXP Service Pack1 以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、WindowsXP Service Pack2 にアップデートを行うと、左 記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、PrintSuperVision がインストールされている Web サイトのポート番号を追加してください。 ※ 設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［PrintSuperVision］-［お読みください］を参照してください。
	ポップアップウインドウがブロックされます。	※ 設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［PrintSuperVision］-［お読みください］を参照してください。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の 4 桁目を *（例：192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し、［管理ツール］-［コンポーネント サービス］で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※ 設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［お読みください］を参照してください。
Web 全般	Web が正確に表示されないことがあります。	WindowsXP Service Pack 2 を適用した場合、ポップアップウインドウがブロックされます。以下の設定を行ってください。 ① Internet Explorer の［ツール］-［ポップアッププロックの設定］を開きます。 ②［許可する Web サイトのアドレス］にプリンタの IP アドレスを追加します。 ③［閉じる］をクリックします。

※ 詳細は弊社ホームページ「http://www.okidata.co.jp」をご覧ください。

7 ユーザーサポート

お客様相談センターのご案内

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次ページの「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター　**0120-654-632**

（携帯電話からは 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(ただし 祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆沖データ製品のサポートサービスは (株) 沖電気カスタマアドテック（OCA）が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供 , アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5　プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　　　）

コンピュータ環境

□ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□ Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

□ USB　□ネットワーク　□ TCP/IP　□ IPX/SPX

□ EtherTalk　□ NetBEUI　□ Bonjour(Rendezvous)　□その他（　　　）

ネットワークの有線・無線　□有線　□無線

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：□正常　□印刷できない

最新プリンタドライバの入手方法

沖データホームページからダウンロードしてください。

http://www.okidata.co.jp

補修用部品の保有年数について

本プリンタの補修用部品の保有年数は、製造終了後 5 年間とさせていただきます。
詳しくは沖データホームページをご覧ください。

付　録

使用できる用紙

使用できる用紙

使用できる用紙の種類は、普通紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHP フィルム、部分印刷用紙、カラー用紙です。推奨紙、サイズ、厚さなどはそれぞれの用紙の項目をご覧ください。
高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外の用紙を使用すると、紙づまりなどの走行不良の原因となったり、印刷品位が低下する場合がありますので、事前に試し印刷を行い支障がない事を確認してから使用してください。

普通紙、カラー用紙、部分印刷用紙

推奨紙：　エクセレントホワイト（OKI カラーページプリンタ用紙）（A4、A3、A3 ノビ）
推奨長尺紙：　エクセレントホワイト（OKI カラーページプリンタ用紙）（A4 幅、A3 ノビ幅）

弊社推奨紙以外で印刷された場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	連量 55 ～ 258kg (64 ～ 300g/m^2) 両面印刷（オプション）する場合は、 連量 55 ～ 162kg (64 ～ 188g/m^2)*1*2 長尺紙の場合は、連量 110kg (128g/m^2) 用紙の大きさによっては、さらに厚い用紙に両面印刷することができます。 詳細は 67 ページをご覧ください。	電子写真プリンタ用紙、電子写真コピー用紙、カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー用紙、電子写真プリンタ再生紙 *3 を使用してください。 カラー用紙の場合、用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐える用紙、かつ用紙特性が白色紙と同じ用紙 部分印刷用紙の場合、部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐える用紙 両面印刷（オプション）できるカスタム用紙サイズは、幅 100 ～ 328mm、長さ 148 ～ 457.2mm です。
A5	148 × 210		
A6	105 × 148		
B4	257 × 364		
B5	182 × 257		
A3	297 × 420		
A3 ノビ	328 × 453		
A3 ワイド	320 × 450		
タブロイド	279.4 × 431.8(11 × 17)		
ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞｴｸｽﾄﾗ	304.8 × 457.2(12 × 18)		
レター	215.9 × 279.4(8.5 × 11)		
ﾘｰｶﾞﾙ(13 ｲﾝﾁ)	215.9 × 330.2(8.5 × 13)		
ﾘｰｶﾞﾙ(13.5 ｲﾝﾁ)	215.9 × 342.9(8.5 × 13.5)		
リーガル(14 ｲﾝﾁ)	215.9 × 355.6(8.5 × 14)		
エグゼクティブ	184.2 × 266.7(7.25 × 10.5)		
カスタム	幅　76.2 ～ 328 長さ 90 ～ 1200		

＊1　MLPro930PS-S/MLPro930PS-E では、オプションの両面印刷ユニットが必要です。
＊2　用紙サイズによって、両面印刷可能な用紙厚が異なります。詳しくは 67 ページをご覧ください。
＊3　（グリーン購入法に適合した電子写真プリンタ用再生紙に対応しています。）
再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものがあります。必ず電子写真プリンタ用再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。
- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、表面が粗すぎる（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 保管状態の悪い用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- のり・薬品などで加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

はがき

サイズ　単位：mm(インチ)		その他の条件
はがき	100 × 148	郵便はがき、および折っていない郵便往復はがきを使用してください。
往復はがき	148 × 200	

以下の用紙は使用しないでください。
・インクジェット用官製はがき
・2mm 以上反りがあるはがき
・切手の貼ってあるはがき
・写真加工してあるはがき

封筒

封筒を印刷する場合、用紙搬送を安定させるため、モノクロ印刷時でも C、M、Y ドラムが回転します。

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
長形 3 号	120 × 235	坪量 85g/m2 ＊角形 2 号の場合は坪量 100g/m2 のご使用をお奨めします。	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒で、フラップ部が折れていないもの
長形 4 号	90 × 205		
角形 2 号＊	240 × 332		
角形 3 号	216 × 277		
角形 8 号	119 × 197		
洋形 0 号	120 × 235		
洋形 4 号	105 × 235		
Com-9	98.4 × 225.4(3.875 × 8.875)	24lb	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒で、フラップ部がきちんと折れているもの
Com-10	104.8 × 241.3(4.125 × 9.5)		
DL	110 × 220(4.33 × 8.66)		
C5	162 × 229(6.38 × 9.02)		
C4	229 × 324(9.02 × 12.76)		
Monarch	98.4 × 190.5(3.875 × 7.5)		

以下の用紙は使用しないでください。
・厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
・内袋のある二重封筒
・とめ金、ボタン、窓のある封筒
・フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
・シワや反りのある封筒
・切手の貼ってある封筒
・表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

ラベル紙

推奨ラベル紙：LBP-F7XXX（コクヨ製）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	0.1 〜 0.2mm	電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙を使用してください。 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しないラベル紙 印刷工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
レター	215.9 × 279.4(8.5 × 11)		

OHP フィルム

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	0.1 〜 0.12mm	電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用 OHP フィルムをお使いください。 プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きない OHP フィルム
レター	215.9 × 279.4(8.5 × 11)		

付録

光沢紙

推奨光沢紙：エクセレントグロス（OKI カラーページプリンタ用紙）（A4、A3、A3 ノビ）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	連量 110kg (128g/m^2))	室内温度 25℃以下、湿度 60%以下の環境でお使いください。
A3	297 × 420		
A3 ノビ	328 × 453		

- 光沢紙に印刷する場合は、プリンタのメニューのメディアタイプを「光沢紙」に設定し、プリンタドライバの給紙方法を「光沢紙」を選択してください。
- 光沢紙は、推奨紙エクセレントグロスをご使用ください。その他の光沢紙はご利用になれません。
- 光沢紙の場合、地にトナーが付着する場合があります。

用紙の給紙方法と排出方法の関係

◎ ：片面、両面印刷とも使用できます
○ ：片面印刷のみ使用できます
× ：使用できません

種　類	厚　さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			トレイ 1	トレイ 2～5*1	マルチパーパス トレイ／手差し	フェイスアップ （表排出）	フェイスダウン （裏排出）
普通紙	連量 55～103kg	A3 ノビ, A3, A4*2, A5, A6*9 B4, B5*2, レター *2 リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ A3 ワイド (SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	◎	◎	◎	◎	◎
		カスタム *3	◎*7	◎ *7	○	○	×
	連量 104～ 186kg	A3 ノビ, A3, A4*2, A5, A6*9 B4, B5*2, レター *2 リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ A3 ワイド (SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○*8	○*8	○*8	○*8	○*8
		カスタム *3	○*7	○ *7	○	○	×
	連量 187～ 258kg	A3 ノビ, A3, A4*2, A5, A6*9 B4, B5*2, レター *2 リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ A3 ワイド (SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	×	×	○	○	×
		カスタム *3	×	×	○	○	×
はがき *4	–	はがき , 往復はがき	○	×	○	○	×
封筒 *4	–	長形 3 号 , 長形 4 号 角形 2 号 , 角形 3 号 洋形 0 号 , 洋形 4 号 , 角形 8 号 Com-9, Com-10, DL C5, C4, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙 *5	–	A4, レター	×	×	○	○	×
光沢紙 *5*6	–	A4, A3 ノビ , A3	◎	×	○	○	×
OHP フィルム *5	–	A4, レター	○	×	○	○	×

*1：トレイ 2～5 はオプションです。
*2：縦送りと横送りができます。
*3：カスタムサイズは幅 76.2～328mm、長さ 90～1200mm です。
*4：はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。
*5：ラベル紙、光沢紙、OHP フィルムのメディアタイプを設定すると印刷速度が遅くなります。
*6：メディアタイプの［光沢紙］は、光沢紙など表面に光沢のある印刷媒体に適したモードです。光沢紙は、推奨紙エクセレントグロスをご使用ください。その他の光沢紙はご利用になれません。光沢紙の場合、白地に薄くトナーが付着する場合があります。
*7：トレイ 1～5 にセットできるカスタムサイズは幅 100～328mm、長さ 148～457mm です。
*8：A3 ノビ、A3 ワイド、A3、A4、レター、リーガル、タブロイド、タブロイドエクストラの場合は、連量 162kg の用紙まで両面印刷可能です。
*9：必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50% RH の環境

次のような場所はさけてください

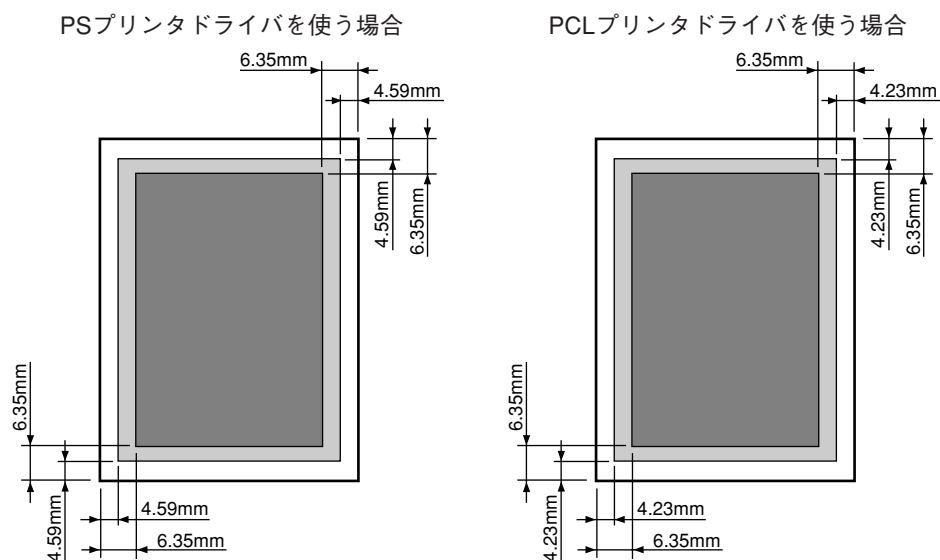
- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

付録

印刷範囲と印刷精度

印刷範囲

お使いになるプリンタドライバによって、印刷範囲が異なります。
また、お使いになるアプリケーションによって、実際の印刷範囲が異なることがあります。

印刷精度

- 書き出し位置± 2mm、用紙の斜行± 1mm/100mm、画像伸縮± 1mm/100mm（連量 70kg の用紙に印刷する場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷精度は± 2.5mm です。

文字コード表（PS/PCL モード）

PS モード

- ***-83pv-RKSJ-H は、主に Macintosh で使用します。(*** はフォント名)
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-H および ***-Ext-RKSJ-H は、主に Windows で使用します。(*** はフォント名)
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「CD1 ソフトウェア CD」の以下のフォルダに PDF 形式で入っています。
  ［Windows］　［OKI］-［MISC¥Kanji Code］フォルダ
  ［Macintosh］　［OKI］-［Font¥Kanji Code］フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	プリンタフォント名
RL-83pv.pdf	Ryumin-Light-83pv-RKSJ-H
RL-90ms.pdf	Ryumin-Light-90ms-RKSJ-H
RLExRKSJ.pdf	Ryumin-Light-Ext-RKSJ-H
RL-RKSJ.pdf	Ryumin-Light-RKSJ-H
GM-83pv.pdf	GothicBBB-Medium-83pv-RKSJ-H
GM-90ms.pdf	GothicBBB-Medium-90ms-RKSJ-H
GMExRKSJ.pdf	GothicBBB-Medium-Ext-RKSJ-H
GM-RKSJ.pdf	GothicBBB-Medium-RKSJ-H
HG-83pv-PDF	HeiseiKakuGo-w5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms-PDF	HeiseiKakuGo-w5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-w5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-w5-RKSJ-H
HM-83pv-PDF	HeiseiMin-w3-83pv-RKSJ-H
HG-90ms-PDF	HeiseiMin-w3-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiMin-w3-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiMin-w3-RKSJ-H
平成角ゴ .pdf	平成角ゴシック
平成明朝 .pdf	平成明朝

欧文標準

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	“	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

PC-8

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		☺	☻	♥	♦	♣	♠	•	◘	○	◙	♂	♀	♪	♫	☼
1	►	◄	↕	‼	¶	§	▬	↨	↑	↓	→	←	∟	↔	▲	▼
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	⌂
8	Ç	ü	é	â	ä	à	å	ç	ê	ë	è	ï	î	ì	Ä	Å
9	É	æ	Æ	ô	ö	ò	û	ù	ÿ	Ö	Ü	¢	£	¥	Pt	ƒ
A	á	í	ó	ú	ñ	Ñ	ª	º	¿	⌐	¬	½	¼	¡	«	»
B	░	▒	▓	│	┤	╡	╢	╖	╕	╣	║	╗	╝	╜	╛	┐
C	└	┴	┬	├	─	┼	╞	╟	╚	╔	╩	╦	╠	═	╬	╧
D	╨	╤	╥	╙	╘	╒	╓	╫	╪	┘	┌	█	▄	▌	▐	▀
E	α	ß	Γ	π	Σ	σ	μ	τ	Φ	Θ	Ω	δ	∞	φ	ε	∩
F	≡	±	≥	≤	⌠	⌡	÷	≈	°	·	·	√	^{n}	^{2}	■	

付録

付録

Symbol

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∍	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	ϕ	γ	η	ι	φ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

Wingdings-Regular

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	🖐	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	⚪	🞆	🞈	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮱	⮲	⮳	⮴	⮵	⮶	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬀	⬁	⬃	⬂	▭	▫	✗	✓	☒	☑	⊞

PCL モード

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

ASCII
ROMAN_8
ECMA_94_L1
PC_8
DN
PC_850
ISO_SWED_NAMES
ISO_NORWEGIAN
LEGAL
VENTURA_INTNTI
VENTURA_USA
DESKTOP
WINDOWS_L1
PS_TEXT
ISO_ITALIAN
ISO_FRENCH
MATH_8
PS_MATH
PI_FONT
PC_852
WINDOWS_L2
VENTURA_MATH
WINDOWS31_L1
ISO_LATIN2
ISO_LATIN5
MICROSOFT_PUB
PC_TURK
WIN_LATIN5
ISO_UK
ISO_SPANISH
ISO_GERMAN
PC775
PC855
PC857
PC858
PC866
PC869
PC1004
PLSKM2V
ROMAN9
ROMANEX
SERCR1
SERCR2
SPANISH
UKRAIN
WINBLT
WINCYR
WINGRK
WINHEB
WINDING
DINGMS
SYMBOL
OCRA
OCRB
HPZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSSZIP
BULGAR
CWIHUN
GERMAN
GRK437
GRK437C
GRK737
GRK928
HEBRWNC
HEBRWOC
IBM437
IBM850
IBM860
IBM863
IBM865
DOTCH
ISOL6
ISOL9
SWEDSH1
SWEDSH2
SWEDSH3
ISO2
ISO10
ISO14
ISO16
ISO25
ISO57
ISO61
ISO84
ISO85
KMNCKY
MCTEXT
PCEXTDN
PCEXTUS
PCSET1
PC2DN
PC2US
WIN31J

付録

PCL 平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			"	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			'	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∋	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	∼			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

付録

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
なお、オプションのフィニッシャを使用した場合、この装置はクラス A 情報技術装置になり、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。
OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
ColorWise、Command WorkStation、EFI、Fiery は、米国特許商標庁および / またはその他諸国における Electronics for Imaging, Inc. の登録商標です。
Fiery Downloader は、Electronics for Imaging, Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriter、Rosetta および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScript は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の商標です。
Scalable Font は Monotype Imaging, Inc. からライセンスされています。
CG Omega は Monotype Imaging, Inc. の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Monotype Imaging, Inc. の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Monotype Imaging, Inc. の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Monotype Imaging, Inc. の製品です。
CG、Candid、Taffy は Monotype Imaging, Inc. の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Monotype Imaging, Inc. からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

付録

使用許諾契約

重要。お客様へのお願い

プリンタの付属の CD-ROM には株式会社沖データが提供するプログラム（以下、OKI ソフトウェアという）とイー・エフ・アイ株式会社が提供するプログラム（以下、EFI ソフトウェアという）が含まれています。
パッケージを開封する前に下記ソフトウエア使用許諾契約書を必ずお読みください。
お客様がこのパッケージを開封された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約の条項を承諾いただけない場合は、未開封のまま速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ ソフトウェア使用許諾契約

使用許諾契約
プリンタに付属の CD-ROM に含まれているプログラムおよびドキュメンテーションは株式会社沖データ（以下、沖データという）が提供するものです。プログラムおよびドキュメンテーション（以下、総称して OKI ソフトウェアという）をお使いになる前に、以下の項目をお読み下さい。

プログラムをインストールした時点で、お客様は、沖データとの間で本契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. 使用範囲
お客様は、OKI ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、OKI ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として OKI ソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
（1）OKI ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。OKI ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。OKI ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
（2）第 1 条に定めた複製を除いて、OKI ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
（3）お客様は OKI ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
（4）お客様には本契約で認められた権利を除き、OKI ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
（1）お客様への OKI ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
（2）お客様は、OKI ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
（3）お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は OKI ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、OKI ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
（1）沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
（2）本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、OKI ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為（過失を含むがこれに限定されない）に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、適用法で認められる限り、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、OKI ソフトウェアまたは OKI ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法及び輸出管理規制
OKI ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。本契約は国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しないものとし、その適用は明示的に排除されます。

もし、本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。
OKI ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに OKI ソフトウェアや OKI ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

7. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する OKI ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

イー・エフ・アイ株式会社 ソフトウェア使用許諾契約

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず以下のソフトウェア使用許諾契約(以下､本使用許諾契約)をお読みください｡EFI ソフトウェア(以下、本ソフトウェア) を使用されるお客様は、法人 / 個人に依らず本使用許諾契約に同意する必要があります。本使用許諾契約は、EFI ソフトウェアに関するお客様と Electronics for Imaging, Inc.(以下､EFI) との間の法的合意事項となります。本使用許諾契約に同意する場合、「同意する」をクリックしてください。同意しない場合、「同意しない」をクリックし、ソフトウェアのインストール、複製、使用をしないでください。

Windows 用 PostScript(R) プリンタドライバ、Job Monitor、Command WorkStation 5、Fiery Downloader、HotFolder、WebTools、ICC profiles、PPD は EFI が提供するものです。

「同意する」ボタンをクリックし、または本ソフトウェアをインストール、複製、あるいは使用することにより、お客様は本使用許諾契約に従うべき義務を負うことになります。本使用許諾契約に従いたくない場合、「同意する」をクリックしないでください。また、本ソフトウェアをインストール、複製、あるいは使用しないでください。この場合、お客様は、お買い上げ日より 30 日以内にレシート等支払い証明を添付してお買上げ販売店に未使用の本ソフトウェアとその全同梱物を返却して、全額払戻しを受けることができます。

ライセンス
EFI は、お客様に、お買上げいただいた本ソフトウェアの使用について、本使用許諾契約の条項のみに従い、EFI 製品説明書に明記されたとおりに、かつ EFI 製品説明書に明記された製品 (以下、本製品) のみにつき、限定的、非独占的なライセンスを与えます。
本使用許諾契約における「本ソフトウェア」とは､EFI ソフトウェアおよび EFI ソフトウェアに関する一切の文書､ダウンロードしたもの､オンライン上のコンテンツ､バグフィックスプログラム､パッチ､リリース､リリースの注意事項を記載した文書､アップデートプログラム､アップグレードプログラム、テクニカルサポート提供物、およびその他の情報を意味します。本使用許諾契約の条項は、お客様によるこれらアイテムの一切の使用に適用があり、効力を及ぼします。ただし、アップデート、リリースまたはアップグレード時に、EFI は書面による追加契約事項を与えることがあります。
本ソフトウェアはライセンス供与されるものであり、販売されるものではありません。お客様は、EFI 製品説明書に記載された使用目的でのみ、本ソフトウェアを使用できるものとします。お客様は、本ソフトウェアのレンタル、リース、サブライセンス、貸出し、またはその他の方法でソフトウェアを配付することはできません。また、本ソフトウェアを時分割サービス、サービス機関、または類似の形態で使用することはできません。
お客様は、本使用許諾契約にて許容される目的のためにバックアップまたはアーカイブ・コピーを 1 部作成することができますが、それ以外に本ソフトウェアまたはその一部について、いかなる複製も作成することはできません。ただし、いかなる場合であっても、本製品のコントローラボードまたはハードウェアの任意部分に含まれるソフトウェアについては、いかなる複製を作成することもできません。
お客様は、本ソフトウェアのいかなる部分についても、ローカライズ、逆アセンブル、デコンパイル、解読、リバースエンジニアリング、ソースコード解読、改変、派生製品の作成、その他いかなる変更も、しないことに同意するものとします。

知的財産権
お客様は、本ソフトウェア、全ての EFI 製品、およびその複製物、変更物、派生物についての、あらゆる知的財産権を含む全ての権利、所有権および利益は、EFI とその供給元のみが保有することを認識し、これに同意するものとします。本使用許諾契約で明示された限定的ライセンスを除いて、いかなる権利もライセンスも与えられません。お客様は、いかなる特許権、著作権、営業秘密、商標 (登録、未登録を問わず)、またはその他の知的財産権も与えられません。お客様は、いかなる EFI の商標や商号またはそれらと類似したもしくは混乱を生じさせるようなあらゆるマーク、URL、インターネットドメイン名またはシンボルを、お客様ご自身、その関係会社または製品の商号として採用し、登録し、または登録を試みないことに同意するものとします。また、EFI やその供給元の商標権を損なうような、その他のいかなる行為をもしないことに同意するものとします。

守秘義務
本ソフトウェアは、EFI 専有の秘密情報であり、お客様は他に配布・開示することはできません。ただし、次の場合に限り、本使用許諾契約上のお客様の一切の権利を他人または他の法人に譲渡することができます。(1) その譲渡が、適用ある全ての輸出関連法規ー米国輸出管理法を含む米国の法律および規則を含みますーにより許され、(2) お客様が、複製物、アップデート、アップグレード、媒体、印刷文書、および本使用許諾契約を含めた本ソフトウェアの全てを第三者に譲渡する場合で、(3) 譲渡の際、お客様がバックアップ、アーカイブを含む本ソフトウェアの一切の複製物を保持せず、(4) 譲渡先の第三者が本使用許諾契約の全条項に同意する場合。

ライセンスの終了
本ソフトウェアを許可なしで使用、複製、開示した場合、あるいは本使用許諾契約について何らかの不履行があった場合、本ライセンスは自動的に終了し、EFI は他の法律上の救済手段も利用可能となります。ライセンス終了の場合、お客様は本ソフトウェアまたはその構成部分の複製物の全てを破棄しなければなりません。その場合でも、本ソフトウェアに関する守秘義務、保証の免責、責任限定、救済手段、損害、準拠法、裁判管轄権、裁判地、および EFI の知的財産権に関する本使用許諾契約の全ての条項は、ライセンスの終了後も効力を失いません。

限定保証および免責
EFI は、本ソフトウェアが EFI 製品説明書の記載どおりに使用される限り、お客様が受領されてから 90 日間は、本ソフトウェアが実質的に EFI 製品説明書の記載どおりに動作することを保証します。EFI は、本ソフトウェアがお客様の特定の要求に適合すること、本ソフトウェアが停止せず、常に安定して動作を継続し、耐停止でエラーが無いことまたソフトウェアの欠陥は全て修正されることについて、何らの表明も保証もしません。また、EFI は、本ソフトウェア以外の本製品もしくはサービス、または第三者製の製品 (ハードウェアまたはソフトウェア) もしくはサービスについて、明示的にも黙示的にも、その性能または信頼性を保証するものではありません。なお、EFI が容認する第三者製の製品以外の製品をインストールした場合、本保証は無効となります。EFI が認める場合を除き、本ソフトウェアまたは EFI 製品を使用、改変、および / または修復した場合、本保証は無効となります。さらに、事故、悪用、誤使用、異常使用、ウイルス、ワーム、その他類似の外的要因により本ソフトウェアに問題が起こった場合も、本限定保証は無効になります。
適用される法により許容される最大の範囲で、上記の明示的限定保証 (「限定保証」) を除き、EFI は本ソフトウェア、本製品、および / またはいかなるサービスーそれが明示的であれ黙示的であれ、法令に基づくものであれ、本使用許諾契約上のいかなる条項に基づくものであれまたはお客様とのコミュニケーションに基づくものであれーについても、表明または保証をせず、かつお客様はそれを受けることができません。EFI は特に、安全性、商品性、特定目的に対する適合性および第三者の権利侵害がないことを含む全ての黙示的保証、表明および条件から免責されます。ソフトウェアおよび / または製品が停止しないこと、常に安定して動作を継続すること、耐停止でエラーがないことについては、いかなる表明も保証もありません。適用される法により許容される最大の範囲で、一切のソフトウェア、本製品、サービスおよび / または適用ある保証に関するお客様の唯一かつ排他的な救済手段、かつ EFI およびその供給元の責任の全ては、EFI の選択による (1) 限定保証に適合しないソフトウェアの修理もしくは交換、または (2) 限定保証に適合しないソフトウェアの代金 (もし支払われていれば) の返還です。本項に規定された場合を除いて、EFI およびその供給元は、代金払戻し、返品、交換、または同等の機能を提供するソフトウェアの提供は一切行いません。

責任の限定
適用される法により許容される最大の範囲で、お客様による本ソフトウェア、本製品、サービス、および / またはこの使用許諾契約に関する EFI またはその供給元に対する一切の請求は、それがどのような提訴内容である場合でも (契約責任、不法行為責任、法定責任またはそれ以外のいずれであるかを問わず)、お客様が当該 EFI ソフトウェアに対して支払った対価を超えないことに同意するものとします。お客様はこの金額が、本使用許諾契約の目的に適うものであることに同意し、またこの補償額は、EFI および EFI の供給元による不法行為または過失によって生じた損失や損害の公正かつ合理的な見積額であることに同意するものとします。適用される法により許容される最大限の範囲で、代替ソフトウェア、代替製品、代替サービスの調達にかかる費用、利益の逸失またはデータの損失、第三者からの請求、その他特別な、間接的、依存的、結果的、懲罰的または付随的損害については、それが本ソフトウェア、本製品、サービスおよび / または本使用許諾契約によって引き起こされたものであっても、EFI およびその供給元は一切責任を負いません。この責任限定は、たとえ EFI およびその供給元が、そのような損害の可能性を知らされていた場合であっても適用されます。お客様は、本ソフトウェアの価格がこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。お客様は、上記の責任限定および免責事項が本使用許諾契約において最も重要な条項であり、これら 2 つの条項にお客様が同意しない限り、EFI は本ソフトウェアの使用許諾を行わないことを認識した上で同意したものとします。
米国の州や司法管轄区域の中には、本使用許諾契約に定める責任の除外および / または限定の一部または全部を許さないところもあるため、上記の責任除外・限定は、お客様に適用がないかもしれません。
デラウェア法人である Adobe Systems Incorporated(以下、Adobe 社)(住所：345 Park Avenue, San Jose, California 95110-2704) は、本使用許諾契約が本ソフトウェア、フォントプログラム、書体、商標などお客様の使用に関する条項を含む限りにおいて、本使用許諾契約における第三者たる受益者です。以上の条項は Adobe 社の利益のために明示的に設けられたものであり、EFI に加え Adobe 社がこれを行使することができます。Adobe 社は、本項に記載されたいかなる Adobe 社製ソフトウェアおよび技術に関しても、お客様に対して一切の責任を負わないものとします。

輸出制限
本ソフトウェアおよび EFI 製品には、米国輸出管理法を含む米国における輸出関連の法律および規則が適用されます。本使用許諾契約で付与されるライセンスは、お客様が、米国における輸出関連法規を含む適用ある全ての輸出関連法規に従うことを前提としています。お客様は、これらの法規に違反する形で、本ソフトウェアおよび EFI 製品のいかなる一部も、使用、開示、配布、譲渡、輸出、再輸出しないことに同意するものとします。

政府による使用
アメリカ合衆国政府による本ソフトウェアの使用、複製、開示は、FAR 12.212 または DFARS 227.7202-3 -227.7202-4 に定める規制に服し、かつ米国連邦法で要求される範囲において、FAR 52.227-14、Restricted Rights Notice(June 1987) Alternate III(g)(3)(June 1987) または FAR 52.227-19(June 1987) に定める最小限の限定権利 (minimum restricted rights) に服します。技術データは、本使用許諾契約に従って提供される技術データの範囲内で、FAR 12.211 および DFARS 227.7102-2 によって保護され、またアメリカ合衆国政府により明示的にに要求される範囲で、DFARS 252.227.7015(November 1995) および DFARS 252.227-7037(September 1999) に定める限定権利に服します。上述の規定が修正または他の法規により上書きされる場合、その後の同等の規定が適用されるものとします。契約者名は Electronics for Imaging, Inc. です。

準拠法および管轄権
本使用許諾契約の当事者の権利および義務は、あらゆる意味において排他的に、カリフォルニア州法に準拠するものとします。従って、カリフォルニア州住民間でカリフォルニア州内において成立する契約に対する法律が適用されます。国際物品売買契約に関する国連条約およびその他同様の条約は本使用許諾契約には適用されないものとします。本ソフトウェア、本製品、サービス、および / または本使用許諾契約に関連する全ての紛争については、お客様は、カリフォルニア州サンマテオ郡における州裁判所および北カリフォルニア連邦裁判所のみを所轄裁判所とすることに同意するものとします。

一般条項
本使用許諾契約はお客様と Electronics for Imaging, Inc. との完全合意　を表したものであり、本ソフトウェア、本製品、サービス、本使用許諾契約が規定するその他の事項に関する他のやり取りや広告に優先するものです。本使用許諾契約の一部の条項が無効でも、それらの条項は法的強制力を有するのに必要な範囲で修正されたとみなされ、また、それ以外の部分は完全な効力を有するものとします。

ご不明な点がありましたら、EFI の Web サイト (www.efi.com) を参照ください。
Electronics for Imaging, Inc.
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404
USA

イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾に関する付記

イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾で言及している「EFI ソフトウェア」には、EFI 社製品に含まれているオープンソースソフトウェアは含まれておらず、また、イー･エフ･アイ株式会社ソフトウェア使用許諾は、オープンソースソフトウェアには適用されません。製品に含まれるオープンソースソフトウェアの使用は、イー･エフ･アイ株式会社ソフトウェア使用許諾とは別に提供され、CD1 ソフトウェア CD の OpenSrc フォルダ内の Readme.txt に記載のオープンソースソフトウェア使用許諾に準拠しなければなりません。本製品を使用することは、CD1 ソフトウェア CD の OpenSrc フォルダ内の Readme.txt に記載のオープンソースソフトウェア使用許諾に示される条件を受諾したことになります。
オープンソースソフトウェア使用許諾の条件を受諾できない場合、購入日から 30 日以内以内に領収証と共に製品を購入された販売店にお持ちください。購入時にお支払いになった代金を全額返金致します。

以上

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

※商標について
Adobe、Adobe Reader および PostScript は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。
Windows、Windows NT は米国内及び各国で登録された Microsoft Corporation の登録商標です。
Macintosh は米国 Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
ColorWise、Command WorkStation、EFI、Fiery は、米国特許商標庁および / またはその他諸国における Electronics for Imaging, Inc. の登録商標です。
Fiery Downloader は、Electronics for Imaging, Inc. の商標です。
その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

索引

カラーページプリンタ
MICROLINE Pro 930PS-X
MICROLINE Pro 930PS-S
MICROLINE Pro 930PS-E

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2013年 3月　第2版
発行者　株式会社 沖データ
44148102EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

（携帯電話からは 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
　　　　　9:00～17:00 土曜日
　　　　　（ただし 祝日、年末年始等を除く）

44148102EE Rev2